

令和 2 年度 病院構造改革推進方策実施状況の自己点検・評価

令和 3 年 9 月
病院局

令和2年度 病院構造改革推進方策実施計画の自己点検・評価 目次

★緊急に対応すべき事案（新型コロナウイルス対応）

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化	1
（1）がん医療	4
（2）循環器疾患医療	9
（3）糖尿病医療	12
（4）精神医療	13
（5）救急・災害医療	16
（6）小児・周産期医療	19
（7）リハビリテーション医療	21
（8）その他の政策医療	24
項目2 統合再編・建替整備	27
項目3 診療機能の効率化	28
項目4 研究機能の充実	29

II 安心できる県立病院の実現

項目1 地域医療連携の推進	31
項目2 医療安全対策等の推進	36
項目3 患者サービスの向上	38
項目4 医療の信頼性の向上	40
項目5 県民等への情報発信の推進	41

III 持続可能な経営の確保

項目1 経営目標の設定と持続的な経営の取組	43
項目2 収益の確保	
（1）患者の受入れ促進等	46
（2）診療機能に見合う収益の確保等	48
（3）その他の収益の確保	50
項目3 費用の抑制	53

IV 安定した医療提供体制の確立

項目1 効果的・効率的な組織・人員体制の整備	55
項目2 医師確保対策の推進	56

項目3 看護師確保対策の推進	57
項目4 専門人材の充実・確保と人材育成の取組	59
項目5 働きやすい職場づくり	60
項目6 経営形態の検討	61
項目7 安定的な地域医療の提供	62

各県立病院の目標・計画

経営計画	63
------	----

（評価の考え方）

【目標】

評価	考え方
○（概ね）計画通り実施	・計画通りに取組みを実施した項目 （取組項目の達成が8割以上）
△ 計画をやや下回った	・計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 （取組項目の達成が6割以上8割未満）
▲ 計画を下回った	・計画した取組みが未実施の項目 （取組項目の達成が6割未満）

【取組項目】

評価	考え方
◎ 計画を上回る	・計画以上の取組みを実施 （目標を2割以上上回る達成）
○（概ね）計画通り実施	・計画通りに取組みを実施した項目 （取組項目の達成が8割以上）
△ 計画をやや下回った	・計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 （取組項目の達成が6割以上8割未満）
▲ 計画を下回った	・計画した取組みが未実施の項目 （取組項目の達成が6割未満）

※取組項目の評価理由について、新型コロナウイルスの影響によるものには【コ】と記載

★緊急に対応すべき事案（新型コロナウイルス対応）

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																					
<p>〔目標〕 県民の命を守る最後の砦としての使命を果たすべく、感染症指定医療機関を中心に新型コロナウイルス感染症患者の積極的な受け入れに全力で取り組んでいる。 また、新型コロナウイルス感染症対策の課題等については今後十分に検証し、それらを基に病院運営における必要な見直しを行っていく。</p>	<p>県民の命を守る最後の砦としての使命を果たすべく、感染症指定医療機関を中心に新型コロナウイルス感染症患者の積極的な受け入れに全力で取り組んだ。 また、新型コロナウイルス感染症対策の課題等について検証し、それらを基に病院運営における必要な見直しを行った。</p>	○	<p>積極的な患者受け入れなど、新型コロナウイルス対応に全力で取り組んだ。</p>	<p>1 医療提供体制 (1) 病床の確保 ① 確保要請病床数 (R3.9.1時点)</p> <table border="1" data-bbox="1703 394 2867 1066"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="3">確保要請病床数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>感染症病床</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>8</td> <td>41</td> <td>49</td> <td>新型コロナウイルス感染症重症等特定病院 第二種感染症指定医療機関</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>—</td> <td>18</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>8</td> <td>92</td> <td>100</td> <td>新型コロナウイルス感染症拠点病院 第一種感染症指定医療機関</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>第二種感染症指定医療機関</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>4</td> <td>17</td> <td>21</td> <td>第二種感染症指定医療機関</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>—</td> <td>12</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>—</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>軽症の精神疾患患者を対応</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>—</td> <td>7</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県立病院合計</td> <td>24</td> <td>204</td> <td>228</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	病院名	確保要請病床数			備考	感染症病床	その他	合計	尼崎	8	41	49	新型コロナウイルス感染症重症等特定病院 第二種感染症指定医療機関	西宮	—	18	18		加古川	8	92	100	新型コロナウイルス感染症拠点病院 第一種感染症指定医療機関	丹波	4	11	15	第二種感染症指定医療機関	淡路	4	17	21	第二種感染症指定医療機関	姫路	—	12	12		こころ	—	6	6	軽症の精神疾患患者を対応	こども	—	7	7		県立病院合計	24	204	228	
病院名	確保要請病床数			備考																																																					
	感染症病床	その他	合計																																																						
尼崎	8	41	49	新型コロナウイルス感染症重症等特定病院 第二種感染症指定医療機関																																																					
西宮	—	18	18																																																						
加古川	8	92	100	新型コロナウイルス感染症拠点病院 第一種感染症指定医療機関																																																					
丹波	4	11	15	第二種感染症指定医療機関																																																					
淡路	4	17	21	第二種感染症指定医療機関																																																					
姫路	—	12	12																																																						
こころ	—	6	6	軽症の精神疾患患者を対応																																																					
こども	—	7	7																																																						
県立病院合計	24	204	228																																																						
<p>〔取組項目〕 1 医療提供体制 ・全県の重症・中等症対応の中心的役割として「新型コロナウイルス感染症拠点病院」の県立加古川医療センター、阪神圏域の重症対応の中心的役割として「新型コロナウイルス感染症重症等特定病院」の県立尼崎総合医療センターにてそれぞれ対策を強化 ・第二種感染症指定医療機関の指定を受けている丹波医療センター、淡路医療センターをはじめ、その他の病院でも地域の医療体制の状況を踏まえ、患者受入等を実施 ・なお、新型コロナウイルス対応により通常 of 病院運営に大きな影響が出るのが想定される。</p>	<p>〔取組項目〕 1 医療提供体制 (1) 病床の確保 重症患者への対応については、ICUやHCUを転用するとともに、中軽症患者への対応については、感染症指定医療機関である県立病院を中心に、新規陽性患者の発生状況に応じて、感染症病床に加え、一般病棟を新型コロナウイルス感染症対応病棟に転用し、病床確保に取り組んだ。また、新型コロナが軽症の精神疾患患者や小児重症患者に対応するため、ひょうごこころの医療センターやこども病院で病床を確保した。 これらの病床の運用にあたっては、職員の院内での応援や県立病院間での派遣等により必要なマンパワーを確保した。 (2) 院内感染防止対策の推進 陽性患者や疑い患者を受け入れる県立病院では、病棟や外来における適切なゾーニングを実施するほか、一般患者と区別した待合室や発熱外来の設置など、引き続き、患者や職員の動線の分離を実施した。また、個人防護具の着用や手指衛生の徹底など標準予防策を遵守するとともに、WEB面会の活用など、院内感染防止対策を推進した。 (3) 検査体制の強化 各県立病院において、新型コロナウイルスの感染が疑われる患者に対し、迅速にPCR検査や抗原検査が行えるよう体制を充実させるとともに、術前検査や職員の感染状況把握にも活用するなど、検査体制の強化を図った。 (4) 大学等との連携による調査・研究の推進 県において新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた対策を立案するため、神戸大学が行う流行状況や重症化のメカニズム解明等の疫学調査を支援した。また、これまでの研究成果や県立病院のフィールドを活用し、中和抗体医薬品の開発に向けた取組を支援した。</p>	○		<p>【県立病院間の看護師派遣実績：計81人】 尼崎総合医療センター及び加古川医療センターの受入病床拡大に対応するため、看護師を派遣</p> <table border="1" data-bbox="1703 1163 2867 1394"> <thead> <tr> <th rowspan="2">派遣先</th> <th rowspan="2">人数</th> <th colspan="2">所属(人数)</th> </tr> <tr> <th>第1波</th> <th>第3, 4波</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎（重症等特定病院）</td> <td>15</td> <td>西宮(4)、こども(5)、がん(2)、姫路(4)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>加古川（拠点病院）</td> <td>66</td> <td>がん(20)、姫路(20)</td> <td>がん(6)、姫路(20)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※下記の臨時重症専用病床運用にかかる派遣は除く ※加古川医療センターへの派遣については、第1波と第3, 4波で重複者あり</p> <p>【県立病院の延べ入院患者数・県内延べ入院患者数のうち県立病院の受入れ割合（R2.3～R3.8）】 41,739人・21.2%（割合は、EMIS（広域災害・救急医療情報システム）から算出）</p> <p>② 加古川医療センターの臨時重症専用病棟の活用 感染リスクを低減しつつ、重症患者が急増した場合の受入対応力を強化するために整備し、各県立病院、県内医療機関、関係大学等からの協力を得ながら、重症患者を積極的に受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造 平屋建てプレハブ工法 ・病床数 12床 ・供用開始 令和3年4月15日 ・応援状況 医師：5人（淡路、こども、姫路、災害、公立豊岡病院） 看護師：41人（尼崎、西宮、丹波、淡路、こども、がん、姫路） ・受入状況 84人（R3.8末実績） 	派遣先	人数	所属(人数)		第1波	第3, 4波	尼崎（重症等特定病院）	15	西宮(4)、こども(5)、がん(2)、姫路(4)	—	加古川（拠点病院）	66	がん(20)、姫路(20)	がん(6)、姫路(20)																																							
派遣先	人数	所属(人数)																																																							
		第1波	第3, 4波																																																						
尼崎（重症等特定病院）	15	西宮(4)、こども(5)、がん(2)、姫路(4)	—																																																						
加古川（拠点病院）	66	がん(20)、姫路(20)	がん(6)、姫路(20)																																																						

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																																																																																																																																																																										
				<p>③ 整備・計画中の病院に係る新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>ア) はりま姫路総合医療センター（仮称） 播磨姫路圏域における感染症対応の機能強化を図るため、重症患者も含め、感染患者に対応可能な病室を整備する。</p> <p>イ) 西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編新病院 感染患者が他の患者と交錯しない通路・専用入口並びに陰圧設備を配した専用診察室・病室等についての整備を設計に反映する。</p> <p>ウ) がんセンター 感染の有無を確認するトリアージ室の充実や来院者の動線計画に加え、入院患者が感染症に罹った場合に備え、感染対応個室の整備を検討する。</p>																																																																																																																																																																																																																										
				<p>【患者受入れ状況（R3.7末時点）】</p> <table border="1" data-bbox="1163 661 2873 1465"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th rowspan="2">延べ入院患者数</th> <th colspan="18">実入院患者数</th> </tr> <tr> <th>R2 3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>R3 1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>11,330</td> <td>41</td> <td>55</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>59</td> <td>92</td> <td>49</td> <td>45</td> <td>100</td> <td>89</td> <td>87</td> <td>41</td> <td>40</td> <td>96</td> <td>86</td> <td>6</td> <td>26</td> <td>923</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>4,280</td> <td>3</td> <td>18</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>19</td> <td>37</td> <td>44</td> <td>28</td> <td>56</td> <td>50</td> <td>36</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>41</td> <td>35</td> <td>10</td> <td>28</td> <td>448</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>13,911</td> <td>18</td> <td>44</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>43</td> <td>64</td> <td>20</td> <td>26</td> <td>95</td> <td>143</td> <td>151</td> <td>29</td> <td>34</td> <td>92</td> <td>72</td> <td>19</td> <td>27</td> <td>880</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>2,199</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>31</td> <td>21</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>2,502</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>26</td> <td>33</td> <td>30</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>42</td> <td>21</td> <td>2</td> <td>18</td> <td>236</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>2,694</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>22</td> <td>33</td> <td>35</td> <td>29</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>32</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>807</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>66</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37,789</td> <td>68</td> <td>141</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>142</td> <td>226</td> <td>135</td> <td>129</td> <td>341</td> <td>377</td> <td>362</td> <td>140</td> <td>139</td> <td>342</td> <td>277</td> <td>54</td> <td>119</td> <td>3,012</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	延べ入院患者数	実入院患者数																		R2 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計	尼崎	11,330	41	55	9	2	59	92	49	45	100	89	87	41	40	96	86	6	26	923	西宮	4,280	3	18	1	0	19	37	44	28	56	50	36	21	21	41	35	10	28	448	加古川	13,911	18	44	3	0	43	64	20	26	95	143	151	29	34	92	72	19	27	880	丹波	2,199	5	16	0	0	9	8	2	7	22	21	23	6	8	31	21	1	2	182	淡路	2,502	1	7	3	0	4	11	7	0	26	33	30	17	14	42	21	2	18	236	姫路	2,694	0	1	2	0	8	13	10	22	33	35	29	19	16	25	32	15	17	277	こころ	807	0	0	0	0	0	1	3	1	9	6	5	7	4	10	6	1	1	54	こども	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	5	4	0	0	12	合計	37,789	68	141	18	2	142	226	135	129	341	377	362	140	139	342	277	54	119	3,012
病院名	延べ入院患者数	実入院患者数																																																																																																																																																																																																																												
		R2 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計																																																																																																																																																																																																											
尼崎	11,330	41	55	9	2	59	92	49	45	100	89	87	41	40	96	86	6	26	923																																																																																																																																																																																																											
西宮	4,280	3	18	1	0	19	37	44	28	56	50	36	21	21	41	35	10	28	448																																																																																																																																																																																																											
加古川	13,911	18	44	3	0	43	64	20	26	95	143	151	29	34	92	72	19	27	880																																																																																																																																																																																																											
丹波	2,199	5	16	0	0	9	8	2	7	22	21	23	6	8	31	21	1	2	182																																																																																																																																																																																																											
淡路	2,502	1	7	3	0	4	11	7	0	26	33	30	17	14	42	21	2	18	236																																																																																																																																																																																																											
姫路	2,694	0	1	2	0	8	13	10	22	33	35	29	19	16	25	32	15	17	277																																																																																																																																																																																																											
こころ	807	0	0	0	0	0	1	3	1	9	6	5	7	4	10	6	1	1	54																																																																																																																																																																																																											
こども	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	5	4	0	0	12																																																																																																																																																																																																											
合計	37,789	68	141	18	2	142	226	135	129	341	377	362	140	139	342	277	54	119	3,012																																																																																																																																																																																																											
				<p>(2) 院内感染防止対策の推進</p> <p>① 発熱外来対応の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全病院・施設の入口において、職員またはサーモグラフィ等機器による検温を実施 ・発熱者については、院外に設置したコンテナや隔離スペースへ誘導し、ゾーニングを徹底 <p>【院外コンテナ設置病院：尼崎、西宮、淡路、姫路、リハ中】</p> <p>②WEB面会・面談システムの導入状況</p> <table border="1" data-bbox="1181 1738 2873 1885"> <thead> <tr> <th></th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こころ</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>姫路</th> <th>粒子線</th> <th>陽子線</th> <th>災害</th> <th>リハ中</th> <th>リハ西</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面会</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>面談</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		尼崎	西宮	加古川	丹波	淡路	こころ	こども	がん	姫路	粒子線	陽子線	災害	リハ中	リハ西	面会	○	○	○	○	○		○	○	○	○	—			○	面談	○		○		○		○	○	○	○	—			○																																																																																																																																																																													
	尼崎	西宮	加古川	丹波	淡路	こころ	こども	がん	姫路	粒子線	陽子線	災害	リハ中	リハ西																																																																																																																																																																																																																
面会	○	○	○	○	○		○	○	○	○	—			○																																																																																																																																																																																																																
面談	○		○		○		○	○	○	○	—			○																																																																																																																																																																																																																

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																									
<p>2 医療用マスク・防護服等の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療用マスク・防護服等については、医療提供体制に支障が出ないよう確保に努める。 	<p>2 医療用マスク・防護服等の確保</p> <p>医療用マスク・防護服等については、医療提供体制に支障が出ないよう確保した。</p>	○		<p>(3) 検査体制の強化</p> <p>① PCR検査、抗原検査の導入状況</p> <table border="1" data-bbox="1154 315 2861 457"> <thead> <tr> <th></th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こころ</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>姫路</th> <th>粒子線</th> <th>陽子線</th> <th>災害</th> <th>リハ中</th> <th>リハ西</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCR</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>(○)</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>抗原</td> <td>定量</td> <td>定性</td> <td>定量</td> <td>定量</td> <td>定性</td> <td>定性</td> <td>定量</td> <td>定性</td> <td></td> <td>定性</td> <td>(定性)</td> <td>定量</td> <td>定量</td> <td>定性</td> </tr> </tbody> </table> <p>※陽子線については、こども病院で検査を実施</p> <p>② 県立病院間の検査技師派遣実績 他院に先駆けてPCR検査機器を導入した加古川医療センターの検査体制支援や研修のため、検査技師を派遣</p> <table border="1" data-bbox="1620 630 2677 737"> <thead> <tr> <th>派遣先</th> <th>人数</th> <th>所属(人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加古川（拠点病院）</td> <td>9</td> <td>尼崎(2)、西宮(1)、丹波(1)、淡路(1)、がん(1)、姫路(1)、リハ西(1)、病院局(1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 大学等との連携による調査・研究の推進 新型コロナウイルス感染症の流行状況や重症化のメカニズムを抗体の観点から調査し、適切な規模・内容での感染症対策の立案を行うため、神戸大学が実施する血清疫学調査に協力するとともに、神戸大学等が実施する中和抗体医薬品の開発を支援</p> <p>【血清疫学調査の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施主体：神戸大学医学部 協力：兵庫県病院局 対象者：県立病院等の患者・医療関係者・一般県民など 検査方法：対象者全員の抗体保有状況（陽性、陰性）を判定 陽性者を対象に抗体保有状況（中和抗体薬）の推移を測定 検査結果：抗体保有率の把握、抗体の特性（獲得時期・持続期間等）の解明など <p>(参考：これまでの共同研究の状況)</p> <table border="1" data-bbox="1599 1247 2861 1745"> <tbody> <tr> <td>抗体検査の先行実施</td> <td>令和2年5月、加古川医療センターのスタッフ 508 名を対象に実施した抗体検査では、全員抗体が検出されず、標準的なウイルス防護措置の有用性を確認</td> </tr> <tr> <td>中和抗体・サイトカインの測定</td> <td>加古川医療センターに入院中の感染患者の血清を用いて、中和抗体及びサイトカインの測定を実施し、全ての感染患者への中和抗体の産出と、重症度の高い患者ほど中和抗体価が高いことを確認</td> </tr> <tr> <td>大規模血清疫学調査</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院、こども病院等、県内の5病院1施設提供の10,377人の血清中における、新型コロナウイルス抗体の有無を多角的に解析した結果、中和抗体の保有率がわずか0.15%と、県内の感染率が極めて低いことを確認(R2.10 上旬時点)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 医療用マスク・防護服等の確保</p> <p>各病院において3ヶ月分、県において概ね6ヶ月分の使用量相当を確保</p>		尼崎	西宮	加古川	丹波	淡路	こころ	こども	がん	姫路	粒子線	陽子線	災害	リハ中	リハ西	PCR	○	○	○	○	○	○	○	○	○		(○)	○		○	抗原	定量	定性	定量	定量	定性	定性	定量	定性		定性	(定性)	定量	定量	定性	派遣先	人数	所属(人数)	加古川（拠点病院）	9	尼崎(2)、西宮(1)、丹波(1)、淡路(1)、がん(1)、姫路(1)、リハ西(1)、病院局(1)	抗体検査の先行実施	令和2年5月、加古川医療センターのスタッフ 508 名を対象に実施した抗体検査では、全員抗体が検出されず、標準的なウイルス防護措置の有用性を確認	中和抗体・サイトカインの測定	加古川医療センターに入院中の感染患者の血清を用いて、中和抗体及びサイトカインの測定を実施し、全ての感染患者への中和抗体の産出と、重症度の高い患者ほど中和抗体価が高いことを確認	大規模血清疫学調査	尼崎総合医療センター、西宮病院、こども病院等、県内の5病院1施設提供の10,377人の血清中における、新型コロナウイルス抗体の有無を多角的に解析した結果、中和抗体の保有率がわずか0.15%と、県内の感染率が極めて低いことを確認(R2.10 上旬時点)
	尼崎	西宮	加古川	丹波	淡路	こころ	こども	がん	姫路	粒子線	陽子線	災害	リハ中	リハ西																																															
PCR	○	○	○	○	○	○	○	○	○		(○)	○		○																																															
抗原	定量	定性	定量	定量	定性	定性	定量	定性		定性	(定性)	定量	定量	定性																																															
派遣先	人数	所属(人数)																																																											
加古川（拠点病院）	9	尼崎(2)、西宮(1)、丹波(1)、淡路(1)、がん(1)、姫路(1)、リハ西(1)、病院局(1)																																																											
抗体検査の先行実施	令和2年5月、加古川医療センターのスタッフ 508 名を対象に実施した抗体検査では、全員抗体が検出されず、標準的なウイルス防護措置の有用性を確認																																																												
中和抗体・サイトカインの測定	加古川医療センターに入院中の感染患者の血清を用いて、中和抗体及びサイトカインの測定を実施し、全ての感染患者への中和抗体の産出と、重症度の高い患者ほど中和抗体価が高いことを確認																																																												
大規模血清疫学調査	尼崎総合医療センター、西宮病院、こども病院等、県内の5病院1施設提供の10,377人の血清中における、新型コロナウイルス抗体の有無を多角的に解析した結果、中和抗体の保有率がわずか0.15%と、県内の感染率が極めて低いことを確認(R2.10 上旬時点)																																																												

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (1) がん医療

○ 基本方向
がんは、本県における死亡原因の第1位（全死因の29.6%）であり、「兵庫県保健医療計画」及び「兵庫県がん対策推進計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた高度専門医療を提供する。

○ 取組内容

1 病院の役割

(1) がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院として高度で専門的な集学的治療を実施するほか、地域がん診療連携拠点病院間の連携強化、拠点病院への研修、診療支援等を行う。また、あり方検討委員会の報告を踏まえて、がんゲノム医療等最新医療を提供していく。

(2) 淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）は、地域がん診療連携拠点病院として、高度で専門的な集学的治療を提供するほか、地域の医療機関との共同研修を行うとともに、患者や家族に対する支援を充実する。

(3) 尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センターは、地域の医療連携体制における役割を踏まえ、集学的治療を提供する。

(4) こども病院は、小児がん拠点病院として、集学的治療を提供するほか、神戸陽子線センターと連携した陽子線治療を行う。

(5) 粒子線医療センターは、高度ながん治療を実施するほか、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを推進する。

(6) 粒子線医療センター及び神戸陽子線センターは、粒子線医療の有効性を積極的に広報し患者の受入れ促進を進める。

(7) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、腫瘍センターの設置や高度先進的ながん治療ネットワークの構築などを行い、がん診療連携拠点病院並みのがん診療を提供する。

2 診療機能の高度化
内視鏡下手術用支援機器（ダヴィンチ）、IMRT対応のリニアック装置等の高度医療機器により、最新治療を提供する。

3 地域連携の推進
がんセンターを中心に、県統一のがん地域連携クリニカルパスなどを活用した地域連携を推進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																																																														
<p>〔目標〕 がんセンター等は、国及び県指定がん診療拠点病院として高度で専門的な集学的治療を実施する。また、こども病院は、小児がん拠点病院として集学的治療を実施するほか、神戸陽子線センターと連携した陽子線治療を実施する。更に、粒子線医療センターは、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを推進する。</p>	<p>がんゲノム医療拠点病院であるがんセンター、連携病院であるこども病院において、積極的にパネル検査を実施するなど最先端のがん医療を提供した。また、神戸陽子線センターにおいて、こども病院と連携した陽子線治療を実施した。更に、粒子線医療センターは、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを推進した。しかし、右記の理由により計画を下回った。</p>	△	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、セミナーなどの開催回数等が減少した。</p> <p>一方、外来化学療法の件数や地域連携パスの運用件数が増加する等、その他の項目は概ね計画通りに実施した。</p>	<p>参考：現況（令和3年7月の状況等）</p>																																																																																																														
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院の役割</p> <p>(1) がん手術総件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">国指定</td> <td>がん</td> <td>1,920</td> <td>1,779</td> <td>1,945</td> <td>92.7%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>230</td> <td>230</td> <td>195</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>518</td> <td>337</td> <td>557</td> <td>65.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>尼崎</td> <td>1,437</td> <td>1,406</td> <td>1,474</td> <td>97.8%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>1,334</td> <td>1,262</td> <td>1,103</td> <td>94.6%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>780</td> <td>719</td> <td>967</td> <td>92.2%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,219</td> <td>5,733</td> <td>6,241</td> <td>92.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) うち5大がんの手術総件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">国指定</td> <td>がん</td> <td>840</td> <td>985</td> <td>910</td> <td>117.3%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>170</td> <td>154</td> <td>123</td> <td>90.6%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>348</td> <td>222</td> <td>368</td> <td>63.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>尼崎</td> <td>702</td> <td>594</td> <td>685</td> <td>84.6%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>550</td> <td>537</td> <td>346</td> <td>97.6%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>339</td> <td>354</td> <td>446</td> <td>104.4%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,949</td> <td>2,846</td> <td>2,878</td> <td>96.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	国指定	がん	1,920	1,779	1,945	92.7%	丹波	230	230	195	100.0%	淡路	518	337	557	65.1%	県指定	尼崎	1,437	1,406	1,474	97.8%	西宮	1,334	1,262	1,103	94.6%	加古川	780	719	967	92.2%	計	6,219	5,733	6,241	92.2%	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	国指定	がん	840	985	910	117.3%	丹波	170	154	123	90.6%	淡路	348	222	368	63.8%	県指定	尼崎	702	594	685	84.6%	西宮	550	537	346	97.6%	加古川	339	354	446	104.4%	計	2,949	2,846	2,878	96.5%	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院の役割</p>	○ ○ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ △ ○ ○ ○ ○	<p>(淡路)</p> <p>【コ】スタッフの感染患者対応に伴う検査・手術の制限・延期や病床数の減少等により、特に消化器系の件数が減少</p> <p>(淡路)</p> <p>【コ】同上</p>	<p>○国指定がん診療連携拠点病院の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>指定年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都道府県</td> <td>がん</td> <td>平成19年1月31日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地域</td> <td>阪神</td> <td>令和3年3月29日</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>平成20年2月8日</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>平成19年1月31日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○国指定小児がん拠点病院の指定状況 こども病院：平成25年2月8日指定</p> <p>○県指定がん診療連携拠点病院の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>指定年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">阪神</td> <td>尼崎</td> <td>平成27年7月1日</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>平成22年9月3日</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川</td> <td>平成23年2月16日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○がんゲノム医療拠点病院の指定状況 がんセンター：令和元年9月19日指定</p> <p>○がんゲノム医療連携病院の状況 こども病院：令和2年1月指定</p> <p>○がん相談支援センター（がん） （相談件数）令和2年度実績：1,913件</p>	区分	病院名	指定年月日	都道府県	がん	平成19年1月31日	地域	阪神	令和3年3月29日	丹波	平成20年2月8日	淡路	平成19年1月31日	区分	病院名	指定年月日	阪神	尼崎	平成27年7月1日	西宮	平成22年9月3日	東播磨	加古川	平成23年2月16日
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																													
国指定	がん	1,920	1,779	1,945	92.7%																																																																																																													
	丹波	230	230	195	100.0%																																																																																																													
	淡路	518	337	557	65.1%																																																																																																													
県指定	尼崎	1,437	1,406	1,474	97.8%																																																																																																													
	西宮	1,334	1,262	1,103	94.6%																																																																																																													
	加古川	780	719	967	92.2%																																																																																																													
計	6,219	5,733	6,241	92.2%																																																																																																														
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																													
国指定	がん	840	985	910	117.3%																																																																																																													
	丹波	170	154	123	90.6%																																																																																																													
	淡路	348	222	368	63.8%																																																																																																													
県指定	尼崎	702	594	685	84.6%																																																																																																													
	西宮	550	537	346	97.6%																																																																																																													
	加古川	339	354	446	104.4%																																																																																																													
計	2,949	2,846	2,878	96.5%																																																																																																														
区分	病院名	指定年月日																																																																																																																
都道府県	がん	平成19年1月31日																																																																																																																
地域	阪神	令和3年3月29日																																																																																																																
	丹波	平成20年2月8日																																																																																																																
	淡路	平成19年1月31日																																																																																																																
区分	病院名	指定年月日																																																																																																																
阪神	尼崎	平成27年7月1日																																																																																																																
	西宮	平成22年9月3日																																																																																																																
東播磨	加古川	平成23年2月16日																																																																																																																

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）			
(3) 国指定がん診療連携拠点病院としての研修会等の開催 ① 都道府県がん診療連携拠点病院（がん） ・協議会、研修会等の開催回数	(単位：回)						
	開催内容	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①		
	協議会、研修会等	21	24	22	114.3%		
	がん診療連携協議会	1	1	1	100.0%		
	同幹事会	2	2	2	100.0%		
	がん登録実務初級者研修会	3	1	2	33.3%		
	② 地域がん診療拠点病院	(単位：回)					
		区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①
		セミナー等	がん	3	0	2	0.0%
			丹波	5	0	8	0.0%
淡路			3	1	3	33.3%	
計		11	1	13	9.1%		
(単位：回)							
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①		
研修会等	がん	9	7	6	77.8%		
	丹波	3	3	3	100.0%		
	淡路	4	3	3	75.0%		
計		16	13	12	81.3%		
(4) 外来化学療法件数	(単位：件（延件数）)						
	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	
	国指定	がん	14,500	14,198	13,819	97.9%	
		丹波	1,300	1,778	1,326	136.8%	
		淡路	2,500	3,115	2,865	124.6%	
	県指定	尼崎	10,660	10,730	10,910	100.7%	
		西宮	4,100	3,723	3,932	90.8%	
		加古川	2,607	2,652	2,570	101.7%	
		こども	220	278	230	126.4%	
	計		35,887	36,474	35,652	101.6%	

○
○
○
▲

▲
▲
▲

△
○
△

○
◎
◎
○
○
○
◎

【コ】院内がん登録実務者研修会及び全国がん登録実務者研修会（県・健康財団主催）が中止

（がん、丹波、淡路）
【コ】感染状況を考慮し中止

（がん、淡路）
【コ】感染状況を考慮し中止

（丹波）
呼吸器内科医常勤化等による増
（淡路）
【コ】病床・手術制限に伴い、化学療法適応患者については、可能な限り化学療法を施行したことによる増
（こども）
小児がん患者の受入れ増加による増

○県保健医療計画（H30.4）に記載の「専門的ながん診療」の機能を有する病院

区分	圏域名	病院名
・手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療の実施 ・年間入院がん患者数が500人以上	神戸	こども
	阪神	尼崎 西宮
	東播磨	がん 加古川
	丹波	丹波
	淡路	淡路
先進医療の提供	—	粒子線 神戸陽子

○がん医療にかかる専門・認定看護師の状況

区分	病院別人数	
専門	がん看護	尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、がん(2)、神戸陽子(2)
認定	緩和ケア	尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こども(1)、がん(3)、粒子線(1)、姫路(1)
	がん化学療法	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(1)、こども(1)、がん(6)
	がん性疼痛	丹波(1)、がん(1)、粒子線(1)
	乳がん	尼崎(1)、西宮(1)、がん(1)
	がん放射線療法	西宮(1)、がん(1)、こども(1)

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																											
<p>(5) 緩和ケア研修会の開催（出席者数）</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">国指定</td> <td>がん</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>36</td> <td>26</td> <td>51</td> <td>72.2%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>25</td> <td>11</td> <td>22</td> <td>44.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>尼崎</td> <td>41</td> <td>24</td> <td>41</td> <td>58.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>21</td> <td>9</td> <td>21</td> <td>42.9%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>22</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>153</td> <td>70</td> <td>157</td> <td>45.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	国指定	がん	10	0	0	0.0%	丹波	36	26	51	72.2%	淡路	25	11	22	44.0%	県指定	尼崎	41	24	41	58.5%	西宮	21	9	21	42.9%	加古川	20	0	22	0.0%	合計		153	70	157	45.8%	<p>(がん、丹波、加古川)</p> <p>【コ】感染状況を考慮し中止（丹波は2→1回開催）</p> <p>(淡路、尼崎、西宮)</p> <p>【コ】受講者数を制限</p>	<p>▲</p> <p>△</p> <p>▲</p> <p>▲</p> <p>▲</p> <p>▲</p>	<p>○緩和ケア病棟 加古川医療センター（25床） 丹波医療センター（22床）</p> <p>○緩和ケア専用病床 淡路医療センター（4床） がんセンター（4床）</p> <p>○緩和ケアチームを有する病院 尼崎総合医療センター、西宮病院、 加古川医療センター、丹波医療センター、 淡路医療センター、こども病院、がんセンター、 姫路循環器病センター、粒子線医療センター</p>
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																										
国指定	がん	10	0	0	0.0%																																										
	丹波	36	26	51	72.2%																																										
	淡路	25	11	22	44.0%																																										
県指定	尼崎	41	24	41	58.5%																																										
	西宮	21	9	21	42.9%																																										
	加古川	20	0	22	0.0%																																										
合計		153	70	157	45.8%																																										
<p>(6) 緩和ケア病棟（病床）延入院患者数</p> <p style="text-align: right;">(単位：人（延人数）)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">病棟</td> <td>加古川</td> <td>5,597</td> <td>1,322</td> <td>5,584</td> <td>23.6%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>7,600</td> <td>7,641</td> <td>7,415</td> <td>100.5%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">病床</td> <td>淡路</td> <td>80</td> <td>58</td> <td>113</td> <td>72.5%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>1,150</td> <td>426</td> <td>1,147</td> <td>37.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>14,427</td> <td>9,447</td> <td>14,259</td> <td>65.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	病棟	加古川	5,597	1,322	5,584	23.6%	丹波	7,600	7,641	7,415	100.5%	病床	淡路	80	58	113	72.5%	がん	1,150	426	1,147	37.0%	合計		14,427	9,447	14,259	65.5%	<p>(加古川、がん)</p> <p>【コ】病床転用・病棟閉鎖等に伴う患者の受入れ制限による減</p> <p>(淡路)</p> <p>▲ 主科で症状緩和対応が可能となってきた</p>	<p>▲</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>▲</p>	<p>○緩和ケア病棟 加古川医療センター（25床） 丹波医療センター（22床）</p> <p>○緩和ケア専用病床 淡路医療センター（4床） がんセンター（4床）</p> <p>○緩和ケアチームを有する病院 尼崎総合医療センター、西宮病院、 加古川医療センター、丹波医療センター、 淡路医療センター、こども病院、がんセンター、 姫路循環器病センター、粒子線医療センター</p>										
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																										
病棟	加古川	5,597	1,322	5,584	23.6%																																										
	丹波	7,600	7,641	7,415	100.5%																																										
病床	淡路	80	58	113	72.5%																																										
	がん	1,150	426	1,147	37.0%																																										
合計		14,427	9,447	14,259	65.5%																																										
<p>(7) がんゲノム医療 ・がんゲノム医療の推進（がん）</p> <p>①遺伝子パネル検査実施件数</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん</td> <td>140</td> <td>111</td> <td>116</td> <td>79.3%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	がん	140	111	116	79.3%	<p>【コ】受診控えに伴う対象患者の減</p>	<p>△</p>	<p>○がんセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究部にバイオバンク室を設置（平成28年） (スタッフ2名配置) ゲノム医療・臨床試験センターを設置（平成30年） 																																		
病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																											
がん	140	111	116	79.3%																																											
<p>②がんゲノム外来患者数</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん</td> <td>200</td> <td>146</td> <td>159</td> <td>73.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	がん	200	146	159	73.0%	<p>【コ】同上</p>	<p>△</p>	<p>○こども病院の小児がん拠点病院としての取組</p> <p>平成24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児がん拠点病院に指定 <p>平成25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療福祉相談員（MSW）の専従配置 長期フォローアップ外来の開設 緩和ケアチームの設置 <p>平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児がん医療センターを設置 <p>平成28年度【移転建替】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア病室の設置 全病棟へのプレイルーム配置 院内学級の整備 ファミリーハウスの拡充（11室→16室）等 <p>平成29年度【神戸陽子線センターを開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 粒子線医療センター附属神戸陽子線センターと連携し、患者の晩期合併症等のリスクが少ない陽子線治療を提供 <p>令和元年度</p> <ul style="list-style-type: none"> がんゲノム医療連携病院に指定 																																		
病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																											
がん	200	146	159	73.0%																																											
<p>(8) 粒子線治療</p> <p>① 神戸陽子線センターとの連携と治療実施（小児陽子線治療の実施、人材の育成、医療機関等の広報活動）（こども）</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児陽子線治療の実施件数 <p style="text-align: right;">(単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども</td> <td>60</td> <td>67</td> <td>55</td> <td>111.7%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	こども	60	67	55	111.7%		<p>○</p>																																			
病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																											
こども	60	67	55	111.7%																																											

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																																																								
<p>② 粒子線治療の保険適用の積極的PR及び神戸陽子線Cと連携した県内外の医療機関との連携強化による粒子線治療実患者数の確保（粒子線）</p> <ul style="list-style-type: none"> 粒子線治療実施患者数 <p style="text-align: right;">（単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="522 375 1463 449"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粒子線</td> <td>430</td> <td>257</td> <td>320</td> <td>59.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ アンギオCTの活用等により、難治性がんである「肝臓・膵臓・頭頸部がん」患者への取り組みを強化（粒子線）</p> <ul style="list-style-type: none"> 粒子線治療患者における「肝臓・膵臓・頭頸部がん」患者の割合 <p style="text-align: right;">（単位：%）</p> <table border="1" data-bbox="522 638 1463 711"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粒子線</td> <td>47.0</td> <td>31.9</td> <td>39.0</td> <td>67.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 粒子線治療の保険適用の積極的PR及び粒子線医療Cと連携した県内外の医療機関との連携強化による陽子線治療実患者数の確保（神戸陽子）</p> <ul style="list-style-type: none"> 陽子線治療実患者数 <p style="text-align: right;">（単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="382 909 1463 1054"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">神戸陽子</td> <td>成人</td> <td>178</td> <td>158</td> <td>134</td> <td>88.8%</td> </tr> <tr> <td>小児</td> <td>82</td> <td>70</td> <td>60</td> <td>85.4%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>260</td> <td>228</td> <td>194</td> <td>87.7%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	粒子線	430	257	320	59.8%	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	粒子線	47.0	31.9	39.0	67.9%	病院名	区分	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	神戸陽子	成人	178	158	134	88.8%	小児	82	70	60	85.4%	計	260	228	194	87.7%	<p style="text-align: center;">2 診療機能の高度化</p> <p>（1）ダヴィンチ（内視鏡下手術用支援機器）による手術件数</p> <p style="text-align: right;">（単位：件（延件数））</p> <table border="1" data-bbox="308 1257 1463 1472"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国指定</td> <td>がん</td> <td>130</td> <td>216</td> <td>140</td> <td>166.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>尼崎</td> <td>156</td> <td>134</td> <td>159</td> <td>85.9%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>50</td> <td>59</td> <td>38</td> <td>118.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>115</td> <td>74</td> <td>113</td> <td>64.3%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>451</td> <td>483</td> <td>450</td> <td>107.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2 診療機能の高度化</p>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	国指定	がん	130	216	140	166.2%	県指定	尼崎	156	134	159	85.9%	西宮	50	59	38	118.0%	加古川	115	74	113	64.3%	計		451	483	450	107.1%	<p>▲</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>◎</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>△</p>	<p>【コ】粒子線治療施設の増加に移動控えが加わり、神戸・阪神間を中心に他施設での治療を選択する患者が増加したこと等による減</p> <p>【コ】肝臓・頭頸部がんは、元々の患者数が多いこと及び神戸・阪神間の患者割合が高いことから、移動控えによる患者減少の影響を大きく受け、割合が低下</p> <p>（がん）新規施設基準取得により対象術式（肺、膀胱）が増えたことによる増（加古川）</p> <p>【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限による減</p>	<p>○粒子線治療保険適用の状況</p> <table border="1" data-bbox="2065 273 2849 489"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>疾患名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陽子線のみ</td> <td>・小児腫瘍 （限局性の固形悪性腫瘍に限る）</td> </tr> <tr> <td>陽子線及び重粒子線</td> <td>・切除非適応の骨軟部腫瘍 ・頭頸部悪性腫瘍 （口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く） ・限局性及び局所進行性前立腺がん</td> </tr> </tbody> </table> <p>○粒子線治療費の支援制度</p> <p>（1）AYA世代に対する先進医療の陽子線治療費の減免（R2～）</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者：国内在住1年以上で先進医療の陽子線治療を受ける20～39歳であり、前年の世帯総所得600万円以下の世帯に属する方 減免割合・自己負担額 <table border="1" data-bbox="2065 707 2875 894"> <thead> <tr> <th>世帯総所得</th> <th>減免割合</th> <th>治療費</th> <th>減免額</th> <th>自己負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>210万円以下</td> <td>3/4</td> <td rowspan="2">2,883,000円</td> <td>2,162,300円</td> <td>720,700円</td> </tr> <tr> <td>210万円超 600万円以下</td> <td>1/2</td> <td>1,441,500円</td> <td>1,441,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>（2）粒子線治療資金貸付制度の所得制限の撤廃（R2～）</p> <ul style="list-style-type: none"> 制度の概要 <table border="1" data-bbox="2065 989 2875 1127"> <tbody> <tr> <td>貸付対象者</td> <td>国内在住1年以上</td> </tr> <tr> <td>貸付対象費用</td> <td>粒子線治療料（限度額2,883,000円）</td> </tr> <tr> <td>利子</td> <td>無利子</td> </tr> <tr> <td>償還期間</td> <td>10年以内</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ダヴィンチ導入病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎総合医療センター（H26.6稼働） ・西宮病院（H27.12稼働） ・加古川医療センター（H25.9稼働） ・がんセンター（H25.4稼働） <p>○ヒノトリ導入予定病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加古川医療センター 	区分	疾患名	陽子線のみ	・小児腫瘍 （限局性の固形悪性腫瘍に限る）	陽子線及び重粒子線	・切除非適応の骨軟部腫瘍 ・頭頸部悪性腫瘍 （口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く） ・限局性及び局所進行性前立腺がん	世帯総所得	減免割合	治療費	減免額	自己負担額	210万円以下	3/4	2,883,000円	2,162,300円	720,700円	210万円超 600万円以下	1/2	1,441,500円	1,441,500円	貸付対象者	国内在住1年以上	貸付対象費用	粒子線治療料（限度額2,883,000円）	利子	無利子	償還期間	10年以内
病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																								
粒子線	430	257	320	59.8%																																																																																																								
病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																								
粒子線	47.0	31.9	39.0	67.9%																																																																																																								
病院名	区分	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																							
神戸陽子	成人	178	158	134	88.8%																																																																																																							
	小児	82	70	60	85.4%																																																																																																							
	計	260	228	194	87.7%																																																																																																							
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																							
国指定	がん	130	216	140	166.2%																																																																																																							
県指定	尼崎	156	134	159	85.9%																																																																																																							
	西宮	50	59	38	118.0%																																																																																																							
	加古川	115	74	113	64.3%																																																																																																							
計		451	483	450	107.1%																																																																																																							
区分	疾患名																																																																																																											
陽子線のみ	・小児腫瘍 （限局性の固形悪性腫瘍に限る）																																																																																																											
陽子線及び重粒子線	・切除非適応の骨軟部腫瘍 ・頭頸部悪性腫瘍 （口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く） ・限局性及び局所進行性前立腺がん																																																																																																											
世帯総所得	減免割合	治療費	減免額	自己負担額																																																																																																								
210万円以下	3/4	2,883,000円	2,162,300円	720,700円																																																																																																								
210万円超 600万円以下	1/2		1,441,500円	1,441,500円																																																																																																								
貸付対象者	国内在住1年以上																																																																																																											
貸付対象費用	粒子線治療料（限度額2,883,000円）																																																																																																											
利子	無利子																																																																																																											
償還期間	10年以内																																																																																																											

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）	
(2) リニアックの稼働件数及び新規患者数					
①リニアック稼働件数					
(単位：件（延件数）)					
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①
国指定	がん	14,300	14,929	11,245	104.4%
	丹波	2,300	1,973	1,195	85.8%
	淡路	3,200	3,624	3,647	113.3%
県指定	尼崎	8,800	8,224	8,562	93.5%
	西宮	2,950	2,657	2,990	90.1%
	加古川	4,328	3,726	4,413	86.1%
	こども	100	48	153	48.0%
合計		35,978	35,181	32,205	97.8%
				○	(こども) 陽子線治療への移行に伴う対象患者の減
				○	
				○	
				○	
				○	
				○	
				○	
				▲	
②リニアック新規患者数					
(単位：人)					
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①
国指定	がん	770	844	650	109.6%
	丹波	120	105	66	87.5%
	淡路	130	140	134	107.7%
県指定	尼崎	680	544	541	80.0%
	西宮	130	144	151	110.8%
	加古川	225	230	218	102.2%
	こども	15	7	19	46.7%
合計		2,070	2,014	1,779	97.3%
				○	(こども) 同上
				○	
				○	
				○	
				○	
				○	
				○	
				▲	
3 地域連携の推進	3 地域連携の推進				
・地域連携パスの運用件数					
(単位：件)					
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①
国指定	がん	255	222	245	87.1%
	丹波	24	26	23	108.3%
	淡路	260	307	267	118.1%
県指定	尼崎	94	111	83	118.1%
	西宮	60	55	66	91.7%
	加古川	8	58	18	725.0%
合計		701	779	702	111.1%
				○	(加古川) 乳腺外科患者の地域連携を強化したことによる増
				○	
				○	
				○	
				○	
				○	
				◎	

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (2) 循環器疾患医療

○ 基本方向

心疾患は本県における死亡原因の第2位(全体の14.8%)、脳血管疾患は第4位(全体の8.3%)であり、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた高度専門医療を提供する。

○ 取組内容

1 病院の役割

- (1) 姫路循環器病センター(はりま姫路総合医療センター(仮称))は、全県の拠点病院として心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。
- (2) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター(仮称)は、専門病院に総合的な診療機能を付加すること等で診療体制の充実を図り、合併症への対応を強化する。
- (3) 尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センターは、心疾患、脳血管疾患に対する急性期医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。
- (4) 柏原病院(丹波医療センター)は、引き続き心疾患に対する急性期医療を提供するとともに、統合再編後については、救急拠点施設として、脳卒中等の重症救急患者に対応する。

2 診療機能の高度化

尼崎総合医療センター及び姫路循環器病センター(はりま姫路総合医療センター(仮称))は、ハイブリッド手術室システム等の高度医療機器を活用した最新治療を提供する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況(令和3年7月の状況等)																																																																																																																															
<p>〔目標〕</p> <p>姫路循環器病センター等は心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。</p> <p>また、尼崎総合医療センター及び姫路循環器病センターは、ハイブリッド手術室システム等を活用した最新治療を提供する。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院の役割</p> <p>(1) 開心術の件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>193</td> <td>159</td> <td>194</td> <td>82.4%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>95</td> <td>111</td> <td>112</td> <td>116.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>こども</td> <td>150</td> <td>152</td> <td>147</td> <td>101.3%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>300</td> <td>221</td> <td>287</td> <td>73.7%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>738</td> <td>643</td> <td>740</td> <td>87.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 大動脈瘤ステント術の件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>89</td> <td>72</td> <td>78</td> <td>80.9%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>32</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>117</td> <td>90</td> <td>122</td> <td>76.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>236</td> <td>182</td> <td>232</td> <td>77.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 冠動脈形成術の件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>540</td> <td>482</td> <td>552</td> <td>89.3%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>120</td> <td>118</td> <td>138</td> <td>98.3%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>30</td> <td>13</td> <td>31</td> <td>43.3%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>100</td> <td>107</td> <td>107</td> <td>107.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>338</td> <td>314</td> <td>324</td> <td>92.9%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>584</td> <td>654</td> <td>604</td> <td>112.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>1,712</td> <td>1,688</td> <td>1,756</td> <td>98.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	193	159	194	82.4%	淡路	95	111	112	116.8%	専門	こども	150	152	147	101.3%	姫路	300	221	287	73.7%	合計		738	643	740	87.1%	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	89	72	78	80.9%	淡路	30	20	32	66.7%	専門	姫路	117	90	122	76.9%	合計		236	182	232	77.1%	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	540	482	552	89.3%	西宮	120	118	138	98.3%	加古川	30	13	31	43.3%	丹波	100	107	107	107.0%	淡路	338	314	324	92.9%	専門	姫路	584	654	604	112.0%	合計		1,712	1,688	1,756	98.6%	<p>姫路循環器病センター等は心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供した。</p> <p>また、尼崎総合医療センター及び姫路循環器病センターは、ハイブリッド手術室システム等を活用した最新治療を提供した。</p> <p>しかし、右記の理由により計画を下回った。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院の役割</p>	<p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>▲</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応に伴う患者の受入れ制限等の影響を受け、手術件数等が減少した。</p> <p>一方、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)の件数が増加する等、その他の項目は概ね計画どおりに実施した。</p> <p>(姫路)</p> <p>【コ】感染患者対応に伴う不急手術の延期等による減</p> <p>(淡路)</p> <p>開腹手術の増加に伴う対象患者の減</p> <p>(姫路)</p> <p>【コ】感染患者対応に伴う不急手術の延期等による減</p> <p>(加古川)</p> <p>【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限による減</p>	<p>参考：現況(令和3年7月の状況等)</p> <p>○県保健医療計画(H30.4)に記載されている急性心筋梗塞の急性期医療の機能を有する病院</p> <p>① 専門的検査(心臓カテーテル検査、CT検査等)及び専門的診療(大動脈バルーンパンピング・緊急ペーシング等)の24時間対応</p> <p>② 経皮的冠動脈形成術(経皮的冠動脈ステント留置術を含む)を年間200症例以上実施</p> <p>③ 救急入院患者の受入実績がある</p> <p>④ 心臓血管外科に常勤医を配置</p> <p>⑤ 冠動脈バイパス術を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件を全て満たしている病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院)</td> </tr> <tr> <td>播磨</td> <td>姫路(上記条件を全て満たしている)</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波(①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院)</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路(上記条件を全て満たしている)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県保健医療計画(H30.4)に記載されている脳卒中の急性期医療の機能を有する病院</p> <p>① 検査(X線検査、CT検査、MRI(拡張強調画像)、血管連続撮影)24時間実施可能(オンコール体制含む)</p> <p>② 適応がある症例では超急性期に血栓回収療法等が24時間当直体制で実施可能</p> <p>③ 血栓溶解療法(t-PA)が24時間実施可能</p> <p>④ 外科的治療が必要な場合2時間以内に治療開始(24時間対応)</p> <p>⑤ 急性期リハビリテーションの実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(上記条件を全て満たしている)</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)</td> </tr> <tr> <td>播磨</td> <td>姫路(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)</td> </tr> </tbody> </table>	圏域	上記条件を全て満たしている病院名	阪神	尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院)	播磨	姫路(上記条件を全て満たしている)	丹波	丹波(①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院)	淡路	淡路(上記条件を全て満たしている)	圏域	病院名	阪神	尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(上記条件を全て満たしている)	東播磨	加古川(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)	播磨	姫路(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)	淡路	淡路(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																																														
総合	尼崎	193	159	194	82.4%																																																																																																																														
	淡路	95	111	112	116.8%																																																																																																																														
専門	こども	150	152	147	101.3%																																																																																																																														
	姫路	300	221	287	73.7%																																																																																																																														
合計		738	643	740	87.1%																																																																																																																														
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																																														
総合	尼崎	89	72	78	80.9%																																																																																																																														
	淡路	30	20	32	66.7%																																																																																																																														
専門	姫路	117	90	122	76.9%																																																																																																																														
合計		236	182	232	77.1%																																																																																																																														
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																																														
総合	尼崎	540	482	552	89.3%																																																																																																																														
	西宮	120	118	138	98.3%																																																																																																																														
	加古川	30	13	31	43.3%																																																																																																																														
	丹波	100	107	107	107.0%																																																																																																																														
	淡路	338	314	324	92.9%																																																																																																																														
専門	姫路	584	654	604	112.0%																																																																																																																														
合計		1,712	1,688	1,756	98.6%																																																																																																																														
圏域	上記条件を全て満たしている病院名																																																																																																																																		
阪神	尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院)																																																																																																																																		
播磨	姫路(上記条件を全て満たしている)																																																																																																																																		
丹波	丹波(①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院)																																																																																																																																		
淡路	淡路(上記条件を全て満たしている)																																																																																																																																		
圏域	病院名																																																																																																																																		
阪神	尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(上記条件を全て満たしている)																																																																																																																																		
東播磨	加古川(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)																																																																																																																																		
播磨	姫路(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)																																																																																																																																		
淡路	淡路(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)																																																																																																																																		

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）				
(4) 経皮的動脈弁バルーン拡張術（BAV）の件数 （単位：件（延件数））								
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①			
総合	淡路	30	23	31	76.7%	△ ◎ (淡路) 【コ】心臓に負荷のかかる屋外運動等の自粛に伴う対象心不全患者の減 (姫路) 状態が思わしくなく他の術式を適用できない患者に当該術式を適用したことによる増		
専門	姫路	2	3	5	150.0%			
合計		32	26	36	81.3%			
(5) 開頭術の件数 （単位：件（延件数））								
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①			
総合	尼崎	130	43	75	33.1%	▲ ○ ▲ ○ ○ (尼崎、加古川) 【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限による減		
	西宮	45	44	45	97.8%			
	加古川	56	20	59	35.7%			
	淡路	35	30	45	85.7%			
専門	姫路	187	158	181	84.5%			
合計		453	295	405	65.1%			
(6) 脳血管内手術の件数 （単位：件（延件数））								
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①			
総合	尼崎	44	40	41	90.9%	○ ◎ ▲ ○ ○ (西宮) 医師確保に伴う対象患者の増 (加古川) 【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限による減		
	西宮	6	17	8	283.3%			
	加古川	10	0	6	0.0%			
	淡路	40	36	40	90.0%			
専門	姫路	89	97	93	109.0%			
計		189	190	188	100.5%			
(7) 血栓溶解療法（t-PA）の件数 （単位：件（延件数））								
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①			
総合	尼崎	12	37	22	308.3%	◎ △ ▲ △ ○ (尼崎) 適用患者（発症早期）の増 (西宮) 【コ】対象患者の受入れ要請時に発熱者の対応をしており、受入れできなかったケースがあり減少 (加古川) 【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限による減 (淡路) 【コ】感染者に対応する EICU の病床を確保するため、EICU での管理が不要な抗血栓薬治療等を選択するケースが増えたことにより減少		
	西宮	8	5	9	62.5%			
	加古川	1	0	1	0.0%			
	淡路	12	8	4	66.7%			
専門	姫路	30	31	26	103.3%			
計		63	81	62	128.6%			

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																												
(8) 急性期リハの件数 ・心疾患	(単位：件（延件数）) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>9,634</td> <td>7,272</td> <td>8,483</td> <td>75.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>1,904</td> <td>1,857</td> <td>1,858</td> <td>97.5%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>1,100</td> <td>1,469</td> <td>694</td> <td>133.5%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>7,829</td> <td>6,733</td> <td>8,071</td> <td>86.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>14,883</td> <td>16,204</td> <td>15,228</td> <td>108.9%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>35,350</td> <td>33,535</td> <td>34,334</td> <td>94.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	9,634	7,272	8,483	75.5%	西宮	1,904	1,857	1,858	97.5%	丹波	1,100	1,469	694	133.5%	淡路	7,829	6,733	8,071	86.0%	専門	姫路	14,883	16,204	15,228	108.9%	計		35,350	33,535	34,334	94.9%	△ ○ ◎ ○ ○	(尼崎) 【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限による減 (丹波) 外来心臓リハ患者の増加に伴う対象患者の増						
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																											
総合	尼崎	9,634	7,272	8,483	75.5%																																											
	西宮	1,904	1,857	1,858	97.5%																																											
	丹波	1,100	1,469	694	133.5%																																											
	淡路	7,829	6,733	8,071	86.0%																																											
専門	姫路	14,883	16,204	15,228	108.9%																																											
計		35,350	33,535	34,334	94.9%																																											
・脳血管疾患	(単位：件（延件数）) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>10,501</td> <td>9,031</td> <td>10,322</td> <td>86.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>10,362</td> <td>11,622</td> <td>10,582</td> <td>112.2%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>9,552</td> <td>5,512</td> <td>9,827</td> <td>57.7%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>3,400</td> <td>2,621</td> <td>1,261</td> <td>77.1%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>13,057</td> <td>11,307</td> <td>11,804</td> <td>86.6%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>22,598</td> <td>22,918</td> <td>21,029</td> <td>101.4%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>69,470</td> <td>63,011</td> <td>64,825</td> <td>90.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	10,501	9,031	10,322	86.0%	西宮	10,362	11,622	10,582	112.2%	加古川	9,552	5,512	9,827	57.7%	丹波	3,400	2,621	1,261	77.1%	淡路	13,057	11,307	11,804	86.6%	専門	姫路	22,598	22,918	21,029	101.4%	計		69,470	63,011	64,825	90.7%	○ ○ ▲ △ ○ ○	(加古川、丹波) 【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限による減	
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																											
総合	尼崎	10,501	9,031	10,322	86.0%																																											
	西宮	10,362	11,622	10,582	112.2%																																											
	加古川	9,552	5,512	9,827	57.7%																																											
	丹波	3,400	2,621	1,261	77.1%																																											
	淡路	13,057	11,307	11,804	86.6%																																											
専門	姫路	22,598	22,918	21,029	101.4%																																											
計		69,470	63,011	64,825	90.7%																																											
(9) 地域連携パスの運用件数(脳血管疾患)	(単位：件（延件数）) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>130</td> <td>104</td> <td>115</td> <td>80.8%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>45</td> <td>26</td> <td>41</td> <td>57.8%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>118</td> <td>86</td> <td>127</td> <td>72.9%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>264</td> <td>177</td> <td>162</td> <td>67.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>565</td> <td>399</td> <td>456</td> <td>70.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	130	104	115	80.8%	西宮	45	26	41	57.8%	加古川	8	6	11	75.0%	淡路	118	86	127	72.9%	専門	姫路	264	177	162	67.0%	計		565	399	456	70.6%	○ ▲ △ △ △	(西宮) 認知症等のパスの適用が困難な合併症患者の増等に伴う対象患者の減 (加古川、淡路) 【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限等による減 (姫路) パスの適用がない病院(急性期、療養型等)への転院患者の増に伴う対象患者の減						
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																											
総合	尼崎	130	104	115	80.8%																																											
	西宮	45	26	41	57.8%																																											
	加古川	8	6	11	75.0%																																											
	淡路	118	86	127	72.9%																																											
専門	姫路	264	177	162	67.0%																																											
計		565	399	456	70.6%																																											
2 診療機能の高度化 ・経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)の件数	2 診療機能の高度化 (単位：件（延件数）) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>尼崎</td> <td>71</td> <td>57</td> <td>70</td> <td>80.3%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>53</td> <td>85</td> <td>56</td> <td>160.4%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>124</td> <td>142</td> <td>126</td> <td>114.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	71	57	70	80.3%	専門	姫路	53	85	56	160.4%	計		124	142	126	114.5%	○ ◎	(姫路) 開心術と比較し低侵襲であり、当該術式を積極的に採用したことによる対象患者の増																					
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																											
総合	尼崎	71	57	70	80.3%																																											
専門	姫路	53	85	56	160.4%																																											
計		124	142	126	114.5%																																											

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (3) 糖尿病医療

○ 基本方向
糖尿病は適切な治療を行うことなく放置すると重大な合併症を引き起こすため、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた糖尿病医療を提供する。

○ 取組内容

1 病院の役割
尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）、姫路循環器病センター（はりま姫路総合医療センター（仮称））は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供する。

2 診療機能の高度化
統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、専門病院に総合的な診療機能を付加すること等で診療体制の充実を図り、心疾患等の合併症を有する糖尿病患者への治療体制を強化する。

3 地域医療機関との連携体制の構築
尼崎総合医療センター等は、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組む。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和2年7月の状況等）																																																																																																																
<p>〔目標〕 尼崎総合医療センター等は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供するほか、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組む。</p> <p>〔取組項目〕 1 病院の役割 (1) 新規入院患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>275</td> <td>209</td> <td>259</td> <td>76.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>240</td> <td>208</td> <td>216</td> <td>86.7%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>168</td> <td>136</td> <td>103</td> <td>81.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>28</td> <td>20</td> <td>27</td> <td>71.4%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>170</td> <td>96</td> <td>124</td> <td>56.5%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>881</td> <td>669</td> <td>729</td> <td>75.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人（延人数）)</p> <p>(2) 糖尿病教育入院の実患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>213</td> <td>144</td> <td>195</td> <td>67.6%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>190</td> <td>179</td> <td>176</td> <td>94.2%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>118</td> <td>56</td> <td>152</td> <td>47.5%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>15.4%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>137</td> <td>85</td> <td>122</td> <td>62.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>671</td> <td>466</td> <td>654</td> <td>69.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	275	209	259	76.0%	西宮	240	208	216	86.7%	加古川	168	136	103	81.0%	淡路	28	20	27	71.4%	専門	姫路	170	96	124	56.5%	計		881	669	729	75.9%	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	213	144	195	67.6%	西宮	190	179	176	94.2%	加古川	118	56	152	47.5%	淡路	13	2	9	15.4%	専門	姫路	137	85	122	62.0%	計		671	466	654	69.4%	<p>尼崎総合医療センター等は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供するほか、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組んだが、計画を下回った。</p> <p>〔取組項目〕 1 病院の役割</p>	<p>▲</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>▲</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>▲</p> <p>▲</p> <p>△</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応に伴う患者の受入れ制限や受診控えの影響を受け、入院患者数が減少した。</p> <p>(尼崎、淡路、姫路) 【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限や受診控えに伴う減</p> <p>(尼崎、加古川、淡路、姫路) 【コ】同上</p>	<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の専門治療の機能を有する病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件の全てを満たしている病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の急性増悪時治療の機能を有する病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件の全てを満たしている病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の慢性合併症治療の機能を有する病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件の全てを満たしている病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○専門看護師・認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>慢性疾患 加古川(1)</td> </tr> <tr> <td>認定</td> <td>糖尿病 尼崎(1)、こども(1)、姫路(1)</td> </tr> </tbody> </table>	圏域	上記条件の全てを満たしている病院名	阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院	東播磨	加古川医療センター	播磨姫路	姫路循環器病センター	圏域	上記条件の全てを満たしている病院名	阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院	東播磨	加古川医療センター	播磨姫路	姫路循環器病センター	丹波	丹波医療センター	淡路	淡路医療センター	圏域	上記条件の全てを満たしている病院名	阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院	東播磨	加古川医療センター	丹波	丹波医療センター	圏域	病院別人数	専門	慢性疾患 加古川(1)	認定	糖尿病 尼崎(1)、こども(1)、姫路(1)
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																															
総合	尼崎	275	209	259	76.0%																																																																																																															
	西宮	240	208	216	86.7%																																																																																																															
	加古川	168	136	103	81.0%																																																																																																															
	淡路	28	20	27	71.4%																																																																																																															
専門	姫路	170	96	124	56.5%																																																																																																															
計		881	669	729	75.9%																																																																																																															
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																															
総合	尼崎	213	144	195	67.6%																																																																																																															
	西宮	190	179	176	94.2%																																																																																																															
	加古川	118	56	152	47.5%																																																																																																															
	淡路	13	2	9	15.4%																																																																																																															
専門	姫路	137	85	122	62.0%																																																																																																															
計		671	466	654	69.4%																																																																																																															
圏域	上記条件の全てを満たしている病院名																																																																																																																			
阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院																																																																																																																			
東播磨	加古川医療センター																																																																																																																			
播磨姫路	姫路循環器病センター																																																																																																																			
圏域	上記条件の全てを満たしている病院名																																																																																																																			
阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院																																																																																																																			
東播磨	加古川医療センター																																																																																																																			
播磨姫路	姫路循環器病センター																																																																																																																			
丹波	丹波医療センター																																																																																																																			
淡路	淡路医療センター																																																																																																																			
圏域	上記条件の全てを満たしている病院名																																																																																																																			
阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院																																																																																																																			
東播磨	加古川医療センター																																																																																																																			
丹波	丹波医療センター																																																																																																																			
圏域	病院別人数																																																																																																																			
専門	慢性疾患 加古川(1)																																																																																																																			
認定	糖尿病 尼崎(1)、こども(1)、姫路(1)																																																																																																																			

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (4) 精神医療

<p>○ 基本方向</p> <p>ひょうごこころの医療センターは、民間病院等では対応が困難な急性期の患者等に対し、専門医療を提供するとともに、他の県立病院と連携した身体合併症患者への対応強化等を推進する。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 ひょうごこころの医療センターは、精神科医療の全県拠点病院として、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門治療を充実する。</p> <p>(1) 精神科の急性期医療、3次救急医療及びアルコール依存症等に対する専門的治療を引き続き提供するとともに、児童思春期センター（愛称：ひかりの森）と地域の保健福祉関係機関等の連携を推進する。</p> <p>(2) 長期入院患者等の地域移行や精神病床の機能分化が進められる中、地域移行の促進に向けたアウトリーチ（訪問支援）の充実を図るとともに、他の県立病院と連携した身体合併症患者への対応強化等を推進する。</p> <p>(3) 認知症関連行動障害を有する患者の早期鑑別・早期治療や身体合併症への対応を充実するとともに、医療観察法により入院決定を受けた心神喪失患者に対する医療の提供を検討する。</p> <p>2 尼崎総合医療センターは、ひょうごこころの医療センター等との連携により、精神科専門医、救急医等関係診療科医が協力して身体合併症を有する精神疾患患者へ適切に対応する。</p> <p>3 淡路医療センターは、地域の実情等を踏まえ精神科医療を提供する。</p> <p>4 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、外傷等の身体合症状を持つ精神疾患患者に適切な対応を行う。</p> <p>5 認知症疾患医療センター指定を受けた各病院は、認知症の鑑別診断を行うとともに、圏域の中核となって医療機関等を対象とした研修や症例検討会を開催し、医療連携を推進する。</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																					
<p>〔目標〕</p> <p>ひょうごこころの医療センターにおいて、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門医療を充実するとともに長期入院患者等の退院促進を図る。</p> <p>また、認知症疾患医療センター設置病院は鑑別診断を適切に行う。</p>	<p>ひょうごこころの医療センターにおいて、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門医療を充実するとともに長期入院患者等の退院促進を図った。</p> <p>また、認知症疾患医療センター設置病院は鑑別診断の適切な実施を推進した。</p> <p>しかし、右記の理由により計画を下回った。</p>	▲	<p>新型コロナウイルス感染症対応に伴う病棟休止や受診控え等の影響を受け、入院患者数等が減少した。</p> <p>一方、外来アルコール依存症プログラムの実施人数が増加する等、その他の項目は概ね計画どおりに実施した。</p>	<p>参考：現況（令和3年7月の状況等）</p>																																					
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 新規入院患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>48</td> <td>26</td> <td>29</td> <td>54.2%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>156</td> <td>94</td> <td>100</td> <td>60.3%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>900</td> <td>598</td> <td>792</td> <td>66.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,104</td> <td>718</td> <td>921</td> <td>65.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	48	26	29	54.2%	淡路	156	94	100	60.3%	専門	こころ	900	598	792	66.4%	計		1,104	718	921	65.0%	<p>1 新規入院患者数</p> <p>(単位：人)</p>	▲ △ △	<p>(尼崎)</p> <p>【コ】病床転用に伴う救急患者の受入れ制限や精神病院からの転院依頼件数の減少等に伴う減</p> <p>(淡路)</p> <p>治療薬の充実等による総合失調症の軽症化等による対象患者の減</p> <p>(こころ)</p> <p>【コ】受診控えに伴う減</p>	<p>○専門看護師・認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>精神 尼崎(1)、淡路(2)、姫路(1)</td> </tr> <tr> <td>認定</td> <td>認知症 尼崎(3)、丹波(1)、こころ(1)、がん(1)</td> </tr> <tr> <td>日本精神科看護協会認定</td> <td>精神科看護 こころ(6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※姫路の精神の専門看護師は週1日勤務</p>	区分	病院別人数	専門	精神 尼崎(1)、淡路(2)、姫路(1)	認定	認知症 尼崎(3)、丹波(1)、こころ(1)、がん(1)	日本精神科看護協会認定	精神科看護 こころ(6)
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																				
総合	尼崎	48	26	29	54.2%																																				
	淡路	156	94	100	60.3%																																				
専門	こころ	900	598	792	66.4%																																				
計		1,104	718	921	65.0%																																				
区分	病院別人数																																								
専門	精神 尼崎(1)、淡路(2)、姫路(1)																																								
認定	認知症 尼崎(3)、丹波(1)、こころ(1)、がん(1)																																								
日本精神科看護協会認定	精神科看護 こころ(6)																																								
<p>2 ひょうごこころの医療センターの取組</p> <p>(1) 児童思春期センターの円滑な運営（入院患者数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>17,345</td> <td>11,411</td> <td>15,422</td> <td>65.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	専門	こころ	17,345	11,411	15,422	65.8%	<p>2 ひょうごこころの医療センターの取組</p> <p>(1) ひょうごこころの医療センターの取組</p> <p>(単位：人)</p>	△	<p>【コ】休校に伴う不登校児童等が減少したことによる減</p>	<p>○認知症疾患医療センター設置病院（指定日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎総合医療センター（H30.10.1） ・淡路医療センター（H21.4.1） ・ひょうごこころの医療センター（H29.1.1） ・姫路循環器病センター（H23.7.1） ・リハビリテーション西播磨病院（H21.11.1） 																									
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																				
専門	こころ	17,345	11,411	15,422	65.8%																																				
<p>(2) 精神科救急医療センターの充実強化</p> <p>・救急医療センター入院患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>413</td> <td>189</td> <td>338</td> <td>45.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	専門	こころ	413	189	338	45.8%	<p>(単位：人)</p>	▲	<p>【コ】感染患者受入れに伴う救急病棟休止による減</p>																										
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																				
専門	こころ	413	189	338	45.8%																																				
<p>・精神科救急医療システムからの入院患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>76</td> <td>37</td> <td>61</td> <td>48.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	専門	こころ	76	37	61	48.7%	<p>(単位：人)</p>	▲	<p>【コ】同上</p>																										
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																				
専門	こころ	76	37	61	48.7%																																				

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況				評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）
(3) 退院支援の実施								
① 地域移行の推進による退院支援の強化		(単位：件、回)						
区分	病院名	区分	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①		
専門	こころ	入院時の業務	1,600	1,412	1,352	88.3%	○	(退院支援委員会開催回数) 医療保護入院患者（3ヶ月以上入院）の退院支援強化に伴う開催回数の増
		退院支援委員会の開催回数	130	166	162	127.7%	◎	
		退院調整に関する業務回数	11,000	12,207	11,207	111.0%	○	
② 心理教育の実施		(単位：回、人)						
区分	病院名	区分	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①		
専門	こころ	心理教育	250	163	238	65.2%	△	(心理教育) 【コ】救急病棟休止に伴うプログラムの中止による減 (患者延参加数) 【コ】外来患者の受診控え等による利用者の減
		患者延参加数	1,162	622	1,082	53.5%	▲	
③ 作業所・救護施設の利用を促進するための退院前訪問・同行の実施		(単位：回)						
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①			
専門	こころ	700	602	654	86.0%	○		
④ 相談員による面接・電話調整		(単位：件)						
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①			
専門	こころ	34,400	44,284	32,022	128.7%	◎	【コ】入院患者の外泊停止や面会制限に伴う患者面談や家族への電話連絡件数の増	
⑤ 訪問看護の実施		(単位：人)						
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①			
専門	こころ	3,500	3,275	3,113	93.6%	○		
(4) アルコール依存症医療の充実								
・入院患者数		(単位：人/日)						
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①			
専門	こころ	34.1	20.2	31.4	59.2%	▲	【コ】感染状況を考慮してプログラムを変更（原則外出禁止）したところ、入院希望者の減少やプログラム途中の退院が生じ、患者数が減少	
・外来アルコール依存症プログラムの実施		(単位：人/日)						
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①			
専門	こころ	68	299	30	439.7%	◎	【コ】計画時は感染対策のため一部中止を予定していたが、人数を制限して継続実施したことにより増加	
(5) 外来機能の充実強化								
・外来患者数		(単位：人)						
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①			
専門	こころ	51,500	50,009	51,122	97.1%	○		
(6) 障害児リハビリテーションの実施		(単位：件)						
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①			
専門	こころ	2,400	1,521	1,740	63.4%	△	【コ】救急病棟休止や受診控え等による対象患者の減	

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況					評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）	
3 認知症鑑別診断の件数	3 認知症鑑別診断の件数 (単位：件（延件数）)								
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①		(尼崎、淡路) 【コ】受診控えによる対象患者の減		
総合	尼崎	347	220	160	63.4%	△			
	淡路	371	262	271	70.6%	△			
専門	こころ	1,111	995	1,111	89.6%	○			
	姫路	666	565	588	84.8%	○			
	リハ西	1,157	1,141	1,122	98.6%	○			
計		3,652	3,183	3,252	87.2%				

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (5) 救急・災害医療

○ **基本方向**
 県民が急傷病時に安心して診療を受けることができるよう、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割を踏まえ、災害医療センターを中心に、2次、3次の救急医療の充実を図っていく。
 また、災害時にも県民の求める医療を適切に提供できるようハード、ソフトの両面から機能充実を図り、県立病院全体の強靱化を進める。

○ **取組内容**

1 **救急医療**
 (1) 災害医療センターは、高度救命救急センターとして、高度救命救急医療を提供するとともに救急医療の従事者に対する研修等を行う。
 (2) 尼崎総合医療センターの救命救急センターにおいて、24時間365日断ることなく救急患者に対応するER型救急医療の提供を行う。
 (3) 加古川医療センターは、救命救急センターとして、3次救急医療を提供するとともに、ドクターヘリを活用した迅速な患者受け入れを行う。
 (4) 西宮病院、淡路医療センター、姫路循環器病センターは、救命救急センターとして、3次救急医療を提供する。
 (5) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、新たに総合的な診療機能を活かした3次救急医療を提供するなど救急医療を充実するとともに、加古川医療センターと連携した兵庫県ドクターヘリを運航する。
 (6) 柏原病院（丹波医療センター）は、圏域の救急医療の中核病院として、2次を中心に、3次的機能病院としての役割を果たす。

2 **災害医療**
 (1) 災害拠点病院の機能強化や人材育成を引き続き推進する。
 (2) 災害医療センターは、基幹災害拠点病院として、大規模災害に備えるとともに、災害医療の従事者に対する研修等を行う。
 (3) すべての県立病院は業務継続計画（BCP）等に基づき、災害発生時には速やかに必要な医療の提供を行う。
 (4) 兵庫DMA T指定病院、DPAT登録医療機関は、災害発生時に県からの要請に基づき必要な医療チームの派遣を行う。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																																																													
<p>〔目標〕 救命救急センターや二次救急輪番病院については、地域の医療機関や消防機関と連携して、圏域の救急医療を確保する。 災害医療センターにおいては、兵庫県全域の救急・災害医療の教育拠点としての役割も担う。</p>	<p>救命救急センターや二次救急輪番病院については、地域の医療機関や消防機関と連携して、圏域の救急医療を確保した。 災害医療センターにおいては、兵庫県全域の救急・災害医療の教育拠点としての役割も担った。 しかし、右記の理由により計画を下回った。</p>	▲	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、災害医療センターを除く病院でドクターカーの出動件数等が減少するほか、広域災害訓練等の開催・参加回数等が減少した。 一方、全県立病院でBCPの策定が完了した。</p>	<p>参考：現況（令和3年7月の状況等）</p>																																																																																																													
<p>〔取組項目〕 1 救急医療 (1) 救急車搬送患者数</p>	<p>〔取組項目〕 1 救急医療</p>			<p>1 救急医療 ○救急医療における県立病院の役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3次救急</td> <td>高度救命救急センター</td> <td>災害医療センター</td> </tr> <tr> <td>救命救急センター</td> <td>尼崎総合医療センター 西宮病院 加古川医療センター 淡路医療センター 姫路循環器病センター</td> </tr> <tr> <td>3次的機能病院</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2次救急</td> <td>2次輪番病院</td> <td>西宮病院 加古川医療センター 丹波医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定 救急</td> <td>尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、淡路(1)、姫路(1)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	3次救急	高度救命救急センター	災害医療センター	救命救急センター	尼崎総合医療センター 西宮病院 加古川医療センター 淡路医療センター 姫路循環器病センター	3次的機能病院	丹波医療センター	2次救急	2次輪番病院	西宮病院 加古川医療センター 丹波医療センター	区分	病院別人数	認定 救急	尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、淡路(1)、姫路(1)																																																																																													
区分	病院名																																																																																																																
3次救急	高度救命救急センター	災害医療センター																																																																																																															
	救命救急センター	尼崎総合医療センター 西宮病院 加古川医療センター 淡路医療センター 姫路循環器病センター																																																																																																															
3次的機能病院	丹波医療センター																																																																																																																
2次救急	2次輪番病院	西宮病院 加古川医療センター 丹波医療センター																																																																																																															
	区分	病院別人数																																																																																																															
認定 救急	尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、淡路(1)、姫路(1)																																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">総合</td> <td>尼崎</td> <td>12,906</td> <td>8,777</td> <td>11,477</td> <td>68.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>4,106</td> <td>3,509</td> <td>3,946</td> <td>85.5%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>2,518</td> <td>946</td> <td>2,595</td> <td>37.6%</td> </tr> <tr> <td>(ドクヘリ搬送)</td> <td>(450)</td> <td>(355)</td> <td>(449)</td> <td>78.9%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>2,300</td> <td>2,017</td> <td>2,149</td> <td>87.7%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>3,200</td> <td>2,702</td> <td>3,225</td> <td>84.4%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>姫路</td> <td>2,468</td> <td>2,385</td> <td>2,499</td> <td>96.6%</td> </tr> <tr> <td>災害</td> <td>931</td> <td>1,266</td> <td>963</td> <td>136.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>28,429</td> <td>21,598</td> <td>26,854</td> <td>76.0%</td> </tr> </tbody> </table>	(単位：人)						区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	12,906	8,777	11,477	68.0%	西宮	4,106	3,509	3,946	85.5%	加古川	2,518	946	2,595	37.6%	(ドクヘリ搬送)	(450)	(355)	(449)	78.9%	丹波	2,300	2,017	2,149	87.7%	淡路	3,200	2,702	3,225	84.4%	専門	姫路	2,468	2,385	2,499	96.6%	災害	931	1,266	963	136.0%	計		28,429	21,598	26,854	76.0%	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>1,702</td> <td>1,446</td> <td>1,837</td> <td>85.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>747</td> <td>924</td> <td>919</td> <td>123.7%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>590</td> <td>223</td> <td>587</td> <td>37.8%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>700</td> <td>407</td> <td>623</td> <td>58.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>姫路</td> <td>1,214</td> <td>949</td> <td>1,199</td> <td>78.2%</td> </tr> <tr> <td>災害</td> <td>779</td> <td>1,131</td> <td>890</td> <td>145.2%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>5,732</td> <td>5,080</td> <td>6,055</td> <td>88.6%</td> </tr> </tbody> </table>	(単位：人)						区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	1,702	1,446	1,837	85.0%	西宮	747	924	919	123.7%	加古川	590	223	587	37.8%	淡路	700	407	623	58.1%	専門	姫路	1,214	949	1,199	78.2%	災害	779	1,131	890	145.2%	計		5,732	5,080	6,055	88.6%	<p>△ ○ ▲ △ ○ ○ ◎</p> <p>(西宮) 【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限や社会活動自粛に伴う事故件数の減等による対象患者の増</p> <p>◎ ◎ ▲ ▲ △ ◎</p> <p>(加古川、淡路、姫路) 【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限や社会活動自粛に伴う事故件数の減等による対象患者の増</p> <p>◎ ◎ ◎</p> <p>(災害) 【コ】患者の受入れ制限を行う他院をカバーしたことによる対象患者の増</p>	<p>△ ○ ◎ ◎ ◎</p> <p>(尼崎、加古川) 【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限や社会活動自粛に伴う事故件数の減等による対象患者の減</p> <p>△ ○ ◎</p> <p>(災害) 【コ】患者の受入れ制限を行う他院をカバーしたことによる対象患者の増</p>
(単位：人)																																																																																																																	
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																												
総合	尼崎	12,906	8,777	11,477	68.0%																																																																																																												
	西宮	4,106	3,509	3,946	85.5%																																																																																																												
	加古川	2,518	946	2,595	37.6%																																																																																																												
	(ドクヘリ搬送)	(450)	(355)	(449)	78.9%																																																																																																												
	丹波	2,300	2,017	2,149	87.7%																																																																																																												
	淡路	3,200	2,702	3,225	84.4%																																																																																																												
専門	姫路	2,468	2,385	2,499	96.6%																																																																																																												
	災害	931	1,266	963	136.0%																																																																																																												
計		28,429	21,598	26,854	76.0%																																																																																																												
(単位：人)																																																																																																																	
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																												
総合	尼崎	1,702	1,446	1,837	85.0%																																																																																																												
	西宮	747	924	919	123.7%																																																																																																												
	加古川	590	223	587	37.8%																																																																																																												
	淡路	700	407	623	58.1%																																																																																																												
専門	姫路	1,214	949	1,199	78.2%																																																																																																												
	災害	779	1,131	890	145.2%																																																																																																												
計		5,732	5,080	6,055	88.6%																																																																																																												

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																																																																						
<p>(3) ドクターカー出動件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>351</td> <td>174</td> <td>353</td> <td>49.6%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>650</td> <td>585</td> <td>667</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>129</td> <td>30</td> <td>73</td> <td>23.3%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>40</td> <td>12</td> <td>30</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>こども</td> <td>190</td> <td>127</td> <td>157</td> <td>66.8%</td> </tr> <tr> <td>災害</td> <td>263</td> <td>329</td> <td>264</td> <td>125.1%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1,623</td> <td>1,257</td> <td>1,544</td> <td>77.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件)</p>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	351	174	353	49.6%	西宮	650	585	667	90.0%	加古川	129	30	73	23.3%	淡路	40	12	30	30.0%	専門	こども	190	127	157	66.8%	災害	263	329	264	125.1%	計		1,623	1,257	1,544	77.4%	<p>(4) 高度救命救急センターとして、県下救急隊に研修等を行い、連携強化に努める。(災害)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>災害</td> <td>134</td> <td>137</td> <td>136</td> <td>102.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回)</p>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	専門	災害	134	137	136	102.2%	<p>▲</p> <p>○</p> <p>▲</p> <p>▲</p> <p>△</p> <p>◎</p>	<p>(尼崎、加古川、淡路) 【コ】感染患者対応に伴う出動可能医師の減 (こども) 【コ】迎え搬送の受入れ控えや入院患者減に伴う転院患者の搬送機会の減少による減 (災害) 【コ】患者の受入れ制限を行う他院をカバーしたことによる増</p>	<p>○ドクターヘリの運航体制（加古川医療センター）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基地病院</td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>駐機日</td> <td>毎週木～月曜日</td> </tr> <tr> <td>運航に係る人員配置</td> <td>フライトドクター：9名 フライトナース：9名</td> </tr> <tr> <td>要請件数 (うち出動件数) ※加古川医療センターの 件数のみ記載</td> <td>平成27年度：482件(425件) 平成28年度：540件(464件) 平成29年度：564件(501件) 平成30年度：510件(438件) 令和元年度：559件(431件) 令和2年度：482件(362件) 令和3年度（R3.6末時点） ：121件(87件)</td> </tr> <tr> <td>準基地病院</td> <td>製鉄記念広畑病院</td> </tr> <tr> <td>駐機日</td> <td>毎週火、水曜日</td> </tr> </tbody> </table>	区分	内容	基地病院	加古川医療センター	駐機日	毎週木～月曜日	運航に係る人員配置	フライトドクター：9名 フライトナース：9名	要請件数 (うち出動件数) ※加古川医療センターの 件数のみ記載	平成27年度：482件(425件) 平成28年度：540件(464件) 平成29年度：564件(501件) 平成30年度：510件(438件) 令和元年度：559件(431件) 令和2年度：482件(362件) 令和3年度（R3.6末時点） ：121件(87件)	準基地病院	製鉄記念広畑病院	駐機日	毎週火、水曜日																																																
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																																					
総合	尼崎	351	174	353	49.6%																																																																																																																					
	西宮	650	585	667	90.0%																																																																																																																					
	加古川	129	30	73	23.3%																																																																																																																					
	淡路	40	12	30	30.0%																																																																																																																					
専門	こども	190	127	157	66.8%																																																																																																																					
	災害	263	329	264	125.1%																																																																																																																					
計		1,623	1,257	1,544	77.4%																																																																																																																					
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																																					
専門	災害	134	137	136	102.2%																																																																																																																					
区分	内容																																																																																																																									
基地病院	加古川医療センター																																																																																																																									
駐機日	毎週木～月曜日																																																																																																																									
運航に係る人員配置	フライトドクター：9名 フライトナース：9名																																																																																																																									
要請件数 (うち出動件数) ※加古川医療センターの 件数のみ記載	平成27年度：482件(425件) 平成28年度：540件(464件) 平成29年度：564件(501件) 平成30年度：510件(438件) 令和元年度：559件(431件) 令和2年度：482件(362件) 令和3年度（R3.6末時点） ：121件(87件)																																																																																																																									
準基地病院	製鉄記念広畑病院																																																																																																																									
駐機日	毎週火、水曜日																																																																																																																									
<p>2 災害医療</p> <p>(1) 広域災害訓練等の開催・参加回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">災害拠点病院</td> <td>尼崎</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>11.1%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>災害</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>133.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">その他</td> <td>こころ</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>粒子線</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>神戸陽子</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>リハ西</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>46</td> <td>19</td> <td>44</td> <td>41.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回（延回数）)</p>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	災害拠点病院	尼崎	4	0	4	0.0%	西宮	6	2	5	33.3%	加古川	9	1	5	11.1%	丹波	3	0	3	0.0%	淡路	3	1	3	33.3%	姫路	4	0	7	0.0%	災害	3	4	6	133.3%	その他	こころ	2	1	1	50.0%	こども	1	1	0	100.0%	がん	2	2	2	100.0%	粒子線	2	2	2	100.0%	神戸陽子	2	1	1	50.0%	リハ中	3	3	3	100.0%	リハ西	2	1	2	50.0%	計		46	19	44	41.3%	<p>2 災害医療</p> <p>(2) 災害医療従事者の人材育成（災害） ・DMAT 隊員養成研修実施回数及び参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>項目</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td rowspan="2">災害</td> <td>実施回数</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>510</td> <td>67</td> <td>503</td> <td>13.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回)</p>	区分	病院名	項目	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	専門	災害	実施回数	9	3	9	33.3%	参加者数	510	67	503	13.1%	<p>▲</p> <p>▲</p> <p>▲</p> <p>▲</p> <p>▲</p> <p>▲</p> <p>◎</p> <p>▲</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>▲</p> <p>○</p> <p>▲</p>	<p>(尼崎、西宮、加古川、丹波、淡路、姫路、こころ、神戸陽子、リハ西) 【コ】感染状況を考慮し中止（他機関主催分を含む）</p> <p>(災害) 計画時はコロナ禍による他機関主催訓練の減少を見込んでいたが、想定よりも多く開催されたことにより増加</p> <p>【コ】厚労省指示により緊急事態宣言期間中等の開催を中止するとともに、実施時は定員を半減したことにより減少</p>	<p>2 災害医療</p> <p>○県立病院における災害医療の役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基幹災害拠点病院</td> <td>災害医療センター</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">災害拠点病院</td> <td>阪神</td> <td>尼崎総合医療センター 西宮病院</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成28年度に災害時等職員行動マニュアルに受援計画を盛り込み作成</p>	区分	病院名	基幹災害拠点病院	災害医療センター	災害拠点病院	阪神	尼崎総合医療センター 西宮病院	東播磨	加古川医療センター	播磨姫路	姫路循環器病センター	丹波	丹波医療センター	淡路	淡路医療センター
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																																					
災害拠点病院	尼崎	4	0	4	0.0%																																																																																																																					
	西宮	6	2	5	33.3%																																																																																																																					
	加古川	9	1	5	11.1%																																																																																																																					
	丹波	3	0	3	0.0%																																																																																																																					
	淡路	3	1	3	33.3%																																																																																																																					
	姫路	4	0	7	0.0%																																																																																																																					
	災害	3	4	6	133.3%																																																																																																																					
その他	こころ	2	1	1	50.0%																																																																																																																					
	こども	1	1	0	100.0%																																																																																																																					
	がん	2	2	2	100.0%																																																																																																																					
	粒子線	2	2	2	100.0%																																																																																																																					
	神戸陽子	2	1	1	50.0%																																																																																																																					
	リハ中	3	3	3	100.0%																																																																																																																					
リハ西	2	1	2	50.0%																																																																																																																						
計		46	19	44	41.3%																																																																																																																					
区分	病院名	項目	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																																				
専門	災害	実施回数	9	3	9	33.3%																																																																																																																				
		参加者数	510	67	503	13.1%																																																																																																																				
区分	病院名																																																																																																																									
基幹災害拠点病院	災害医療センター																																																																																																																									
災害拠点病院	阪神	尼崎総合医療センター 西宮病院																																																																																																																								
	東播磨	加古川医療センター																																																																																																																								
	播磨姫路	姫路循環器病センター																																																																																																																								
	丹波	丹波医療センター																																																																																																																								
	淡路	淡路医療センター																																																																																																																								

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																		
<p>(3) 災害時の迅速かつ適切な医療活動支援につなげるための広域災害・救急医療情報システム（EMIS）を用いた情報収集訓練の実施（災害） ・訓練実施回数</p> <table border="1" data-bbox="368 384 1519 457"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>災害</td> <td>38</td> <td>15</td> <td>27</td> <td>39.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回)</p> <p>(4) 全県立病院において、令和2年度中にBCPを策定</p> <table border="1" data-bbox="231 554 1475 930"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>策定済病院</th> <th>R2 策定病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院名</td> <td> 尼崎（平成30年11月策定） 西宮（平成31年1月策定） 加古川（平成30年11月策定） 淡路（平成31年3月策定） 丹波（平成31年1月策定） 姫路（平成31年1月策定） こころ（令和2年3月策定） 粒子線（令和2年1月策定） 災害（平成30年12月策定） リハ中（令和元年5月策定） </td> <td> こども（令和2年12月策定） がん（令和2年12月策定） 神戸陽子（令和2年5月策定） リハ西（令和2年8月策定） </td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	専門	災害	38	15	27	39.5%	区分	策定済病院	R2 策定病院	病院名	尼崎（平成30年11月策定） 西宮（平成31年1月策定） 加古川（平成30年11月策定） 淡路（平成31年3月策定） 丹波（平成31年1月策定） 姫路（平成31年1月策定） こころ（令和2年3月策定） 粒子線（令和2年1月策定） 災害（平成30年12月策定） リハ中（令和元年5月策定）	こども（令和2年12月策定） がん（令和2年12月策定） 神戸陽子（令和2年5月策定） リハ西（令和2年8月策定）		<p>▲</p> <p>○</p>	<p>【コ】接触機会を減少させるとともに、実施主体である各消防本部が救急対応で多忙であったことにより減少</p>	
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																	
専門	災害	38	15	27	39.5%																	
区分	策定済病院	R2 策定病院																				
病院名	尼崎（平成30年11月策定） 西宮（平成31年1月策定） 加古川（平成30年11月策定） 淡路（平成31年3月策定） 丹波（平成31年1月策定） 姫路（平成31年1月策定） こころ（令和2年3月策定） 粒子線（令和2年1月策定） 災害（平成30年12月策定） リハ中（令和元年5月策定）	こども（令和2年12月策定） がん（令和2年12月策定） 神戸陽子（令和2年5月策定） リハ西（令和2年8月策定）																				

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (6) 小児・周産期医療

○ 基本方向

小児医療及び周産期医療については、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割を踏まえ高度専門医療を提供する。

○ 取組内容

1 小児医療

- (1) 尼崎総合医療センター及びこども病院は、小児救命救急センターとして、適切な医療を提供する。
- (2) 西宮病院、淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）は、小児の2次救急医療等を提供する。
- (3) こども病院は、神戸市立医療センター中央市民病院等との連携のもと、循環器疾患等のキャリアオーバー患者に対する適切な医療を提供する。

2 周産期医療

- (1) 総合周産期母子医療センターに指定されている尼崎総合医療センター及びこども病院を中心に、地域医療機関との連携を行い、周産期医療の充実を図る。
- (2) 西宮病院、淡路医療センターは、地域周産期母子医療センターとして医療を提供する。
- (3) 統合再編後の丹波医療センターは、近隣の周産期母子医療センター等と連携した医療を提供しながら、周産期医療の充実に努める。
- (4) 統合再編するはりま姫路総合医療センター（仮称）は、総合周産期母子医療センターを補完するために必要な機能を整備する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																							
<p>〔目標〕 小児救命救急センター及び小児中核病院である尼崎総合医療センター及びこども病院を中心として、小児救急医療を提供する。 総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターは、地域の産科医療機関や消防機関と連携して、役割に応じた周産期医療を適切に提供する。</p>	<p>小児救命救急センター及び小児中核病院である尼崎総合医療センター及びこども病院を中心として、小児救急医療を提供した。 総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターは、地域の産科医療機関や消防機関と連携して、役割に応じた周産期医療を適切に提供した。 しかし、右記の理由により計画を下回った。</p>	△	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う対象患者の減少等の影響を受け、小児の救急車搬送患者数等が減少した。 一方、ハイリスク妊婦数や2,500g未満の新生児実入院患者数が計画を上回るなど、その他の項目は概ね計画どおりに実施した。</p>	<p>参考：現況（令和3年7月の状況等）</p>																																							
<p>〔取組項目〕 1 小児医療 ・小児の救急車搬送患者数</p>	<p>〔取組項目〕 1 小児医療</p>			<p>○小児救急医療における県立病院の役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3次救急</td> <td>小児救命救急センター</td> </tr> <tr> <td>小児中核病院(A)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2次救急</td> <td>小児地域医療センター(B)</td> </tr> <tr> <td>病院群輪番病院</td> </tr> <tr> <td>西宮病院 丹波医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A)：高度専門的な小児医療を実施し、小児救命救急医療を24時間365日体制で実施 (B)：小児専門医療を実施し、24時間365日小児救急への対応が可能</p>	区分	病院名	3次救急	小児救命救急センター	小児中核病院(A)	2次救急	小児地域医療センター(B)	病院群輪番病院	西宮病院 丹波医療センター																														
区分	病院名																																										
3次救急	小児救命救急センター																																										
	小児中核病院(A)																																										
2次救急	小児地域医療センター(B)																																										
	病院群輪番病院																																										
	西宮病院 丹波医療センター																																										
<p>2 周産期医療 (1) ハイリスク妊婦数</p>	<p>2 周産期医療</p>		<p>(尼崎、丹波、淡路、こども) 【コ】感染対策に伴うインフルエンザ患者等の減</p>	<p>○周産期医療における県立病院の位置づけ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合周産期母子医療センター(A)</td> <td>尼崎総合医療センター こども病院</td> </tr> <tr> <td>地域周産期母子医療センター(B)</td> <td>西宮病院 淡路医療センター</td> </tr> <tr> <td>協力病院(C)</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A)：周産期に関する高度かつ専門的な医療提供(MFICU：6床以上、NICU：9床以上) (B)：比較的高度の医療提供、地域における周産期医療施設との連絡調整等 (C)：地域周産期母子医療センターと協力して、ハイリスク妊婦又はハイリスク新生児の診療等</p>	区分	病院名	総合周産期母子医療センター(A)	尼崎総合医療センター こども病院	地域周産期母子医療センター(B)	西宮病院 淡路医療センター	協力病院(C)	丹波医療センター																															
区分	病院名																																										
総合周産期母子医療センター(A)	尼崎総合医療センター こども病院																																										
地域周産期母子医療センター(B)	西宮病院 淡路医療センター																																										
協力病院(C)	丹波医療センター																																										
	<p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>3,075</td> <td>1,858</td> <td>3,037</td> <td>60.4%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>380</td> <td>328</td> <td>397</td> <td>86.3%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>300</td> <td>140</td> <td>268</td> <td>46.7%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>181</td> <td>96</td> <td>150</td> <td>53.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>1,800</td> <td>1,169</td> <td>1,727</td> <td>64.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>5,736</td> <td>3,591</td> <td>5,579</td> <td>62.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	3,075	1,858	3,037	60.4%	西宮	380	328	397	86.3%	丹波	300	140	268	46.7%	淡路	181	96	150	53.0%	専門	こども	1,800	1,169	1,727	64.9%	計		5,736	3,591	5,579	62.6%	△ ○ ▲ ▲ △		
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																						
総合	尼崎	3,075	1,858	3,037	60.4%																																						
	西宮	380	328	397	86.3%																																						
	丹波	300	140	268	46.7%																																						
	淡路	181	96	150	53.0%																																						
専門	こども	1,800	1,169	1,727	64.9%																																						
計		5,736	3,591	5,579	62.6%																																						
	<p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>尼崎</td> <td>170</td> <td>161</td> <td>172</td> <td>94.7%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>155</td> <td>151</td> <td>151</td> <td>97.4%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>40</td> <td>63</td> <td>42</td> <td>157.5%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>130</td> <td>154</td> <td>124</td> <td>118.5%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>495</td> <td>529</td> <td>489</td> <td>106.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	170	161	172	94.7%	西宮	155	151	151	97.4%	淡路	40	63	42	157.5%	専門	こども	130	154	124	118.5%	計		495	529	489	106.9%	○ ○ ○ ○	<p>(淡路) 妊娠の高年齢化等による対象患者の増</p>						
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																						
総合	尼崎	170	161	172	94.7%																																						
	西宮	155	151	151	97.4%																																						
	淡路	40	63	42	157.5%																																						
専門	こども	130	154	124	118.5%																																						
計		495	529	489	106.9%																																						

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																															
(2) 母胎搬送受入数	(単位：人)			○専門看護師、認定看護師の状況																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>尼崎</td> <td>106</td> <td>97</td> <td>93</td> <td>91.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>120</td> <td>82</td> <td>97</td> <td>68.3%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>90</td> <td>106</td> <td>84</td> <td>117.8%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>321</td> <td>287</td> <td>278</td> <td>89.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	106	97	93	91.5%	西宮	120	82	97	68.3%	淡路	5	2	4	40.0%	専門	こども	90	106	84	117.8%	計		321	287	278	89.4%		○ △ ▲ ○	(西宮) 医師（周産期）の減少に伴い妊娠32週未満の患者の受入れを停止したことによる減 (淡路) 【コ】発熱者や接触者等の受入れ制限による減	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>小児看護</td> <td>尼崎(2)、こども(3)</td> </tr> <tr> <td>母性看護</td> <td>西宮(1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">認定</td> <td>新生児集中ケア</td> <td>尼崎(3)、こども(3)</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>尼崎(2)、こども(2)</td> </tr> </tbody> </table>		区分	病院別人数	専門	小児看護	尼崎(2)、こども(3)	母性看護	西宮(1)	認定	新生児集中ケア	尼崎(3)、こども(3)	小児救急	尼崎(2)、こども(2)
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																														
総合	尼崎	106	97	93	91.5%																																														
	西宮	120	82	97	68.3%																																														
	淡路	5	2	4	40.0%																																														
専門	こども	90	106	84	117.8%																																														
計		321	287	278	89.4%																																														
	区分	病院別人数																																																	
専門	小児看護	尼崎(2)、こども(3)																																																	
	母性看護	西宮(1)																																																	
認定	新生児集中ケア	尼崎(3)、こども(3)																																																	
	小児救急	尼崎(2)、こども(2)																																																	
(3) 2,500g未満の新生児実入院患者数	(単位：人)																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>尼崎</td> <td>240</td> <td>213</td> <td>196</td> <td>88.8%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>110</td> <td>94</td> <td>117</td> <td>85.5%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>33</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>180</td> <td>353</td> <td>191</td> <td>196.1%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>580</td> <td>710</td> <td>537</td> <td>122.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	240	213	196	88.8%	西宮	110	94	117	85.5%	淡路	50	50	33	100.0%	専門	こども	180	353	191	196.1%	計		580	710	537	122.4%		○ ○ ○ ◎	(こども) 【コ】神戸中央市民病院の通常診療制限に伴い当院での出生数が増加し、そのまま当院に入院する未熟児等が増加														
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																														
総合	尼崎	240	213	196	88.8%																																														
	西宮	110	94	117	85.5%																																														
	淡路	50	50	33	100.0%																																														
専門	こども	180	353	191	196.1%																																														
計		580	710	537	122.4%																																														
(4) 新生児の搬送受入総数	(単位：人)																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>尼崎</td> <td>70</td> <td>72</td> <td>65</td> <td>102.9%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>50</td> <td>39</td> <td>50</td> <td>78.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>190</td> <td>173</td> <td>201</td> <td>91.1%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>313</td> <td>286</td> <td>319</td> <td>91.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	70	72	65	102.9%	西宮	50	39	50	78.0%	淡路	3	2	3	66.7%	専門	こども	190	173	201	91.1%	計		313	286	319	91.4%		○ △ △ ○	(西宮) 【コ】感染疑い患児の受入れに伴う新規入院患児の受入れ抑制や医師の退職による減 (淡路) 【コ】発熱者や接触者等の受入れ制限による減														
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																														
総合	尼崎	70	72	65	102.9%																																														
	西宮	50	39	50	78.0%																																														
	淡路	3	2	3	66.7%																																														
専門	こども	190	173	201	91.1%																																														
計		313	286	319	91.4%																																														

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (7) リハビリテーション医療

○ 基本方向	リハビリテーション中央病院及びリハビリテーション西播磨病院においては、全県の中核施設として、安全で質の高い先導的なリハビリテーション医療を追求するとともに、各地域におけるリハビリテーション関係機関と連携し、地域と結びついた一貫したリハビリテーション提供体制の充実を図る。
○ 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 リハビリテーション中央病院は、ロボットリハビリテーションを推進するとともに、リハビリテーション西播磨病院は、神経難病リハビリテーションを更に充実する。 2 急性期病院において、治療後の早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図るとともに、「地域連携パス」等により近隣病院との連携を強化する。 3 がんセンター等は、がんリハビリの充実に取り組み、術後早期の機能回復を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																												
<p>【目標】</p> <p>全県の中核施設として、リハビリテーション中央病院において、ロボットリハビリテーションを推進し、また、リハビリテーション西播磨病院において神経難病リハビリテーションを適切に提供する。</p> <p>また、急性期病院において、早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図る。</p>	<p>全県の中核施設として、リハビリテーション中央病院において、ロボットリハビリテーションを推進し、また、リハビリテーション西播磨病院において神経難病リハビリテーションを適切に提供した。</p> <p>また、急性期病院において、早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図った。</p>	○	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた手術件数の減少等を除き、概ね計画どおりに実施した。																																																													
<p>【取組項目】</p> <p>1 リハビリテーション中央病院の取組</p> <p>(1) ロボットリハビリテーションの臨床応用の推進（脊髄損傷、脳卒中等） ・実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>リハ中</td> <td>65</td> <td>52</td> <td>76</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準の維持</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>項目</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">専門</td> <td rowspan="3">リハ中</td> <td>在宅復帰率 (基準：70.0%以上)</td> <td>89.4</td> <td>94.8</td> <td>90.4</td> <td>106.0%</td> </tr> <tr> <td>日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)</td> <td>49.4</td> <td>51.4</td> <td>49.0</td> <td>104.0%</td> </tr> <tr> <td>日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)</td> <td>84.0</td> <td>90.5</td> <td>82.9</td> <td>107.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 人工関節センターにおける人工関節置換術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>リハ中</td> <td>320</td> <td>190</td> <td>302</td> <td>59.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 脊椎内視鏡手術件数の増</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>リハ中</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	専門	リハ中	65	52	76	80.0%	区分	病院名	項目	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	専門	リハ中	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	89.4	94.8	90.4	106.0%	日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)	49.4	51.4	49.0	104.0%	日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)	84.0	90.5	82.9	107.0%	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	専門	リハ中	320	190	302	59.4%	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	専門	リハ中	6	3	3	50.0%	<p>【取組項目】</p> <p>1 リハビリテーション中央病院の取組</p> <p>(単位：件)</p> <p>(単位：%)</p> <p>(単位：件)</p> <p>(単位：件)</p>	○ ○ ○ ▲ ▲	<p>【コ】受診控えに伴う対象患者の減</p> <p>【コ】同上</p>	<p>※FIM(Functional Independence Measure)：日常生活の自立度を測る評価法。運動に関する13項目と認知に関する5項目で構成され、自立度が高いほど点数が高くなる。</p>
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																											
専門	リハ中	65	52	76	80.0%																																																											
区分	病院名	項目	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																										
専門	リハ中	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	89.4	94.8	90.4	106.0%																																																										
		日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)	49.4	51.4	49.0	104.0%																																																										
		日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)	84.0	90.5	82.9	107.0%																																																										
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																											
専門	リハ中	320	190	302	59.4%																																																											
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																											
専門	リハ中	6	3	3	50.0%																																																											

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																													
(5) 患者1人1日実施単位数の拡大																																	
	(単位：単位)																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>項目</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">専門</td> <td rowspan="3">リハ中</td> <td>一般(手術)</td> <td>2.2</td> <td>2.7</td> <td>2.0</td> <td>122.7%</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>4.3</td> <td>4.8</td> <td>4.4</td> <td>111.6%</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>5.5</td> <td>6.0</td> <td>5.5</td> <td>109.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	項目	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	専門	リハ中	一般(手術)	2.2	2.7	2.0	122.7%	障害者	4.3	4.8	4.4	111.6%	回復期	5.5	6.0	5.5	109.1%		◎ ○ ○	単位増に努めた結果として増加						
区分	病院名	項目	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																											
専門	リハ中	一般(手術)	2.2	2.7	2.0	122.7%																											
		障害者	4.3	4.8	4.4	111.6%																											
		回復期	5.5	6.0	5.5	109.1%																											
(6) スポーツ医学診療センター（仮称）開設に向けた準備	(6) スポーツ医学診療センター（仮称）開設に向けた準備	○																															
2 リハビリテーション西播磨病院の取組	2 リハビリテーション西播磨病院の取組																																
(1) 回復期リハビリテーション1の施設基準維持																																	
	(単位：%)																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>項目</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">専門</td> <td rowspan="4">リハ西</td> <td>在宅復帰率 (基準：70.0%以上)</td> <td>79.7</td> <td>87.6</td> <td>86.9</td> <td>109.9%</td> </tr> <tr> <td>日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)</td> <td>32.7</td> <td>36.8</td> <td>31.6</td> <td>112.5%</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション実績指数 (基準40.0%以上)</td> <td>46.2</td> <td>53.2</td> <td>48.2</td> <td>115.2%</td> </tr> <tr> <td>日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)</td> <td>54.1</td> <td>64.6</td> <td>47.5</td> <td>119.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	項目	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	専門	リハ西	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	79.7	87.6	86.9	109.9%	日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)	32.7	36.8	31.6	112.5%	リハビリテーション実績指数 (基準40.0%以上)	46.2	53.2	48.2	115.2%	日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)	54.1	64.6	47.5	119.4%		○ ○ ○ ○		
区分	病院名	項目	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																											
専門	リハ西	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	79.7	87.6	86.9	109.9%																											
		日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)	32.7	36.8	31.6	112.5%																											
		リハビリテーション実績指数 (基準40.0%以上)	46.2	53.2	48.2	115.2%																											
		日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)	54.1	64.6	47.5	119.4%																											
(2) 病床利用率及び1日あたり外来患者数の安定的確保及び更なる向上 ①摂食・嚥下支援センター（仮称）開設による入院及び外来患者数の増加 ②病床利用率及び1日あたり外来患者数	(2) 病床利用率及び1日あたり外来患者数の安定的確保及び更なる向上 ①摂食嚥下支援センター開設による入院及び外来患者数の増加（R2.11開設）	○																															
	(単位：%、人)																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>項目</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td rowspan="2">リハ西</td> <td>病床利用率</td> <td>95.5</td> <td>86.7</td> <td>95.2</td> <td>90.8%</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>46.0</td> <td>40.3</td> <td>44.0</td> <td>87.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	項目	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	専門	リハ西	病床利用率	95.5	86.7	95.2	90.8%	外来患者数	46.0	40.3	44.0	87.6%		○ ○												
区分	病院名	項目	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																											
専門	リハ西	病床利用率	95.5	86.7	95.2	90.8%																											
		外来患者数	46.0	40.3	44.0	87.6%																											

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）
3 急性期病院の取組	3 急性期病院の取組			
	・リハビリテーション実施単位の向上			

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (8) その他の政策医療

○ 基本方向	「兵庫県保健医療計画」に定められた各病院の役割を踏まえ、結核・感染症医療、アレルギー疾患医療、難病医療等を提供する。
○ 取組内容	
1 結核・感染症医療	(1) エイズ治療拠点病院において高度専門医療を提供するほか、エイズ診療協力病院においても機能に応じた医療を提供する。 (2) 兵庫県新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）は患者の受入れ体制を整備する。 (3) 加古川医療センターは、第一種感染症病床及び第二種感染症病床を、尼崎総合医療センター、淡路医療センターにおいては、第二種感染症病床を確保し、新興感染症等に対する医療を提供する。 (4) 統合再編後の丹波医療センターは第二種感染症病床を設置し、新興感染症等に対する医療を提供する。 (5) 淡路医療センターは、引き続き結核医療及び精神疾患と結核の合併症患者への医療を提供する。
2 アレルギー疾患医療	(1) 県アレルギー疾患医療拠点病院であるこども病院は、診断が困難な疾患や標準的治療では病態が安定化しない重症及び難治性アレルギー疾患患者に対し、関係する複数の診療科が連携し、診断、治療、管理を行う。 (2) アレルギー科やアレルギー外来を設置している病院において、適切な医療を提供する。
3 難病医療	専門医を配置するなど、難病医療の拠点病院・協力病院として必要な機能を整備し、入院治療が必要な重症難病患者に対して、適切な医療を提供する。
4 透析医療	透析患者に対し、良質で安全な医療を提供する。
5 臓器移植	西宮病院等は、臓器移植を必要とする患者に、適切に臓器の提供及び移植の実施ができるよう体制の充実を図る。
6 造血幹細胞移植（骨髄移植、さい帯血移植）	(1) 化学療法等では治癒しない白血病や重症再生不良性貧血等の患者に対して骨髄移植の機会を確保するため、尼崎総合医療センター、西宮病院、こども病院、がんセンターは、引き続き骨髄移植を実施する。 (2) さい帯血移植は、提供者に身体的負担をかけないことなどから、移植の推進に協力する。
7 へき地医療	(1) 淡路医療センター及び柏原病院（丹波医療センター）は、へき地医療拠点病院としての役割を果たす。 (2) 統合再編後の丹波医療センターは、引き続きへき地医療拠点病院として、医師を育成するとともに、へき地診療所等へ医師を派遣する。 (3) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、製鉄記念広畑病院のへき地医療拠点病院としての機能を継承する。
8 性差医療	尼崎総合医療センター及び淡路医療センターは、引き続き女性総合外来を実施する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）										
〔目標〕 結核・感染症医療やアレルギー疾患医療、透析医療等の政策医療について、各病院の役割に応じて適切な医療を提供する。	結核・感染症医療やアレルギー疾患医療、透析医療等の政策医療について、各病院の役割に応じて適切な医療を提供したが、右記の理由により計画を下回った。	△	新型コロナウイルス感染症対応に伴う患者の受入れ制限や受診動向の変化等の影響を受けたアレルギー専門外来の患者数や腎臓移植の実施件数等が減少したが、その他の項目は概ね計画どおりに実施した。	参考：現況（令和3年7月の状況等）										
〔取組項目〕 1 結核・感染症医療 (1) 第一種感染症指定医療機関(加古川医療センター) ① 新型インフルエンザを想定した診療訓練を実施する等、感染症に対する専門医療の提供体制を整備する。 ② 専門医の勤務状況（週1日） 院内感染症外来・ICTミーティング・院内ラウンド（広域抗菌薬ラウンド、血培ラウンド、環境ラウンド）を実施する。	〔取組項目〕 1 結核・感染症医療 (1) 第一種感染症指定医療機関(加古川医療センター) ① 新型インフルエンザを想定した診療訓練を実施する等、感染症に対する専門医療の提供体制を整備。 ② 専門医の勤務状況（週1日） 院内感染症外来・ICTミーティング・院内ラウンド（広域抗菌薬ラウンド、血培ラウンド、環境ラウンド）を実施。	○		○エイズ医療における県立病院の役割 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エイズ治療拠点病院</td> <td>尼崎総合医療センター 加古川医療センター 淡路医療センター</td> </tr> </tbody> </table> ○感染症医療機関の指定状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一種感染症指定医療機関</td> <td>加古川医療センター（2床）</td> </tr> <tr> <td>第二種感染症指定医療機関</td> <td>尼崎総合医療センター（8床） 加古川医療センター（6床） 丹波医療センター（4床） 淡路医療センター（4床）</td> </tr> </tbody> </table> ○結核病床設置病院：淡路医療センター（15床）	区分	病院名	エイズ治療拠点病院	尼崎総合医療センター 加古川医療センター 淡路医療センター	区分	病院名	第一種感染症指定医療機関	加古川医療センター（2床）	第二種感染症指定医療機関	尼崎総合医療センター（8床） 加古川医療センター（6床） 丹波医療センター（4床） 淡路医療センター（4床）
区分	病院名													
エイズ治療拠点病院	尼崎総合医療センター 加古川医療センター 淡路医療センター													
区分	病院名													
第一種感染症指定医療機関	加古川医療センター（2床）													
第二種感染症指定医療機関	尼崎総合医療センター（8床） 加古川医療センター（6床） 丹波医療センター（4床） 淡路医療センター（4床）													

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																							
<p>(2) 第二種感染症指定医療機関（尼崎総合医療センター、加古川医療センター、丹波医療センター、淡路医療センター）ほか</p> <p>① 平時から新型インフルエンザを想定した診療訓練を実施する等、患者の受入体制を整備するとともに、発生時においては、「兵庫県新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、入院患者の受入れや外来診療への協力など、適切な医療を提供する。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症対策では、感染症指定医療機関を中心に感染患者の積極的な受入に全力で取組む。</p>	<p>(2) 第二種感染症指定医療機関（尼崎総合医療センター、加古川医療センター、丹波医療センター、淡路医療センター）ほか</p> <p>① 平時から新型インフルエンザを想定した診療訓練を実施する等、患者の受入体制を整備するとともに、発生時においては、「兵庫県新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、入院患者の受入れや外来診療への協力など、適切な医療を提供する。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症対策では、感染症指定医療機関を中心に感染患者の積極的な受入に全力で取り組んだ。</p>	<p>○</p> <p>○</p>		<p>○認定看護師の状況</p> <table border="1" data-bbox="2142 273 2890 409"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定</td> <td>感染管理</td> <td>尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)、姫路(2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県アレルギー疾患医療拠点病院 こども病院（H30.2.1指定）</p> <p>○アレルギー科設置病院 尼崎総合医療センター、こども病院</p> <p>○アレルギー外来設置病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎総合医療センター（小児アレルギー科） ・西宮病院（小児科、耳鼻咽喉科） ・加古川医療センター（皮膚科） ・丹波医療センター（小児科） ・こども病院（アレルギー科） 	区分		病院別人数	認定	感染管理	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)、姫路(2)																																	
区分		病院別人数																																									
認定	感染管理	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)、姫路(2)																																									
<p>2 アレルギー疾患医療</p> <p>・アレルギー専門外来の患者数</p>	<p>2 アレルギー疾患医療</p> <p>(単位：人（延人数）)</p> <table border="1" data-bbox="457 798 1608 1050"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>1,500</td> <td>672</td> <td>1,850</td> <td>44.8%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>965</td> <td>568</td> <td>584</td> <td>58.9%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>1,505</td> <td>894</td> <td>1,308</td> <td>49.4%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>1,000</td> <td>818</td> <td>949</td> <td>81.8%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>3,000</td> <td>3,788</td> <td>3,253</td> <td>126.3%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>7,970</td> <td>6,740</td> <td>7,944</td> <td>84.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	1,500	672	1,850	44.8%	西宮	965	568	584	58.9%	加古川	1,505	894	1,308	49.4%	丹波	1,000	818	949	81.8%	専門	こども	3,000	3,788	3,253	126.3%	計		7,970	6,740	7,944	84.6%	<p>▲</p> <p>▲</p> <p>▲</p> <p>○</p> <p>◎</p>	<p>(尼崎、西宮、加古川)</p> <p>【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限や受診控えによる対象患者の減</p> <p>(こども)</p> <p>新規・紹介患者の増</p>	
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																						
総合	尼崎	1,500	672	1,850	44.8%																																						
	西宮	965	568	584	58.9%																																						
	加古川	1,505	894	1,308	49.4%																																						
	丹波	1,000	818	949	81.8%																																						
専門	こども	3,000	3,788	3,253	126.3%																																						
計		7,970	6,740	7,944	84.6%																																						
<p>3 難病医療</p> <p>・神経難病相談センター及び神経難病リハビリテーションセンター相談件数</p>	<p>3 難病医療</p> <p>(単位：件（延件数）)</p> <table border="1" data-bbox="457 1197 1608 1344"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>尼崎</td> <td>5,135</td> <td>5,110</td> <td>5,134</td> <td>99.5%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>リハ西</td> <td>330</td> <td>265</td> <td>293</td> <td>80.3%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>5,465</td> <td>5,375</td> <td>5,427</td> <td>98.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	5,135	5,110	5,134	99.5%	専門	リハ西	330	265	293	80.3%	計		5,465	5,375	5,427	98.4%	<p>○</p> <p>○</p>																	
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																						
総合	尼崎	5,135	5,110	5,134	99.5%																																						
専門	リハ西	330	265	293	80.3%																																						
計		5,465	5,375	5,427	98.4%																																						
<p>4 透析医療</p> <p>・透析の件数</p>	<p>4 透析医療</p> <p>(単位：件（延件数）)</p> <table border="1" data-bbox="457 1480 1608 1732"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>4,582</td> <td>4,088</td> <td>4,525</td> <td>89.2%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>4,300</td> <td>3,621</td> <td>4,215</td> <td>84.2%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>15,327</td> <td>14,587</td> <td>15,341</td> <td>95.2%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>900</td> <td>1,407</td> <td>76</td> <td>156.3%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>2,600</td> <td>2,080</td> <td>2,716</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>27,709</td> <td>25,783</td> <td>26,873</td> <td>93.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	4,582	4,088	4,525	89.2%	西宮	4,300	3,621	4,215	84.2%	加古川	15,327	14,587	15,341	95.2%	丹波	900	1,407	76	156.3%	淡路	2,600	2,080	2,716	80.0%	計		27,709	25,783	26,873	93.0%	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>○</p>	<p>(丹波)</p> <p>透析対応入院患者の増</p>		
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																						
総合	尼崎	4,582	4,088	4,525	89.2%																																						
	西宮	4,300	3,621	4,215	84.2%																																						
	加古川	15,327	14,587	15,341	95.2%																																						
	丹波	900	1,407	76	156.3%																																						
	淡路	2,600	2,080	2,716	80.0%																																						
計		27,709	25,783	26,873	93.0%																																						

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																	
5 臓器移植 ・腎臓移植の実施件数	5 臓器移植 （単位：件（延件数）） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>西宮</td> <td>18</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>66.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	西宮	18	12	13	66.7%	△	【コ】免疫力低下を考慮し、移植を選択しない患者（透析治療を選択）の増加による減 （こども） 適用症例の増 （がん） 【コ】感染防止のため移植を中止・延期したことによる減 （西宮） 適応症例の増 （がん） 【コ】感染防止のため移植を中止・延期したことによる減 （こども） 適応症例の減 （がん） 適応症例の増	○臓器移植における県立病院の役割 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腎臓移植病院</td> <td>西宮</td> </tr> <tr> <td>臓器提供病院</td> <td>尼崎、西宮、加古川、淡路、こども、姫路、災害</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	腎臓移植病院	西宮	臓器提供病院	尼崎、西宮、加古川、淡路、こども、姫路、災害															
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																
総合	西宮	18	12	13	66.7%																																
区分	病院名																																				
腎臓移植病院	西宮																																				
臓器提供病院	尼崎、西宮、加古川、淡路、こども、姫路、災害																																				
6 造血幹細胞移植 ・骨髄移植の実施件数	6 造血幹細胞移植 （単位：件（延件数）） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>尼崎</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>114.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>こども</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>150.0%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>57.1%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>28</td> <td>21</td> <td>37</td> <td>75.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	7	8	6	114.3%	専門	こども	6	9	6	150.0%	がん	7	4	6	57.1%	計		28	21	37	75.0%	○ ◎ ▲	○骨髄移植実施病院 ・尼崎総合医療センター ・こども病院 ・がんセンター ○末梢血管細胞移植実施病院 ・尼崎総合医療センター ・西宮病院 ・こども病院 ・がんセンター ○さい帯血移植病院 ・尼崎総合医療センター ・こども病院 ・がんセンター ○さい帯血提供病院 西宮病院					
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																
総合	尼崎	7	8	6	114.3%																																
専門	こども	6	9	6	150.0%																																
	がん	7	4	6	57.1%																																
計		28	21	37	75.0%																																
・末梢血管細胞移植の実施件数	（単位：件（延件数）） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>尼崎</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>115.4%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">専門</td> <td>西宮</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>300.0%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>105.6%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>72.7%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>46</td> <td>45</td> <td>39</td> <td>97.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	13	15	10	115.4%	専門	西宮	1	3	0	300.0%	こども	18	19	18	105.6%	がん	11	8	11	72.7%	計		46	45	39	97.8%	○ ◎ ○ △	
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																
総合	尼崎	13	15	10	115.4%																																
専門	西宮	1	3	0	300.0%																																
	こども	18	19	18	105.6%																																
	がん	11	8	11	72.7%																																
計		46	45	39	97.8%																																
・さい帯血移植の実施件数	（単位：日（延日数）） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>尼崎</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>93.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>こども</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>125.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>26</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>92.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	16	15	9	93.8%	専門	こども	6	4	5	66.7%	がん	4	5	4	125.0%	計		26	24	18	92.3%	○ △ ◎						
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																
総合	尼崎	16	15	9	93.8%																																
専門	こども	6	4	5	66.7%																																
	がん	4	5	4	125.0%																																
計		26	24	18	92.3%																																
7 へき地医療 ・へき地医療機関への医師派遣の日数	7 へき地医療 （単位：日（延日数）） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>丹波</td> <td>96</td> <td>98</td> <td>100</td> <td>102.1%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>48</td> <td>36</td> <td>48</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>144</td> <td>134</td> <td>148</td> <td>93.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	丹波	96	98	100	102.1%	淡路	48	36	48	75.0%	計		144	134	148	93.1%	○ △	（淡路） 医師数1名減に伴う実績減	○へき地医療における県立病院の役割 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>へき地医療拠点病院</td> <td>丹波、淡路</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	へき地医療拠点病院	丹波、淡路						
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																
総合	丹波	96	98	100	102.1%																																
	淡路	48	36	48	75.0%																																
計		144	134	148	93.1%																																
区分	病院名																																				
へき地医療拠点病院	丹波、淡路																																				
8 性差医療 ・女性総合外来の件数	8 性差医療 （単位：件（延件数）） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>200</td> <td>54</td> <td>163</td> <td>27.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>1,101</td> <td>995</td> <td>1,076</td> <td>90.4%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1,301</td> <td>1,049</td> <td>1,239</td> <td>80.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	200	54	163	27.0%	淡路	1,101	995	1,076	90.4%	計		1,301	1,049	1,239	80.6%	▲ ○	（尼崎） 【コ】受診控えに伴う対象患者減に加え、医師数1名減による外来枠の縮小による実績減	○女性総合外来設置病院 ・尼崎総合医療センター（塚口病院より継承） ・淡路医療センター（H16.4開設）										
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																
総合	尼崎	200	54	163	27.0%																																
	淡路	1,101	995	1,076	90.4%																																
計		1,301	1,049	1,239	80.6%																																

I より良質な医療の提供
 項目2 統合再編・建替整備

<p>○ 基本方向 高度専門・特殊医療をさらに充実するとともに、病院運営の一層の効率化を図るため、病院の統合再編を行う。また、県民に対し良質な医療を提供していくためには、高度専門医療等の医療機能の充実や施設の老朽化、狭隘化等への対応が必要であることから、経営状況及び一般会計の負担を踏まえつつ、計画的な建替整備等を行う。 移転跡地については、資産の有効活用を図るため、売却することを基本とする。</p> <p>○ 取組内容 1 統合再編・建替整備 (1) 丹波医療センター（2019年7月開院）、はりま姫路総合医療センター（仮称）（2022年度上期開院）の整備を推進する。 (2) 西宮病院と西宮市立中央病院について、県市で締結した基本協定に基づき、統合再編整備を推進する。 (3) がんセンターは、あり方検討委員会の報告を踏まえ、建替整備等を検討する。 (4) 尼崎総合医療センターについて、高度・先進医療の中核医療機関としての今後必要な診療機能の具体化を行い、施設拡充を検討する。</p> 2 跡地利用 (1) 柏原病院 丹波市新庁舎の検討状況を踏まえ、病院局、丹波市、柏原病院、丹波県民局を構成員とする跡地活用検討会で具体的な利活用を検討する。あわせて、跡地処分に向けた土地の課題解決を図る。 (2) 姫路循環器病センター 用地所有者である地元姫路市に対して返還に向けて協議を行っていく。 (3) 西宮病院 県と西宮市で有効活用を検討する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）
<p>〔目標〕 はりま姫路総合医療センター（仮称）の整備を推進する。また、西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画に基づき基本設計に着手するとともに、がんセンターの建替整備基本計画を策定する。</p> <p>〔取組項目〕 1 統合再編・建替整備 (1) はりま姫路総合医療センター（仮称） ・「県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編基本計画」（平成29年2月策定）に基づき、建設工事に着工 ・地域医療連携推進法人はりま姫路総合医療センター整備推進機構の運営 (2) 西宮病院と西宮市立中央病院 「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画」（令和2年2月策定）に基づき、基本設計に着手 (3) がんセンターの整備 設計業務に先行して埋蔵文化財試掘調査を実施するとともに、合併症患者対策に係る地域医療機関との連携方策検討委員会を設置し、そこでの検討結果を踏まえ、基本計画を策定 (4) 尼崎総合医療センター 患者支援センター棟の基本設計・実施設計に着手</p> 2 跡地利用 (1) 旧柏原病院 跡地の一部を県社会福祉事業団が活用予定。それ以外の部分については、跡地活用推進検討会で具体的な利活用を検討。また、建物の解体撤去等に着手 (2) 姫路循環器病センター 用地所有者である地元姫路市に対して返還に向けた協議を適宜実施 (3) 西宮病院 3号棟は西宮市への売却を基本とし、西宮市において活用予定のない本館・2号棟は民間への売却を検討	<p>はりま姫路総合医療センター（仮称）の整備を推進した。また、西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画に基づき基本設計に着手するとともに、がんセンターの建替整備基本計画を策定した。</p> <p>〔取組項目〕 1 統合再編・建替整備 (1) はりま姫路総合医療センター（仮称） ・建設工事を実施 ・地域医療連携推進法人を適切に運営 (2) 西宮病院と西宮市立中央病院 基本設計に着手（令和2年11月） (3) がんセンターの整備 ・埋蔵文化財試掘調査を実施（令和2年10月14日～12月22日） ・連携方策検討委員会を開催（令和2年7月7日～10月13日計3回） ・基本計画を策定（令和3年2月） (4) 尼崎総合医療センター 患者サポートセンター棟の基本設計・実施設計に着手（令和2年6月）</p> 2 跡地利用 (1) 旧柏原病院 跡地活用推進検討会で具体的な利活用を検討 建物の解体撤去工事に着手（令和2年7月） (2) 姫路循環器病センター 用地所有者である地元姫路市に対して返還に向けた協議を適宜実施 (3) 西宮病院 西宮市において活用予定のない本館・2号棟は民間への売却を検討	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>統合再編・建替整備を計画どおり実施した。</p>	<p>1 統合再編・建替整備 (1) はりま姫路総合医療センター（仮称） 平成29年9月～平成31年3月：設計 令和元年度～令和3年11月末：建設工事 (2) 西宮病院と西宮市立中央病院 令和2年2月：基本計画策定 令和2年11月～令和4年7月：設計 (3) がんセンター 令和3年2月：基本計画策定 (4) 尼崎総合医療センター 令和2年6月～令和3年3月：設計 令和3年度～令和4年度：建設工事</p> <p>2 跡地利用 (1) 旧柏原病院 建物の解体工事を実施。（県社会福祉事業団が福祉施設として跡地の一部を活用することを決定。） 県と市による跡地活用推進検討会（平成30年11月設置）において引き続き跡地利活用を検討中。 (2) 姫路循環器病センター 今後の検討項目であることを姫路市と確認 (3) 西宮病院 「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画」にて方針を明記</p>

I より良質な医療の提供

項目3 診療機能の効率化

<p>○ 基本方向</p> <p>医療の標準化を進め医療の質の向上を図るため、DPC分析ソフトの活用等により、クリニカルパスの充実等を行うとともに、地域医療連携と効率化の観点から地域連携クリニカルパス適用の促進を図る。</p> <p>また、医療機能の高度化やチーム医療の充実等、良質で安全な医療を引き続き提供するため、診療体制の充実を推進する。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 診療科目等の見直し</p> <p>(1) 疾病構造や医療ニーズの変化等を踏まえ、診療科目の見直しを行う。</p> <p>(2) 地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数等の見直しを行う。</p> <p>2 クリニカルパスの充実</p> <p>5大がんなどの県統一地域連携クリニカルパスの適用を推進するとともに、DPC分析ソフトの活用等により、他病院とのベンチマークを通じたクリニカルパスの充実を図る。</p> <p>3 専門センター制の導入促進</p> <p>複数の診療科、多職種の協働による専門センター制の導入を推進する。</p> <p>4 チーム医療の推進</p> <p>多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を引き続き推進する。</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																										
<p>〔目標〕</p> <p>診療科目の見直しなど、医療ニーズの変化等に適切に対応するほか、クリニカルパスを活用し、良質な医療を効果的かつ効率的に提供する。</p> <p>また、専門センター制やチーム医療の推進等により診療体制の充実を図る。</p>	<p>診療科目の見直しなど、医療ニーズの変化等に適切に対応するほか、クリニカルパスを活用し、良質な医療を効果的かつ効率的に提供した。</p> <p>また、専門センター制やチーム医療の推進等により診療体制の充実を図った。</p>	○	診療機能の効率化に資する取組みを着実に実施した。																											
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 診療科目等の見直し</p> <p>(1) 診療科目の見直し</p> <p>病院構造や医療ニーズの変化等を踏まえ診療科目の見直しを実施</p> <p>(2) 診療科別病床数の見直し</p> <p>地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数の見直しを実施</p> <p>・本館4階南病棟にHCU4床設置（姫路）</p> <p>2 クリニカルパスの充実</p> <p>・5大がんなどの県統一クリニカルパスの適用を推進</p> <p>・使用可能なクリニカルパスの拡充及びクリニカルパス適用率の向上</p> <p>3 専門センター制の導入促進</p> <p>複数の診療科、多職種の協働による専門センター制の導入を推進</p> <p>4 チーム医療の推進</p> <p>多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を推進</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 診療科目等の見直し</p> <p>(1) 診療科目の見直し</p> <p>病院構造や医療ニーズの変化等を踏まえ診療科目の見直しを検討</p> <p>(2) 診療科別病床数の見直し</p> <p>地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数の見直しを実施</p> <p>・本館4階南病棟にHCU4床設置（姫路）</p> <p>2 クリニカルパスの充実</p> <p>・5大がんなどの県統一クリニカルパスの適用を推進</p> <p>・使用可能なクリニカルパスの拡充及びクリニカルパス適用率の向上</p> <p>3 専門センター制の導入促進</p> <p>複数の診療科、多職種の協働による専門センター制の導入を推進</p> <p>・ゲノム医療センターを設立（こども）</p> <p>・摂食嚥下支援センターを設立（リハ西）</p> <p>4 チーム医療の推進</p> <p>多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を推進</p>	○ ○ ○ ○		<p>3 専門センター制の導入状況（設置件数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>尼崎</td><td>18</td></tr> <tr><td>西宮</td><td>10</td></tr> <tr><td>加古川</td><td>9</td></tr> <tr><td>丹波</td><td>5</td></tr> <tr><td>淡路</td><td>9</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>2</td></tr> <tr><td>こども</td><td>7</td></tr> <tr><td>がん</td><td>7</td></tr> <tr><td>姫路</td><td>4</td></tr> <tr><td>リハ中</td><td>2</td></tr> <tr><td>リハ西</td><td>3</td></tr> <tr><td>計</td><td>76</td></tr> </tbody> </table>	病院名	件数	尼崎	18	西宮	10	加古川	9	丹波	5	淡路	9	こころ	2	こども	7	がん	7	姫路	4	リハ中	2	リハ西	3	計	76
病院名	件数																													
尼崎	18																													
西宮	10																													
加古川	9																													
丹波	5																													
淡路	9																													
こころ	2																													
こども	7																													
がん	7																													
姫路	4																													
リハ中	2																													
リハ西	3																													
計	76																													

I より良質な医療の提供

項目4 臨床研究等の充実

○ 基本方向

県立病院の医療水準の向上を図り、医薬品等の安全性を高めるため、受託研究や治験等の臨床研究、大学等との共同研究を推進する。

○ 取組内容

1 受託研究

- (1) 共同研究実施要綱及び県立病院受託研究取扱規程に基づき、受託研究や治験等の臨床研究、大学等との共同研究を推進する。
- (2) 厚生労働省、日本学術振興会等が実施する公募型の研究制度を活用する。
- (3) 研究成果は、学会、県民を対象とするシンポジウム等において発表するほか、印刷媒体、インターネットを活用して県民に情報提供する。
- (4) こども病院、姫路循環器病センターに設置された神戸大学連携大学院・臨床研究センターにおいて、研究を推進し、臨床研究医を育成する。
- (5) 統合再編するはりま姫路総合医療センター（仮称）は、最新かつ質の高い臨床研究を実施するために臨床研究センターを整備し、臨床研究支援体制を充実する。
- (6) がんセンターは、あり方検討委員会の報告を踏まえ、臨床研究の充実を図る。

2 治験

臨床治験推進方策に基づき、治験を推進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																					
<p>〔目標〕 県立病院の医療水準を向上するため、各種の臨床研究を推進する。 また、医薬品等の安全性を高めるとともに、医療の質の向上を図るため、治験を推進する。</p>	<p>県立病院の医療水準を向上するため、各種の臨床研究を推進した。 また、医薬品等の安全性を高めるとともに、医療の質の向上を図るため、治験を推進した。 しかし、右記の理由により計画を下回った。</p>	△	<p>依頼件数の減少や対象患者がいなかったことにより、受託研究の件数が概ね減少した。 一方、依頼件数の増等により、治験の件数は概ね増加した。</p>																																																																						
<p>〔取組項目〕 県立病院の医療水準の向上を図るとともに、医療全体の質の向上に貢献するため、受託研究・治験を推進</p> <p>1 受託研究</p> <p>(1) 受託研究の推進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R 2 計画①</th> <th>R 2 実績②</th> <th>R 1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>190</td> <td>161</td> <td>190</td> <td>84.7%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>36</td> <td>44</td> <td>34</td> <td>122.2%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>45</td> <td>40</td> <td>44</td> <td>88.9%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>114.3%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>18.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">専門</td> <td>こども</td> <td>36</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>111.1%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>265</td> <td>228</td> <td>236</td> <td>86.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>53</td> <td>37</td> <td>51</td> <td>69.8%</td> </tr> <tr> <td>粒子線</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>神戸陽子</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>200.0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>651</td> <td>568</td> <td>616</td> <td>87.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R 2 計画①	R 2 実績②	R 1 実績	②/①	総合	尼崎	190	161	190	84.7%	西宮	36	44	34	122.2%	加古川	45	40	44	88.9%	丹波	7	8	9	114.3%	淡路	11	2	2	18.2%	専門	こども	36	40	39	111.1%	がん	265	228	236	86.0%	姫路	53	37	51	69.8%	粒子線	4	3	4	75.0%	神戸陽子	2	1	3	50.0%	リハ中	2	4	4	200.0%	合計		651	568	616	87.3%	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 受託研究</p> <p>(単位：件（延件数）)</p>	○ ◎ ○ ○ ○ ▲ ○ ○ △ △ ▲ ◎	<p>(西宮、リハ中) 依頼件数の増 (淡路、姫路、神戸陽子) 依頼件数の減 (粒子線) 対象となる患者がいなかったことによる減</p>	
区分	病院名	R 2 計画①	R 2 実績②	R 1 実績	②/①																																																																				
総合	尼崎	190	161	190	84.7%																																																																				
	西宮	36	44	34	122.2%																																																																				
	加古川	45	40	44	88.9%																																																																				
	丹波	7	8	9	114.3%																																																																				
	淡路	11	2	2	18.2%																																																																				
専門	こども	36	40	39	111.1%																																																																				
	がん	265	228	236	86.0%																																																																				
	姫路	53	37	51	69.8%																																																																				
	粒子線	4	3	4	75.0%																																																																				
	神戸陽子	2	1	3	50.0%																																																																				
	リハ中	2	4	4	200.0%																																																																				
合計		651	568	616	87.3%																																																																				
<p>(2) 神戸大学、国立循環器病研究センター等との心不全共同研究の実施（淡路）</p>	<p>(2) 神戸大学、国立循環器病研究センター等との心不全共同研究の実施（淡路）</p>	○																																																																							

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																						
<p>2 治験</p> <p>・ 治験の件数</p> <table border="1" data-bbox="510 348 1662 722"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R 2 計画①</th> <th>R 2 実績②</th> <th>R 1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>45</td> <td>38</td> <td>45</td> <td>84.4%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>200.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">専門</td> <td>こども</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>146.2%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>110</td> <td>109</td> <td>109</td> <td>99.1%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>17</td> <td>21</td> <td>15</td> <td>123.5%</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>200</td> <td>202</td> <td>204</td> <td>101.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R 2 計画①	R 2 実績②	R 1 実績	②/①	総合	尼崎	45	38	45	84.4%	西宮	4	8	9	200.0%	加古川	1	1	1	100.0%	淡路	5	2	2	40.0%	専門	こども	13	19	19	146.2%	がん	110	109	109	99.1%	姫路	17	21	15	123.5%	リハ中	5	4	4	80.0%	合計		200	202	204	101.0%	<p>2 治験</p> <p>(単位：件 (延件数))</p>		<p>○ (西宮) 依頼件数の増</p> <p>◎ (淡路) 依頼件数の減</p> <p>○ (こども) 依頼内容と対象患者が合致する</p> <p>▲ 案件が多かったことによる増</p> <p>◎ (姫路) 対象患者が少なく継続案件が増</p> <p>○ 加したことによる増</p>	<p>○神戸大学連携大学院</p> <p>(1) こども病院 (平成 25 年 4 月協定締結) 神戸大学との連携大学院に関する協定に基づき、平成 27 年 4 月から大学院生 1 名を受け入れている。</p> <p>(2) 姫路循環器病センター (平成 27 年 1 月協定締結) 神戸大学との連携大学院に関する協定に基づき、平成 28 年 4 月以降、大学院生を受入れている。</p> <p>(3) ひょうごこころの医療センター (令和 2 年 4 月協定締結) 神戸大学との連携大学院に関する協定を締結し、令和 3 年度から大学院生を募集。</p>
区分	病院名	R 2 計画①	R 2 実績②	R 1 実績	②/①																																																					
総合	尼崎	45	38	45	84.4%																																																					
	西宮	4	8	9	200.0%																																																					
	加古川	1	1	1	100.0%																																																					
	淡路	5	2	2	40.0%																																																					
専門	こども	13	19	19	146.2%																																																					
	がん	110	109	109	99.1%																																																					
	姫路	17	21	15	123.5%																																																					
	リハ中	5	4	4	80.0%																																																					
合計		200	202	204	101.0%																																																					

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																							
<p>(2) 淡路地域医療連携システム（あわじネット）の活用による患者確保及び地域医療連携体制の強化（参加医療機関数）（淡路）</p>	<p>(単位：機関数)</p> <table border="1" data-bbox="638 357 1783 430"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>淡路</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>46</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	淡路	45	45	46	100.0%	○													
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																						
総合	淡路	45	45	46	100.0%																						
<p>(3) 明石在宅医療連携システム（明石しごせんネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制の強化（がん） ・参加登録医療機関数（R1.12時点）：71 医療機関</p>	<p>(3) 明石在宅医療連携システム（明石しごせんネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制の強化（がん）</p>	○		○明石在宅医療連携システム（明石しごせんネット）の参加登録医療機関数（R3.7時点）：72 医療機関																							
<p>(4) 尼崎総合医療センター及び丹波医療センターにおいて、但馬・神戸大学等遠隔医療教育ネットワークによるTVカンファレンスの実施（開催回数）</p>	<p>(単位：回（延回数）)</p> <table border="1" data-bbox="638 714 1783 850"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>120</td> <td>124</td> <td>126</td> <td>103.3%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>132</td> <td>136</td> <td>138</td> <td>103.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	12	12	12	100.0%	丹波	120	124	126	103.3%	計		132	136	138	103.3%	○ ○		
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																						
総合	尼崎	12	12	12	100.0%																						
	丹波	120	124	126	103.3%																						
計		132	136	138	103.3%																						
<p>(5) 遠隔病理診断ネットワークによる神戸大学、長崎大学等とのカンファレンスの実施（淡路）</p>	<p>(単位：回（延回数）)</p> <table border="1" data-bbox="638 1008 1783 1081"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>淡路</td> <td>1,000</td> <td>531</td> <td>1,645</td> <td>53.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	淡路	1,000	531	1,645	53.1%	▲	病理専門医の確保に伴い、シングルチェック案件の増加により減少（従前は全案件を対象に遠隔診断によるダブルチェックを実施）												
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																						
総合	淡路	1,000	531	1,645	53.1%																						
<p>(6) キャンサーボード（がん医療に関する治療方針等を検討・共有するためのカンファレンス）を開催するためにテレビ会議システム等を活用したがん診療ネットワークの構築（参加病院：がん、こども、粒子線、神戸陽子） ・キャンサーボード実施回数</p>	<p>(単位：回（延回数）)</p> <table border="1" data-bbox="638 1291 1783 1365"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん、こども、粒子線、神戸陽子</td> <td>510</td> <td>476</td> <td>525</td> <td>93.3%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	がん、こども、粒子線、神戸陽子	510	476	525	93.3%	○															
病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																							
がん、こども、粒子線、神戸陽子	510	476	525	93.3%																							
<p>(7) 情報ネットワークシステムを活用したこども病院及び地域の中核病院の医師によるオンラインでの協働診療体制の構築（参加病院：こども、丹波、淡路）</p>	<p>(7) 情報ネットワークシステムを活用したこども病院及び地域の中核病院の医師によるオンラインでの協働診療体制を整備（参加病院：こども、丹波、淡路）</p>	○																									

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																																													
3 地域医療支援病院の取組 (1) 医療機器の共同利用件数	3 地域医療支援病院の取組 (単位：件（延件数）) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>1,096</td> <td>816</td> <td>1,050</td> <td>74.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>700</td> <td>418</td> <td>660</td> <td>59.7%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>700</td> <td>386</td> <td>621</td> <td>55.1%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>1,450</td> <td>1,140</td> <td>1,016</td> <td>78.6%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>1,011</td> <td>625</td> <td>939</td> <td>61.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>がん</td> <td>115</td> <td>98</td> <td>72</td> <td>85.2%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>150</td> <td>68</td> <td>139</td> <td>45.3%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>5,222</td> <td>3,551</td> <td>4,497</td> <td>68.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	1,096	816	1,050	74.5%	西宮	700	418	660	59.7%	加古川	700	386	621	55.1%	丹波	1,450	1,140	1,016	78.6%	淡路	1,011	625	939	61.8%	専門	がん	115	98	72	85.2%	姫路	150	68	139	45.3%	計		5,222	3,551	4,497	68.0%	△ ▲ ▲ △ △ ○ ▲	(尼崎、西宮、加古川、丹波、姫路) 【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限や受診控え等に伴う依頼件数の減(淡路) 他院で機器の購入が進んだことに伴う依頼件数の減																																													
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																												
総合	尼崎	1,096	816	1,050	74.5%																																																																																												
	西宮	700	418	660	59.7%																																																																																												
	加古川	700	386	621	55.1%																																																																																												
	丹波	1,450	1,140	1,016	78.6%																																																																																												
	淡路	1,011	625	939	61.8%																																																																																												
専門	がん	115	98	72	85.2%																																																																																												
	姫路	150	68	139	45.3%																																																																																												
計		5,222	3,551	4,497	68.0%																																																																																												
(2) 研修会（医療従事者向け）及び講演会（地域住民向け）件数	(単位：回（延回数）) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">R2 計画①</th> <th colspan="2">R2 実績②</th> <th colspan="2">R1 実績</th> <th colspan="2">②/①</th> </tr> <tr> <th>研修会</th> <th>講演会</th> <th>研修会</th> <th>講演会</th> <th>研修会</th> <th>講演会</th> <th>研修会</th> <th>講演会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>28</td> <td>18</td> <td>38.9%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>55</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>29</td> <td>3</td> <td>10.9%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>60</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>47</td> <td>1</td> <td>15.0%</td> <td>25.0%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>39</td> <td>3</td> <td>8.3%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>38</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>39</td> <td>3</td> <td>7.9%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>こども</td> <td>32</td> <td>—</td> <td>7</td> <td>—</td> <td>22</td> <td>—</td> <td>21.9%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>23.1%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>228</td> <td>41</td> <td>36</td> <td>1</td> <td>217</td> <td>29</td> <td>15.8%</td> <td>2.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①		R2 実績②		R1 実績		②/①		研修会	講演会	研修会	講演会	研修会	講演会	研修会	講演会	総合	尼崎	18	18	7	0	28	18	38.9%	0.0%	西宮	55	3	6	0	29	3	10.9%	0.0%	加古川	60	4	9	1	47	1	15.0%	25.0%	丹波	12	12	1	0	39	3	8.3%	0.0%	淡路	38	2	3	0	39	3	7.9%	0.0%	専門	こども	32	—	7	—	22	—	21.9%	—	姫路	13	2	3	0	13	1	23.1%	0.0%	計		228	41	36	1	217	29	15.8%	2.4%	▲▲ ▲▲ ▲▲ ▲▲ ▲▲ ▲▲ ▲▲ ▲▲	【コ】感染状況を考慮し中止	
区分	病院名			R2 計画①		R2 実績②		R1 実績		②/①																																																																																							
		研修会	講演会	研修会	講演会	研修会	講演会	研修会	講演会																																																																																								
総合	尼崎	18	18	7	0	28	18	38.9%	0.0%																																																																																								
	西宮	55	3	6	0	29	3	10.9%	0.0%																																																																																								
	加古川	60	4	9	1	47	1	15.0%	25.0%																																																																																								
	丹波	12	12	1	0	39	3	8.3%	0.0%																																																																																								
	淡路	38	2	3	0	39	3	7.9%	0.0%																																																																																								
専門	こども	32	—	7	—	22	—	21.9%	—																																																																																								
	姫路	13	2	3	0	13	1	23.1%	0.0%																																																																																								
計		228	41	36	1	217	29	15.8%	2.4%																																																																																								
(3) 地域医療連携室等の退院調整件数	(単位：件（延件数）) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>5,020</td> <td>4,507</td> <td>5,107</td> <td>89.8%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>1,635</td> <td>1,508</td> <td>1,628</td> <td>92.2%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>1,250</td> <td>824</td> <td>1,321</td> <td>65.9%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>2,700</td> <td>2,671</td> <td>2,431</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>2,655</td> <td>3,199</td> <td>2,759</td> <td>120.5%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">専門</td> <td>こども</td> <td>600</td> <td>760</td> <td>607</td> <td>126.7%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>1,270</td> <td>2,265</td> <td>1,260</td> <td>178.3%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>1,600</td> <td>3,109</td> <td>1,649</td> <td>194.3%</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>720</td> <td>671</td> <td>735</td> <td>93.2%</td> </tr> <tr> <td>リハ西</td> <td>471</td> <td>486</td> <td>499</td> <td>103.2%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>17,921</td> <td>20,000</td> <td>17,996</td> <td>111.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	5,020	4,507	5,107	89.8%	西宮	1,635	1,508	1,628	92.2%	加古川	1,250	824	1,321	65.9%	丹波	2,700	2,671	2,431	98.9%	淡路	2,655	3,199	2,759	120.5%	専門	こども	600	760	607	126.7%	がん	1,270	2,265	1,260	178.3%	姫路	1,600	3,109	1,649	194.3%	リハ中	720	671	735	93.2%	リハ西	471	486	499	103.2%	計		17,921	20,000	17,996	111.6%	○ ○ △ ○ ◎ ◎ ◎ ○ ○	(加古川) 【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限による減(淡路) 退院調整を要する患者の増(こども、がん、姫路) 病院全体で積極的に取組んだことによる増																														
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																												
総合	尼崎	5,020	4,507	5,107	89.8%																																																																																												
	西宮	1,635	1,508	1,628	92.2%																																																																																												
	加古川	1,250	824	1,321	65.9%																																																																																												
	丹波	2,700	2,671	2,431	98.9%																																																																																												
	淡路	2,655	3,199	2,759	120.5%																																																																																												
専門	こども	600	760	607	126.7%																																																																																												
	がん	1,270	2,265	1,260	178.3%																																																																																												
	姫路	1,600	3,109	1,649	194.3%																																																																																												
	リハ中	720	671	735	93.2%																																																																																												
	リハ西	471	486	499	103.2%																																																																																												
計		17,921	20,000	17,996	111.6%																																																																																												

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																
(4) 地域連携パス会議や関係者連携会議の開催 (単位：回（延回数）)																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>37</td> <td>13</td> <td>28</td> <td>35.1%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>37.5%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>53.3%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">専門</td> <td>がん</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>46.7%</td> </tr> <tr> <td>リハ西</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>83.3%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>140</td> <td>88</td> <td>106</td> <td>62.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	20	18	16	90.0%	西宮	37	13	28	35.1%	加古川	8	3	8	37.5%	丹波	15	8	14	53.3%	淡路	19	19	18	100.0%	専門	がん	2	2	2	100.0%	姫路	12	8	11	66.7%	リハ中	15	7	15	46.7%	リハ西	12	10	10	83.3%	計		140	88	106	62.9%	○ ▲ ▲ ▲ ○ ○ △ ▲ ○	(西宮、加古川、丹波、姫路、リハ西) 【コ】感染状況を考慮し集合会議を中心に中止						
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																															
総合	尼崎	20	18	16	90.0%																																																															
	西宮	37	13	28	35.1%																																																															
	加古川	8	3	8	37.5%																																																															
	丹波	15	8	14	53.3%																																																															
	淡路	19	19	18	100.0%																																																															
専門	がん	2	2	2	100.0%																																																															
	姫路	12	8	11	66.7%																																																															
	リハ中	15	7	15	46.7%																																																															
	リハ西	12	10	10	83.3%																																																															
計		140	88	106	62.9%																																																															
(5) 訪問看護師との看看連携会議等の開催 (単位：回（延回数）)																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>31</td> <td>7</td> <td>20</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">専門</td> <td>こども</td> <td>36</td> <td>39</td> <td>42</td> <td>108.3%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>40</td> <td>11</td> <td>35</td> <td>27.5%</td> </tr> <tr> <td>リハ西</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>128</td> <td>69</td> <td>117</td> <td>53.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	3	0	3	0.0%	西宮	31	7	20	22.6%	加古川	6	6	6	100.0%	丹波	3	2	3	66.7%	淡路	3	2	3	66.7%	専門	こども	36	39	42	108.3%	がん	3	2	3	66.7%	姫路	2	0	1	0.0%	リハ中	40	11	35	27.5%	リハ西	1	0	1	0.0%	計		128	69	117	53.9%	▲ ▲ ○ △ △ ○ △ ▲ ▲ ▲ △	(尼崎、西宮、丹波、淡路、がん、姫路、リハ中、リハ西) 【コ】感染状況を考慮し中止 【コ】新型コロナウイルス感染症の影響に伴う受診控え等による紹介患者の減	
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																															
総合	尼崎	3	0	3	0.0%																																																															
	西宮	31	7	20	22.6%																																																															
	加古川	6	6	6	100.0%																																																															
	丹波	3	2	3	66.7%																																																															
	淡路	3	2	3	66.7%																																																															
専門	こども	36	39	42	108.3%																																																															
	がん	3	2	3	66.7%																																																															
	姫路	2	0	1	0.0%																																																															
	リハ中	40	11	35	27.5%																																																															
	リハ西	1	0	1	0.0%																																																															
計		128	69	117	53.9%																																																															
4 紹介率及び逆紹介率の向上	4 紹介率及び逆紹介率の向上																																																																			
		(単位：%)																																																																		
紹介率	R1 決算	75.9	78.2	83.3	70.1	82.9	36.6	91.7	73.0	70.0	100.0	100.0																																																								
	R2 計画①	74.0	85.0	82.9	70.0	85.9	45.8	84.4	73.0	75.4	100.0	100.0																																																								
	R2 決算②	73.3	79.4	62.3	72.6	73.0	31.7	87.6	71.6	71.5	100.0	100.0																																																								
	差 (②-①)	△0.7	△5.6	△20.6	2.6	△12.9	△14.1	3.2	△1.4	△3.9	0.0	0.0																																																								
逆紹介率	R1 決算	86.7	122.7	96.8	62.2	81.2	44.4	62.6	50.6	170.0	100.0	100.0																																																								
	R2 計画①	86.0	113.8	92.2	65.0	80.1	52.1	77.4	51.5	120.0	100.0	100.0																																																								
	R2 決算②	98.5	124.7	63.2	74.0	70.9	46.5	54.6	46.8	156.8	100.0	100.0																																																								
	差 (②-①)	12.5	10.9	△29.0	9.0	△9.2	△5.6	△22.8	△4.7	36.8	0.0	0.0																																																								

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）
<p>5 こども病院と神戸市立中央市民病院との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意書（2015.10.1締結）を踏まえた神戸中央市民病院との連携促進 <ul style="list-style-type: none"> ① 医療連携における対象診療科及び症例数の拡充 ② 教育、研修における連携 ③ 医療情報システムの共有 <p>6 神戸陽子線センターと近隣医療機関との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①神戸市立中央市民病院との成人救命救急に関する診療連携（H30.7.4合意書締結） ②ポートアイランド病院との成人入院患者に関する診療連携（R1.8.22合意書締結） ③神戸低侵襲がん医療センターとの成人患者に関する診療連携（入院受入、化学療法併用、歯科治療、肺及び肝臓がんのマーカ留置、胃及び大腸の内視鏡検査及びPET検査等） ④神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター（ICCRC）との成人患者に関する診療連携（前立腺がん患者のマーカ留置及びスペース OAR 留置） 	<p>5 こども病院と神戸市立中央市民病院との連携について</p> <p>連携会議を4回実施（うち2回は資料配付のみ）</p> <p>6 神戸陽子線センターと近隣医療機関との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①神戸市立中央市民病院 <ul style="list-style-type: none"> ・成人救急及び患者紹介等に関する連携会議の開催（2月） ・同病院からの令和2年度紹介患者数：7人 ②ポートアイランド病院 <ul style="list-style-type: none"> ・同病院への令和2年度入院患者数：1人 ③神戸低侵襲がん医療センター <ul style="list-style-type: none"> ・診療連携に関する会議の開催（11月） ・同センターへの令和2年度入院患者数：24人 ④神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター <ul style="list-style-type: none"> ・同センターでの令和2年度前立腺マーカ留置及びスペース OAR 挿入患者数：75人 	<p>○</p> <p>○</p>		<p>○こども病院と神戸市立中央市民病院との連携について</p> <p>「基本合意書」（H27.10.1締結）を踏まえた連携促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療連携会議の開催（3、6、9、12月） ・医療情報システムの連携開始

II 安心できる県立病院の実現

項目2 医療安全対策等の推進

<p>○ 基本方向</p> <p>患者に安心・安全な医療を提供するため、病院局及び各病院が一体となって組織的に医療事故の発生防止、院内感染の防止を図っていく。 また、医療紛争の発生防止や円満解決を図るため、引き続き患者等からの相談や医療訴訟に適切に対応する。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 医療安全対策の推進</p> <p>(1) 「医療事故防止標準マニュアル」及び「医療安全管理指針」に基づき、安全な医療を推進する。 (2) 県立病院医療安全会議において、県立病院全体の医療安全対策等の検討を行う。 (3) 医療事故等調査委員会を適切な時期に開催し、医療事故の原因究明等を行う。 (4) 各病院の医療事故防止対策委員会を中心に医療事故防止対策等を検討するとともに、医療安全管理者、リスクマネージャーを中心に医療安全対策を推進する。 (5) 病院局及び各病院において、医療従事者を対象に、医療安全に関する意識醸成、事故防止策の啓発等を行うための研修会を開催する。 (6) 病院局及び各病院において、医療安全に関する情報の収集に努めるとともに、それを一層迅速に周知徹底し、医療安全の確保を図る。 (7) 医療における安全管理をより一層向上させるため、引き続き県立病院において発生した医療過誤等の公表を行うことにより、医療事故防止に資する情報を共有する。</p> <p>2 院内感染の防止</p> <p>(1) 感染対策会議において、県立病院全体の感染対策等の検討を行う。 (2) 各病院の院内感染防止対策委員会を中心に、院内感染情報の収集や分析、院内感染防止策の検討、職員に対する意識醸成等を行う。 (3) 院内感染防止標準マニュアルを活用し、院内感染の防止に努めるとともに、仮に院内感染が発生した場合には速やかに適切な対応を行う。 (4) 感染管理認定看護師等の院内の感染防止対策に専従する担当職員を配置するなど体制の充実を図る。</p> <p>3 医事紛争への適切な対応</p> <p>(1) 各病院と医療紛争相談専門員が連携し、医療に関する苦情や相談に適切に対応する。 (2) 医療に精通した弁護士を選任し、医療訴訟に適切に対応する。 (3) 神戸地方裁判所と協力して医療訴訟・鑑定ガイダンスを実施する。</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																		
<p>〔目標〕</p> <p>病院局及び各病院が一体となって医療事故の発生防止や院内感染の防止を図る。 また、医療に関する苦情や相談に適切に対応し、医事紛争の発生防止や円満解決に努める。</p>	<p>病院局及び各病院が一体となって医療事故の発生防止や院内感染の防止を図った。 また、医療に関する苦情や相談に適切に対応し、医事紛争の発生防止や円満解決に努めた。 しかし、右記の理由により計画を下回った。</p>	△	<p>新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、会議や研修等を中止した。 一方、その他の項目は計画どおり実施した。</p>																			
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 医療安全対策の推進</p> <p>(1) 医療安全会議における医療安全対策の検討（年3回） (2) 職種別リスク管理委員会におけるヒヤリ・ハット事例の収集分析 (3) 医療安全研修の実施（年1回） (4) 医療安全対策専従職員の役割の明確化による安全管理体制の充実強化（医療事故やヒヤリ・ハット事例の院内ラウンドによる確認・分析等を実施） (5) 医療事故の情報共有及び迅速な公表 (6) 入院患者の服薬指導の充実</p> <p>2 院内感染の防止</p> <p>・感染対策会議の開催（年1回）</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 医療安全対策の推進</p> <p>(1) 医療安全会議における医療安全対策を検討した（R2実績：2回） (2) 職種別リスク管理委員会におけるヒヤリ・ハット事例の収集分析の結果を医療安全会議（10月）に報告するとともに、事例を活用した方策を実施 (3) 医療安全研修の実施（0回） <各病院での取組み> 医療事故防止研修会を定期的に開催 (R2実績：77回） (4) 医療安全対策専従職員の基本的な業務を定め、各病院において医療事故やヒヤリ・ハットの再発防止に向けた方策等を実施 (5) 医療事故の情報共有及び迅速な公表 原則、翌月に病院運営会議等で報告のうえ、過誤事案等について翌々月に公表を実施 (6) 入院患者の服薬指導を実施</p> <p>2 院内感染の防止</p> <p>・感染対策会議を開催（R3.1.13）</p>	<p>△</p> <p>○</p> <p>▲</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【コ】感染状況を考慮し会議を1回中止</p> <p>【コ】感染状況を考慮し中止</p>	<p>○医療過誤（レベル3b以上）の件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度（～7月）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8件</td> <td>6件</td> <td>11件</td> <td>7件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○医療安全管理者の配置（13病院1診療所） ○医療安全部長の配置（10病院） ○リスクマネージャーの配置（13病院1診療所・478名） ○医療安全対策にかかる専従者の配置（10病院） ○医療安全・医療事故防止等を所掌する副課長の設置（病院局企画課）</p> <p>○認定看護師の状況【再掲P25】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th colspan="2">病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定</td> <td>感染管理</td> <td>尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)、姫路(2)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○感染対策会議の開催（R3.1.14） ○病院局に医療紛争相談専門員（1名）を配置 ○各病院に医療相談窓口を設置 ○県医療担当の弁護士：4名</p>	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度（～7月）	8件	6件	11件	7件	2件	区分		病院別人数		認定	感染管理	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)、姫路(2)	
H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度（～7月）																		
8件	6件	11件	7件	2件																		
区分		病院別人数																				
認定	感染管理	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)、姫路(2)																				

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																				
<p>3 医事紛争への適切な対応 (1) 県立病院における医療訴訟への適切な対応（平成30年度実績：1件→令和2年2月まで：1件） (2) 医療訴訟への適切な対応の推進 (3) 神戸地方裁判所と協力して医療訴訟・鑑定ガイダンスを実施</p>	<p>3 医事紛争への適切な対応 (1) 県立病院における医療訴訟への適切な対応（令和元年度実績：2件→令和2年度実績：1件） (2) 医療訴訟への適切な対応の推進 (3) 神戸地方裁判所が実施する医療訴訟ガイダンスを実施（0回）</p>	<p>○ ○ ▲</p>	<p>【コ】感染状況を考慮し中止</p> <p>○裁判での和解と判決の推移</p> <table border="1" data-bbox="1816 491 2846 630"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度 (～7月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>和解</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>判決</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県立病院における医療訴訟件数の推移（新たに訴えられた件数）</p> <table border="1" data-bbox="1816 701 2846 840"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度 (～7月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>総件数</td> <td>5件</td> <td>6件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※指定管理を除く</p>		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 (～7月)	和解	1件	0件	4件	0件	0件	判決	1件	0件	2件	0件	0件	年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 (～7月)	新規件数	1件	1件	1件	1件	0件	総件数	5件	6件	1件	2件	2件	
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 (～7月)																																			
和解	1件	0件	4件	0件	0件																																			
判決	1件	0件	2件	0件	0件																																			
年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 (～7月)																																			
新規件数	1件	1件	1件	1件	0件																																			
総件数	5件	6件	1件	2件	2件																																			

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																										
<p>(2) PFMの活用により患者の入退院管理最適化を推進 (尼崎、淡路)</p> <p>3 平均在院日数の適正化</p> <p>・平均在院日数</p> <table border="1" data-bbox="578 441 1730 829"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>9.5</td> <td>9.5</td> <td>9.4</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>9.6</td> <td>9.9</td> <td>10.2</td> <td>103.1%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>11.4</td> <td>10.5</td> <td>11.4</td> <td>92.1%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>11.6</td> <td>12.5</td> <td>11.9</td> <td>107.8%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>13.2</td> <td>11.9</td> <td>12.7</td> <td>90.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">専門</td> <td>こころ</td> <td>74.4</td> <td>67.2</td> <td>82.9</td> <td>90.3%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>12.6</td> <td>12.1</td> <td>11.8</td> <td>96.0%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>13.0</td> <td>11.7</td> <td>11.6</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>13.7</td> <td>13.2</td> <td>14.0</td> <td>96.4%</td> </tr> <tr> <td>粒子線</td> <td>33.4</td> <td>36.6</td> <td>30.6</td> <td>109.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	総合	尼崎	9.5	9.5	9.4	100.0%	西宮	9.6	9.9	10.2	103.1%	加古川	11.4	10.5	11.4	92.1%	丹波	11.6	12.5	11.9	107.8%	淡路	13.2	11.9	12.7	90.2%	専門	こころ	74.4	67.2	82.9	90.3%	こども	12.6	12.1	11.8	96.0%	がん	13.0	11.7	11.6	90.0%	姫路	13.7	13.2	14.0	96.4%	粒子線	33.4	36.6	30.6	109.6%	<p>(2) PFMの活用により患者の入退院管理最適化を推進 (尼崎、淡路)</p> <p>3 平均在院日数の適正化</p> <p>(単位：日)</p>	<p>○</p>		<p>※PFM(Patient Flow Manage-Ment) 予定入院患者の情報を入院前に把握し、問題解決に早期に着手すると同時に、病床の管理を合理的に行う等を目的とする仕組み</p>
区分	病院名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①																																																									
総合	尼崎	9.5	9.5	9.4	100.0%																																																									
	西宮	9.6	9.9	10.2	103.1%																																																									
	加古川	11.4	10.5	11.4	92.1%																																																									
	丹波	11.6	12.5	11.9	107.8%																																																									
	淡路	13.2	11.9	12.7	90.2%																																																									
専門	こころ	74.4	67.2	82.9	90.3%																																																									
	こども	12.6	12.1	11.8	96.0%																																																									
	がん	13.0	11.7	11.6	90.0%																																																									
	姫路	13.7	13.2	14.0	96.4%																																																									
	粒子線	33.4	36.6	30.6	109.6%																																																									
<p>4 アメニティの充実等</p> <p>・患者及び来院者等の快適性に向けた施設・整備改修を推進</p> <p>5 患者等とのコミュニケーションの推進</p> <p>(1) 病院運営懇話会の開催 指定管理の3病院を除く各病院で、年1回以上開催</p> <p>(2) 接遇研修の実施（年1回）（接遇とクレーム対応等）</p>	<p>4 アメニティの充実等</p> <p>・患者及び来院者等の快適性に向けた施設・整備改修を推進</p> <p>5 患者等とのコミュニケーションの推進</p> <p>(1) 病院運営懇話会の開催</p> <p>(2) 接遇研修の実施（年1回）（接遇とクレーム対応等）</p>	<p>○</p> <p>△</p> <p>▲</p>	<p>【コ】西宮、加古川、丹波は感染状況を考慮し中止</p> <p>【コ】感染状況を考慮し中止</p>	<p>○患者意識調査の実施状況 実施病院：県立10病院、1診療所 (重篤患者が大半である災害医療センター、独自に患者アンケートを実施しているリハ2病院では実施せず) 実施時期(直近)：令和元年8～9月 回答数：外来4,210件、入院1,359件</p> <p>○全病院に提案箱を設置し、寄せられた意見や提案等について、情報誌や掲示板で対応内容等を周知</p> <p>○接遇リーダー養成研修の実施 ※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ開催検討</p>																																																										

II 安心できる県立病院の実現

項目4 医療の信頼性の向上

<p>○ 基本方向</p> <p>患者自身の治療法の理解と選択を支援するため、インフォームド・コンセントやセカンド・オピニオンを充実する。 また、EBMの推進や外部評価の活用により、県立病院における医療の信頼性の向上を図る。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 インフォームド・コンセントの充実等 (1) 電子カルテ等を活用し、患者の立場に立った分かりやすく説明を行い、インフォームド・コンセントを取得する。 (2) 患者の自己決定権を尊重した医療を実施するため、セカンド・オピニオンを推進する。 (3) 患者からカルテ開示がなされた場合には、「個人情報の保護に関する条例」に基づき、適切に開示を行う。</p> <p>2 EBMの推進 各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進する。</p> <p>3 外部評価の活用 病院機能評価やISOの受審や更新については、個々の病院の実情に応じて実施する。</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																
<p>〔目標〕</p> <p>患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントやセカンド・オピニオン等を実施する。 また、病院運営懇話会等において広く県民等から意見を求め、県民の医療ニーズを病院運営に反映するとともに、患者や家族の立場や心理に十分配慮した接遇やコミュニケーションを行う。また、県民の健康・医療への関心に応じて、公開講座やセミナー、フォーラム等を開催する。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 インフォームド・コンセントの充実等 (1) 患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントの実施 (2) 患者自らの治療法の選択に資するセカンド・オピニオンの実施 (3) 開示請求に基づく適切なカルテ開示の実施</p> <p>2 EBMの推進 ・各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進 (EBM=Evidence-based Medicine：根拠に基づく医療)</p> <p>3 外部評価の推進 ・病院機能評価やISOの受審や更新については、個々の病院の実情に応じて実施</p>	<p>患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントに努めたほか、セカンド・オピニオンや患者の求めに応じたカルテ開示を適切に実施した。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 インフォームド・コンセントの充実等 (1) 患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントの実施 (2) 患者自らの治療法の選択に資するセカンド・オピニオンの実施 (R1実績：527件→R2実績：432件) (3) 開示請求に基づく適切なカルテ開示の実施 (R1実績：407件→R2実績：348件)</p> <p>2 EBMの推進 各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進</p> <p>3 外部評価の推進 病院機能評価やISOの受診や更新について、各病院で検討・準備を実施</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>医療の信頼性の向上に資する取組みを着実に実施した。</p> <p>○セカンド・オピニオンの実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>586件</td> <td>599件</td> <td>544件</td> <td>527件</td> <td>432件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○カルテ開示状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>397件</td> <td>328件</td> <td>372件</td> <td>407件</td> <td>348件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○病院機能評価の認定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院機能評価の認定</td> <td>尼崎総合医療センター 西宮病院 淡路医療センター こども病院 リハビリテーション中央病院 リハビリテーション西播磨病院</td> </tr> </tbody> </table> <p>○臨床検査室の認定（ISO15189）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ISO15189の認定</td> <td>尼崎総合医療センター こども病院 がんセンター</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	件数	586件	599件	544件	527件	432件	年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	件数	397件	328件	372件	407件	348件	区分	病院名	病院機能評価の認定	尼崎総合医療センター 西宮病院 淡路医療センター こども病院 リハビリテーション中央病院 リハビリテーション西播磨病院	区分	病院名	ISO15189の認定	尼崎総合医療センター こども病院 がんセンター	<p>参考：現況（令和3年7月の状況等）</p>
年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度																															
件数	586件	599件	544件	527件	432件																															
年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度																															
件数	397件	328件	372件	407件	348件																															
区分	病院名																																			
病院機能評価の認定	尼崎総合医療センター 西宮病院 淡路医療センター こども病院 リハビリテーション中央病院 リハビリテーション西播磨病院																																			
区分	病院名																																			
ISO15189の認定	尼崎総合医療センター こども病院 がんセンター																																			

II 安心できる県立病院の実現

項目5 県民等への情報発信の推進

○ 基本方向	地域の医療機関への情報提供等を通じた地域医療連携の推進とともに、県民等に県立病院の診療機能や役割等の更なる周知を図るため、民間のノウハウを取り入れながら様々なメディアを活用した分かりやすい情報発信を積極的に行う。
○ 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ホームページのコンテンツの充実及び適時適切な更新により、患者、地域医療機関への積極的な情報提供を図る。 2 広報誌の充実により患者、地域医療機関への積極的な情報提供を図る。 3 報道機関に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を行う。 4 患者や紹介元医療機関に向けた講演会等を開催し、県立病院に関する情報を積極的に発信する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																						
<p>〔目標〕</p> <p>病院によるホームページでの情報発信や広報誌等の定期的な発行、「県民だよりひょうご」等の広報誌により県立病院の情報をわかりやすく提供する。</p>	<p>病院によるホームページでの情報発信や広報誌等の定期的な発行、「県民だよりひょうご」等の広報誌により県立病院の情報をわかりやすく提供した。</p> <p>しかし、右記の理由により計画を下回った。</p>	▲	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた講演会の開催回数等が大きく減少した。</p> <p>一方、広報誌の発行回数等、その他の項目は概ね計画どおりに実施した。</p>	<p>○診療案内は、神戸陽子を除く13病院で発行済</p> <p>○各県立病院で地域医療機関向け情報誌を定期的に発行</p> <p>★広報誌の発行状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発行頻度</th> <th>病院名</th> <th>情報誌名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年1回</td> <td>粒子線</td> <td>ニュースレター</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">年2回</td> <td>淡路</td> <td>くにうみ県病だより</td> </tr> <tr> <td>神戸陽子</td> <td>ニュースレター</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">年3回</td> <td>リハ中</td> <td>地域医療連携だより</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>がん相談支援センターだより</td> </tr> <tr> <td>粒子線</td> <td>粒子線医療センターだより</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">年4回</td> <td>リハ西</td> <td>ひかりの都</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>はまかぜ</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>地域医療連携センターだより</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>光る風</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">年6回</td> <td>加古川</td> <td>県かこ地域医療連携ニュース</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>かけはし</td> </tr> <tr> <td>月1回</td> <td>姫路</td> <td>地域医療連携 NEWS</td> </tr> <tr> <td>月1回</td> <td>尼崎</td> <td>あまが咲だより</td> </tr> </tbody> </table>	発行頻度	病院名	情報誌名	年1回	粒子線	ニュースレター	年2回	淡路	くにうみ県病だより	神戸陽子	ニュースレター	年3回	リハ中	地域医療連携だより	丹波	がん相談支援センターだより	粒子線	粒子線医療センターだより	年4回	リハ西	ひかりの都	西宮	はまかぜ	丹波	地域医療連携センターだより	こころ	光る風	年6回	加古川	県かこ地域医療連携ニュース	がん	かけはし	月1回	姫路	地域医療連携 NEWS	月1回	尼崎	あまが咲だより
発行頻度	病院名	情報誌名																																								
年1回	粒子線	ニュースレター																																								
年2回	淡路	くにうみ県病だより																																								
	神戸陽子	ニュースレター																																								
年3回	リハ中	地域医療連携だより																																								
	丹波	がん相談支援センターだより																																								
	粒子線	粒子線医療センターだより																																								
年4回	リハ西	ひかりの都																																								
	西宮	はまかぜ																																								
	丹波	地域医療連携センターだより																																								
	こころ	光る風																																								
年6回	加古川	県かこ地域医療連携ニュース																																								
	がん	かけはし																																								
月1回	姫路	地域医療連携 NEWS																																								
月1回	尼崎	あまが咲だより																																								
<p>〔取組項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 病院局及び各病院で、ホームページを随時更新し、県民に対して最新情報を提供 <ul style="list-style-type: none"> ・病院ホームページにおいて治療開始待ち時間の明示を開始（粒子線） 2 各病院で、地域医療機関又は県民向けの情報誌を定期的に発行 <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の発行 	<p>〔取組項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 病院局及び各病院で、ホームページを随時更新し、県民に対して最新情報を提供 2 各病院で、地域医療機関又は県民向けの情報誌を定期的に発行 	○	<p>（西宮）</p> <p>【コ】感染対応により編集作業に費やせる時間が減少し、発行回数が減少（加古川）</p> <p>トピックがなかった（不定期発行）</p> <p>（淡路）</p> <p>発行回数を見直し</p> <p>（こころ）</p> <p>【コ】記事にするイベントが中止</p>																																							

(単位：回)

病院名	広報誌名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①
尼崎	あまが咲だより	12	12	12	100.0%
西宮	はまかぜ	4	3	4	75.0%
加古川	県かこ地域医療連携ニュース	6	6	6	100.0%
	ニュースレター	3	0	3	0.0%
丹波	地域医療連携センターだより	4	4	4	100.0%
	がん相談支援センターだより	3	3	3	100.0%
淡路	くにうみ県病だより	3	2	2	66.7%
こころ	光る風	4	3	4	75.0%
こども	げんきカエル	4	4	4	100.0%
がん	かけはし	6	5	6	83.3%
	あじさい	4	4	4	100.0%
姫路	地域医療連携NEWS	6	6	6	100.0%
	ニュースレター	1	1	1	100.0%
粒子線	粒子線医療センターだより	3	3	4	100.0%
	ニュースレター	2	2	2	100.0%
神戸陽子	ニュースレター	2	2	2	100.0%
リハ中	地域医療連携だより	2	2	2	100.0%
リハ西	ひかりの都	3	3	3	100.0%
計		70	63	70	90.0%

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																																																																		
<p>3 各病院で、報道機関等に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージを使ったインフォメーションボードを設置し、地域医療連携病院の案内や情報発信を推進（淡路） 装置保守日を活用した施設見学会の開催（粒子線） web 広報の充実（検索連動型広告、ディスプレイ広告）による施設及び陽子線治療の認知度向上（神戸陽子） <p>4 各病院で、紹介元医療機関等に向けた講演会等を開催し、県立病院に関する情報を積極的に発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演会の開催等 	<p>3 各病院で、報道機関等に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を推進</p> <p>4 各病院で、紹介元医療機関等に向けた講演会等を開催し、県立病院に関する情報を積極的に発信</p>	○	<p>(単位：回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>講座名</th> <th>R2 計画①</th> <th>R2 実績②</th> <th>R1 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">尼崎</td> <td>・市民すこやかセミナー</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>・社協コラボ出前セミナー</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>・県民公開講座（がん・生活習慣病）</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>・県民向けフォーラム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">丹波</td> <td>(1) 病院フェスタ</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>(2) 市民健康講座（地域と研修医との懇談会）</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">淡路</td> <td>(1) 市民公開講座</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>(2) 病院フェスタ</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こころ</td> <td>(1) 県民向け講演会</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>(2) セミナー</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>25.0%</td> </tr> <tr> <td>(3) 病院フェスタ（光風あいアイまつり）</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>・がんフォーラム</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">姫路</td> <td>(1) 循環器疾患予防フォーラム</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>(2) 認知症疾患予防フォーラム</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>粒子線</td> <td>・粒子線治療連携懇談会</td> <td>1</td> <td>18</td> <td>1</td> <td>1800.0%</td> </tr> <tr> <td>神戸陽子</td> <td>・一般対象施設見学会・公開講演会</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>・県民公開講座</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>リハ西</td> <td>・県民公開講座</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>55</td> <td>24</td> <td>51</td> <td>43.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>▲ (尼崎、西宮、丹波、淡路、こころ、がん、姫路、神戸陽子、リハ中、リハ西) 【コ】感染状況を考慮し中止</p> <p>◎ (粒子線) 【コ】会場開催を取止め、部位別の web 講習会に切替え</p>	病院名	講座名	R2 計画①	R2 実績②	R1 実績	②/①	尼崎	・市民すこやかセミナー	6	0	6	0.0%	・社協コラボ出前セミナー	8	0	7	0.0%	西宮	・県民公開講座（がん・生活習慣病）	3	0	3	0.0%	加古川	・県民向けフォーラム	1	1	1	100.0%	丹波	(1) 病院フェスタ	1	0	1	0.0%	(2) 市民健康講座（地域と研修医との懇談会）	12	0	11	0.0%	淡路	(1) 市民公開講座	2	1	3	50.0%	(2) 病院フェスタ	1	0	1	0.0%	こころ	(1) 県民向け講演会	1	0	1	0.0%	(2) セミナー	4	1	4	25.0%	(3) 病院フェスタ（光風あいアイまつり）	2	0	2	0.0%	がん	・がんフォーラム	3	1	2	33.3%	姫路	(1) 循環器疾患予防フォーラム	1	0	1	0.0%	(2) 認知症疾患予防フォーラム	1	0	0	0.0%	粒子線	・粒子線治療連携懇談会	1	18	1	1800.0%	神戸陽子	・一般対象施設見学会・公開講演会	6	2	5	33.3%	リハ中	・県民公開講座	1	0	1	0.0%	リハ西	・県民公開講座	1	0	1	0.0%	計		55	24	51	43.6%	
病院名	講座名	R2 計画①		R2 実績②	R1 実績	②/①																																																																																																																
尼崎	・市民すこやかセミナー	6	0	6	0.0%																																																																																																																	
	・社協コラボ出前セミナー	8	0	7	0.0%																																																																																																																	
西宮	・県民公開講座（がん・生活習慣病）	3	0	3	0.0%																																																																																																																	
加古川	・県民向けフォーラム	1	1	1	100.0%																																																																																																																	
丹波	(1) 病院フェスタ	1	0	1	0.0%																																																																																																																	
	(2) 市民健康講座（地域と研修医との懇談会）	12	0	11	0.0%																																																																																																																	
淡路	(1) 市民公開講座	2	1	3	50.0%																																																																																																																	
	(2) 病院フェスタ	1	0	1	0.0%																																																																																																																	
こころ	(1) 県民向け講演会	1	0	1	0.0%																																																																																																																	
	(2) セミナー	4	1	4	25.0%																																																																																																																	
	(3) 病院フェスタ（光風あいアイまつり）	2	0	2	0.0%																																																																																																																	
がん	・がんフォーラム	3	1	2	33.3%																																																																																																																	
姫路	(1) 循環器疾患予防フォーラム	1	0	1	0.0%																																																																																																																	
	(2) 認知症疾患予防フォーラム	1	0	0	0.0%																																																																																																																	
粒子線	・粒子線治療連携懇談会	1	18	1	1800.0%																																																																																																																	
神戸陽子	・一般対象施設見学会・公開講演会	6	2	5	33.3%																																																																																																																	
リハ中	・県民公開講座	1	0	1	0.0%																																																																																																																	
リハ西	・県民公開講座	1	0	1	0.0%																																																																																																																	
計		55	24	51	43.6%																																																																																																																	

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目 1 経営目標の設定と持続的な経営の取組

○ 基本方向	持続可能な経営を行うため、不断の経営改善に努め、経常損益について黒字経営の確保を図る。 なお、丹波医療センター（2019（H31）年度）、はりま姫路総合医療センター（仮称）（2022年度）の統合再編整備等により、一時的な収支悪化が見込まれるため、早期の経営安定方策を検討し、経営改革の取組を進める。
○ 取組内容	
1 経営目標の設定	（1）各年度の経営実施計画を策定し、具体の数値目標、経営改善方策及び責任者を明確にしたうえで、経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図る。 （2）目標は、財務に関する指標だけでなく、専門的な手技手法による治療件数等診療機能の充実に向けた指標を定める。 （3）病院運営会議・管理局長会議において、各病院の経営情報を共有するとともに、経営健全化方策を検討し実施する。 （4）各病院において優れた取組、経営努力等に関する前向きな取組を評価し、予算配分に反映させるなど職員のさらなる意欲向上につながる評価の仕組みを継続する。 （5）経営実施計画及びその達成状況は、病院事業全体及び病院ごとに県民が理解しやすいように公表する。 （6）外部委員等による計画達成状況の評価、課題の明確化、経営改善に向けた措置勧告を受ける仕組みを継続する。
2 持続的な経営への取組	（1）新病院開設時には、入院患者抑制等により一時的に収支は悪化するが、速やかに患者受入れの促進などにより、収支の悪化を抑制する。 （2）持続可能な経営を維持するため、一定の内部留保資金残高の確保を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）
<p>【目標】</p> <p>会計年度任用職員制度の導入に伴う給与費の増や薬品費・診療材料費の増などにより経常収支の悪化が見込まれるが、病院個々の課題を的確に分析・把握して対策を講じることに加え、収益の確保、費用の抑制に努め、病院局、県立病院が一体となって経営改善に取り組む。</p> <p>また、純損益は、旧柏原病院建物撤去費用を特別損失として計上するため、22億円の純損失を見込んでいる。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な減収があったものの、診療報酬の増額や同感染症の受け入れ体制を確保するための補償等により、減収分は概ね補填され、経常損益は7億円の黒字となった。</p> <p>また、純損益は、旧柏原病院建物撤去費用や退職給付引当金の過年度修正等を特別損失として計上したため、55億円の赤字となった。</p>	○	<p>各種取組を推進し、経営改善に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な減収となった。</p> <p>一方、同感染症の受け入れ体制を確保するための補償等により、減収分は概ね補填され、経常黒字を達成した。</p>	
<p>【取組項目】</p> <p>1 経営目標の設定</p> <p>（1）病院別の経営実施計画、数値目標を設定し、院長、管理局長を中心に経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図る。</p> <p>（2）経営目標の設定</p> <p>病院別の経営実施計画策定にあたっては、数値目標として手術件数及び救急搬送患者数等も設定</p> <p>（3）各種会議における病院事業の当初予算、決算見込、経営状況にかかる情報共有</p> <p>病院運営会議、管理局長会議における各病院の経営状況、経営健全化方策の情報共有</p> <p>（4）各病院における優れた取り組み・経営努力等に対する評価・予算配分への反映</p> <p>経営成績の改善とともに、各病院における経営努力等に関する前向きな取り組みを評価し、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分）</p> <p>（5）県のホームページに病院事業全体、病院別の経営状況などを公表</p> <p>2 持続的な経営への取組</p> <p>（1）会計年度任用職員制度の導入に伴う給与費の増や薬品費・診療材料費の増などにより経常収支の悪化が見込まれるが、病院個々の課題を的確に分析・把握して対策を講じることに加え、収益の確保、費用の抑制に努め、病院局、県立病院が一体となって経営改善に取り組む。</p> <p>（2）令和2年度末の内部留保資金残高（見込）：57億円</p>	<p>【取組項目】</p> <p>1 経営目標の設定</p> <p>（1）病院別の経営実施計画、数値目標を設定し、院長、管理局長を中心に経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図った。</p> <p>（2）経営目標の設定</p> <p>病院別の経営実施計画策定にあたっては、手術件数及び救急搬送患者数等も設定し、数値目標を明確化</p> <p>（3）各種会議における病院事業の当初予算、決算見込、経営状況にかかる情報共有</p> <p>毎月の病院運営会議、管理局長会議で計画の進捗状況を報告し、各病院の課題や取組状況など意見交換を実施</p> <p>（4）各病院における優れた取り組み・経営努力等に対する評価・予算配分への反映</p> <p>経営成績の改善とともに、各病院における経営努力等に関する前向きな取り組みを評価し、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分）</p> <p>（5）県のホームページに病院事業全体、病院別の経営状況などを公表</p> <p>2 持続的な経営への取組</p> <p>（1）新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な減収があったものの、診療報酬の増額や同感染症の受け入れ体制を確保するための補償等により、減収分は概ね補填された。</p> <p>赤字体質からの脱却を図るため、民間コンサルを活用した経営再生本部など、各病院と病院局が一体となった経営改善に取り組んだ。</p> <p>（2）令和2年度末の内部留保資金残高（見込）：56億円</p>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		<p>1 令和3年度の経営目標の設定</p> <p>（1）病院別の月次収支分析及び計画の達成状況を進行管理</p> <p>（3）各種会議実施状況</p> <p>病院運営会議、管理局長会議（共に月1回）で病院毎の経営状況、経営健全化方策を共有</p> <p>（4）評価等実績</p> <p>経営成績が改善した病院に、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分）</p> <p>2 持続的な経営への取組</p> <p>（1）薬品費・診療材料費の増などの収支構造の変化に加え、令和3年度も、引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向に左右される病院経営となる見込みである。</p> <p>早期の赤字体質からの脱却を図るため、民間コンサルを活用した経営再生本部など、各病院と病院局が一体となった経営改善に取り組む、持続可能な経営の確保に努める。</p> <p>（2）令和3年度末内部留保資金残高（見込）：53億円</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況			評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）						
収 支（13病院）		（単位：億円）											
	区 分	R元決算 ①	R2当初計画 ②	R2最終予算 ③	R2決算 ④	対前年 (④-①)	対最終予算 (④-③)						
収益的 収支	経常収益 (A)	1,354	1,416	1,423	1,432	78	9						
	(うち一般会計繰入金) (B)	160	160	162	162	2	0						
	経常費用 (C)	1,386	1,419	1,435	1,424	38	△ 11						
	当期経常損益 (D=A-C)	△ 31	△ 3	△ 12	7	38	19						
	特別損益 (E)	△ 9	△ 19	△ 63	△ 63	△ 54	0						
	当期純損益 (F=D+E)	△ 40	△ 22	△ 75	△ 55	△ 15	20						
	資金収支 (G)	17	54	48	71	54	23						
資本的 収支	収入 (H)	230	316	333	309	79	△ 24						
	(うち一般会計繰入金) (I)	71	79	83	83	12	0						
	支出 (J)	258	369	383	358	100	△ 25						
	差引(資金収支) (K=H-J)	△ 28	△ 53	△ 50	△ 49	△ 21	1						
一般会計繰入金の合計 (B+I)		231	239	245	245	14	0						
総資金収支 (L=G+K)		△ 11	1	△ 2	22	33	24						
内部留保資金残高 (M=L+M[前年度])		34	57	32	56	22	24						
※ 特別損失：(R2) 旧柏原病院建物撤去費用や退職給付引当金の過年度修正等 ※ 一般会計繰入金については、全て国基準及び県施策に伴うものであり、いわゆる赤字補填としての繰入金はない。 ※ 計数については、四捨五入の関係で合計等が合わない場合がある(以下の表も同じ)。													
経営状況(各病院ごとの経常損益)		（単位：百万円）											
区分	総合病院						専門病院						10病院計
	尼崎	西宮	加古川	丹波	淡路	小計	こころ	こども	がん	姫路	粒子線 たつの 神戸陽子		
R元年度決算①	△ 281	△ 88	△ 104	△ 981	54	△ 1,400	△ 377	△ 63	△ 159	△ 240	△ 337	△ 550	△ 3,126
R2年度当初計画②	291	223	94	△ 556	218	270	△ 267	94	56	98	△ 62	△ 514	△ 325
R2年度最終予算③	848	△ 216	566	△ 738	460	920	△ 341	△ 115	△ 544	14	△ 559	△ 535	△ 1,161
R2年度決算④	2,009	△ 315	1,594	△ 432	319	3,175	△ 256	△ 367	△ 494	△ 188	△ 672	△ 458	740
対前年(④-①)	2,290	△ 227	1,698	549	265	4,575	121	△ 304	△ 335	52	△ 335	92	3,866
対予算(④-③)	1,161	△ 99	1,028	306	△ 141	2,255	85	△ 252	50	△ 202	△ 113	77	1,901

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況								評価	説明				参考：現況（令和3年7月の状況等）			
【令和2年度決算の内訳】		（単位：床、%、人、千円）																
区 分	総合病院						専門病院							10病院計	指定管理			13病院計
	尼 崎	西 宮	加 古 川	丹 波	淡 路	小 計	こ ころ	こ ど も	が ん	姫 路	粒子線				災 害	リハ中央	リハ西播磨	
											たつの	神 戸	計					
稼働病床数	730	400	353	275	441	2,199	254	282	377	330	50	—	50	3,492	30	330	100	3,952
病床利用率（%）	79.2	71.8	44.6	73.4	70.6	69.8	43.3	78.3	70.1	63.3	50.3	—	50.3	67.6	80.7	68.6	86.7	68.3
延入院患者数	210,960	104,807	57,491	73,638	113,607	560,503	41,778	80,604	96,500	76,227	9,188	—	9,188	864,800	8,832	82,672	31,630	987,934
（1日当たり）	578	287	158	202	311	1,536	114	221	264	209	25	—	25	2,369	24	226	87	2,707
延外来患者数	426,426	146,490	150,460	121,007	178,395	1,022,778	50,009	97,305	160,825	78,475	3,893	7,901	11,794	1,421,186	159	46,851	9,791	1,477,987
（1日当たり）	1,755	603	619	498	734	4,209	206	400	662	323	16	33	49	5,849	1	193	40	6,082
入院収益	20,007,301	6,947,361	4,390,368	4,148,796	8,339,767	43,833,593	981,764	8,136,380	6,984,807	8,530,755	642,046	—	642,046	69,109,345	0	0	0	69,109,345
（1人1日）	94,839	66,287	76,366	56,340	73,409	78,204	23,500	100,943	72,381	111,913	69,879	—	69,879	79,914	0	0	0	69,953
外来収益	8,694,297	2,697,557	3,146,463	1,791,363	2,786,818	19,116,498	345,670	1,766,075	8,741,681	2,238,749	171,513	566,112	737,625	32,946,298	0	0	0	32,946,298
（1人1日）	20,389	18,415	20,912	14,804	15,622	18,691	6,912	18,150	54,355	28,528	44,057	71,651	62,542	23,182	0	0	0	22,291
その他医業収益	580,197	230,941	153,768	372,791	193,182	1,530,879	12,355	148,526	450,350	181,416	40,985	712	41,697	2,365,223	0	0	0	2,365,223
医業収益計	29,281,795	9,875,859	7,690,599	6,312,950	11,319,767	64,480,970	1,339,789	10,050,981	16,176,838	10,950,920	854,544	566,824	1,421,368	104,420,866	0	0	0	104,420,866
コロナ空床補償	4,171,374	789,520	3,827,977	618,978	1,187,196	10,595,045	565,231	229,309	0	521,788	0	0	0	11,911,373	0	0	0	11,911,373
長期前受金戻入額	1,114,925	354,634	574,426	815,962	511,526	3,371,473	210,282	662,619	473,004	325,838	279,636	279,871	559,507	5,602,723	159,948	418,714	233,675	6,415,060
その他医業外収益	1,018,318	311,108	1,341,226	336,555	334,466	3,341,673	170,210	208,952	219,464	214,058	21,283	1,648	22,931	4,177,288	240	33,192	7,665	4,218,385
経常収益計	35,586,412	11,331,121	13,434,228	8,084,445	13,352,955	81,789,161	2,285,512	11,151,861	16,869,306	12,012,604	1,155,463	848,343	2,003,806	126,112,250	160,188	451,906	241,340	126,965,684
給 与 費	18,361,761	7,428,995	6,919,923	4,938,686	7,649,217	45,298,582	3,052,956	8,045,788	6,994,007	6,148,191	605,423	309,578	915,001	70,454,525	45,000	21,600	11,100	70,532,225
（退職給与と金）	477,655	277,168	186,107	182,511	380,353	1,503,794	159,112	163,942	301,802	278,737	24,154	19,854	44,008	2,451,395	0	0	0	2,451,395
（退職給与引当金）	390,283	150,249	275,955	27,204	82,086	925,777	26,955	258,546	247,209	137,199	10,292	20,544	30,836	1,626,522	0	0	0	1,626,522
（賞与引当金）	823,000	389,000	375,000	181,000	394,000	2,162,000	202,000	439,000	449,000	335,000	24,000	14,000	38,000	3,625,000	0	0	0	3,625,000
材 料 費	10,569,653	2,858,375	2,720,889	1,379,866	3,636,232	21,165,015	152,355	2,277,197	8,266,950	5,125,489	72,328	7,914	80,242	37,067,248	0	0	0	37,067,248
経 費	4,705,096	1,756,283	1,965,398	1,926,658	2,203,477	12,556,912	558,835	2,117,082	1,929,027	1,491,751	1,035,183	427,501	1,462,684	20,116,291	702,558	270,103	125,328	21,214,280
減価償却費	2,294,424	618,133	1,038,620	1,075,953	812,012	5,839,142	242,485	1,194,835	818,580	543,077	337,714	517,600	855,314	9,493,433	144,781	397,303	223,146	10,258,663
資産減耗費	93,661	8,476	61,866	7,676	124,000	295,679	20,000	17,541	49,261	16,250	4,103	0	4,103	402,834	960	4,345	621	408,760
研究研修費	132,194	38,886	27,326	18,686	29,337	246,429	11,033	36,324	90,484	49,165	2,391	585	2,976	436,411	0	0	0	436,411
医業費用計	36,156,789	12,709,148	12,734,022	9,347,525	14,454,275	85,401,759	4,037,664	13,688,767	18,148,309	13,373,923	2,057,142	1,263,178	3,320,320	137,970,742	893,299	693,351	360,195	139,917,587
医業外費用	317,525	104,097	472,749	304,454	275,049	1,473,874	100,541	190,774	133,708	86,476	280,836	96,127	376,963	2,362,336	39,554	71,502	35,313	2,508,705
経常費用計	36,474,314	12,813,245	13,206,771	9,651,979	14,729,324	86,875,633	4,138,205	13,879,541	18,282,017	13,460,399	2,337,978	1,359,305	3,697,283	140,333,078	932,853	764,853	395,508	142,426,292
経常損益（繰入前）	△ 887,902	△ 1,482,124	227,457	△ 1,567,534	△ 1,376,369	△ 5,086,472	△ 1,852,693	△ 2,727,680	△ 1,412,711	△ 1,447,795	△ 1,182,515	△ 510,962	△ 1,693,477	△ 14,220,828	△ 772,665	△ 312,947	△ 154,168	△ 15,460,608
特別利益	600,628	249,182	224,328	184,978	388,714	1,647,830	53,836	124,601	70,688	191,466	25,462	2,308	27,770	2,116,191	71	9,010	4,088	2,129,360
特別損失	1,243,961	732,934	442,453	1,359,953	1,270,569	5,049,870	589,217	423,503	1,266,838	922,082	109,229	37,534	146,763	8,398,273	71	9,010	4,088	8,411,442
純損益（繰入前）	△ 1,531,235	△ 1,965,876	9,332	△ 2,742,509	△ 2,258,224	△ 8,488,512	△ 2,388,074	△ 3,026,582	△ 2,608,861	△ 2,178,411	△ 1,266,282	△ 546,188	△ 1,812,470	△ 20,502,910	△ 772,665	△ 312,947	△ 154,168	△ 21,742,690
一般会計繰入金	2,896,914	1,167,379	1,366,527	1,135,302	1,695,435	8,261,557	1,596,808	2,360,494	919,031	1,259,595	510,423	52,736	563,159	14,960,644	772,665	312,947	154,168	16,200,424
経常損益（繰入後）	2,009,012	△ 314,745	1,593,984	△ 432,232	319,066	3,175,085	△ 255,885	△ 367,186	△ 493,680	△ 188,200	△ 672,092	△ 458,226	△ 1,130,318	739,816	0	0	0	739,816
純損益（繰入後）	1,365,679	△ 798,497	1,375,859	△ 1,607,207	△ 562,789	△ 226,955	△ 791,266	△ 666,088	△ 1,689,830	△ 918,816	△ 755,859	△ 493,452	△ 1,249,311	△ 5,542,266	0	0	0	△ 5,542,266
給与費比率	62.7	75.2	90.0	78.2	67.6	70.3	227.9	80.0	43.2	56.1	70.8	54.6	64.4	67.5				67.5
材料費比率	36.1	28.9	35.4	21.9	32.1	32.8	11.4	22.7	51.1	46.8	8.5	1.4	5.6	35.5				35.5
経費比率	16.1	17.8	25.6	30.5	19.5	19.5	41.7	21.1	11.9	13.6	121.1	75.4	102.9	19.3				20.3

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (1) 患者の受入れ促進等

○ 基本方向
設備やスタッフなど高度専門医療に係る機能を十分に活用するため、地域の医療機関との緊密な連携を進め、前方連携（紹介患者や救急患者の積極的な受入れ）・後方連携（地域の医療機関への逆紹介）の充実を図り、患者の受入れを促進する。

○ 取組内容

1 新規患者の受入れ促進
 (1) 高度専門・特殊医療の充実、医師の確保、地域医療連携の推進等により患者の受入れを促進する。
 (2) 地域の医療機関との連携を強化し、紹介患者の増加を図る。
 ① 地域の医療機関との合同症例検討会や医療技術向上研修会を拡充する。
 ② 医療機関ごとに紹介患者数の動向を把握し、院長等が直接地域の医療機関に患者紹介を働きかける。
 ③ 治療中・治療終了時に紹介元医療機関に、治療状況等の報告を行う。
 ④ 地域の医療機関を含めたICT（情報通信技術）化を図ることにより、医療情報の共有化を推進する。
 (3) 救急医療体制の充実を図り、救急患者の受入れを促進する。
 ① 医師、看護師等の救急医療体制を確保する。
 ② 救急隊と症例検討会や意見交換会を実施し、円滑な救急患者の受入れを行う。
 ③ ドクターカーやドクターヘリによる重症患者の受入れを強化する。
 (4) 地域の医療機関との連携を強化し、逆紹介の促進を図る。
 ① 地域連携クリニカルパスを進めることにより、地域医療連携の推進を図る。
 ② 地域医療連携室の機能を強化することにより、転退院に向けた患者相談の充実を図る。

2 効率的な病床運用
 (1) 電子カルテ等を活用した空床情報の一元管理により、病床の有効活用を図る。
 (2) 入院前検査センター機能の拡充により、病床の有効活用を図る。
 (3) 休日入院や入院時検査の外来シフト化の拡充により、病床の有効活用を図る。
 (4) 診療科別にきめ細かく患者の動向を踏まえることにより、病床の有効活用を図る。
 (5) 地域連携クリニカルパスを促進し、後方医療機関との連携を充実させることにより、病床の有効活用を図る。
 (6) 院内パスの適用率を向上させることにより、病床の有効活用を図る。
 (7) 地域の医療ニーズに対応した適正な稼働病床数・病床機能への見直しを進め、病床の効率的な運用を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																																																								
<p>〔目標〕 診療機能の充実を図るとともに、地域医療連携の推進等により患者の受入れを促進する。</p> <p>患者数の状況(10病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>入院</th> <th>外来</th> <th colspan="2">区分</th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">稼働病床数</td> <td>R元実績①</td> <td>3,480</td> <td>—</td> <td rowspan="6">1日あたり</td> <td>R元実績①</td> <td>2,823</td> <td>6,415</td> </tr> <tr> <td>R2当初計画②</td> <td>3,524</td> <td>—</td> <td>R2当初計画②</td> <td>2,977</td> <td>6,493</td> </tr> <tr> <td>R2最終予算③</td> <td>3,492</td> <td>—</td> <td>R2最終予算③</td> <td>2,421</td> <td>5,883</td> </tr> <tr> <td>R2実績④</td> <td>3,492</td> <td>—</td> <td>R2実績④</td> <td>2,369</td> <td>5,849</td> </tr> <tr> <td>対前年(④-①)</td> <td>12</td> <td>—</td> <td>対前年(④-①)</td> <td>△ 454</td> <td>△ 566</td> </tr> <tr> <td>対予算(④-③)</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>対予算(④-③)</td> <td>△ 52</td> <td>△ 34</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">延患者数</td> <td>R元実績①</td> <td>1,033,313</td> <td>1,539,704</td> <td rowspan="6">新規患者数</td> <td>R元実績①</td> <td>79,083</td> <td>121,847</td> </tr> <tr> <td>R2当初計画②</td> <td>1,086,474</td> <td>1,577,679</td> <td>R2当初計画②</td> <td>81,366</td> <td>121,241</td> </tr> <tr> <td>R2最終予算③</td> <td>883,647</td> <td>1,429,662</td> <td>R2最終予算③</td> <td>69,205</td> <td>107,829</td> </tr> <tr> <td>R2実績④</td> <td>864,800</td> <td>1,421,186</td> <td>R2実績④</td> <td>68,591</td> <td>101,436</td> </tr> <tr> <td>対前年(④-①)</td> <td>△ 168,513</td> <td>△ 118,518</td> <td>対前年(④-①)</td> <td>△ 10,492</td> <td>△ 20,411</td> </tr> <tr> <td>対予算(④-③)</td> <td>△ 18,847</td> <td>△ 8,476</td> <td>対予算(④-③)</td> <td>△ 614</td> <td>△ 6,393</td> </tr> </tbody> </table>	区分		入院	外来	区分		入院	外来	稼働病床数	R元実績①	3,480	—	1日あたり	R元実績①	2,823	6,415	R2当初計画②	3,524	—	R2当初計画②	2,977	6,493	R2最終予算③	3,492	—	R2最終予算③	2,421	5,883	R2実績④	3,492	—	R2実績④	2,369	5,849	対前年(④-①)	12	—	対前年(④-①)	△ 454	△ 566	対予算(④-③)	0	—	対予算(④-③)	△ 52	△ 34	延患者数	R元実績①	1,033,313	1,539,704	新規患者数	R元実績①	79,083	121,847	R2当初計画②	1,086,474	1,577,679	R2当初計画②	81,366	121,241	R2最終予算③	883,647	1,429,662	R2最終予算③	69,205	107,829	R2実績④	864,800	1,421,186	R2実績④	68,591	101,436	対前年(④-①)	△ 168,513	△ 118,518	対前年(④-①)	△ 10,492	△ 20,411	対予算(④-③)	△ 18,847	△ 8,476	対予算(④-③)	△ 614	△ 6,393	<p>診療機能の充実を図るとともに、地域医療連携の推進等を図ったものの、右記の理由により患者数は減少した。</p> <p>(単位:人)</p>	△	<p>各種取組みの着実な推進により、患者の受入れ促進に努めたものの、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う受診控え等により、患者数が減少した。</p>	<p>延患者数等(10病院)6月末現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td></td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>64.5</td> </tr> <tr> <td>延患者数</td> <td>204,871</td> </tr> <tr> <td>1日あたり</td> <td>2,251</td> </tr> <tr> <td>新規患者数</td> <td>16,267</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延患者数</td> <td>355,013</td> </tr> <tr> <td>1日あたり</td> <td>5,820</td> </tr> <tr> <td>新規患者数</td> <td>25,767</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 粒子線の新規患者数は、実患者数を記載</p>	区分	R3実績	入院		病床利用率	64.5	延患者数	204,871	1日あたり	2,251	新規患者数	16,267	外来		延患者数	355,013	1日あたり	5,820	新規患者数	25,767
区分		入院	外来	区分		入院	外来																																																																																																					
稼働病床数	R元実績①	3,480	—	1日あたり	R元実績①	2,823	6,415																																																																																																					
	R2当初計画②	3,524	—		R2当初計画②	2,977	6,493																																																																																																					
	R2最終予算③	3,492	—		R2最終予算③	2,421	5,883																																																																																																					
	R2実績④	3,492	—		R2実績④	2,369	5,849																																																																																																					
	対前年(④-①)	12	—		対前年(④-①)	△ 454	△ 566																																																																																																					
	対予算(④-③)	0	—		対予算(④-③)	△ 52	△ 34																																																																																																					
延患者数	R元実績①	1,033,313	1,539,704	新規患者数	R元実績①	79,083	121,847																																																																																																					
	R2当初計画②	1,086,474	1,577,679		R2当初計画②	81,366	121,241																																																																																																					
	R2最終予算③	883,647	1,429,662		R2最終予算③	69,205	107,829																																																																																																					
	R2実績④	864,800	1,421,186		R2実績④	68,591	101,436																																																																																																					
	対前年(④-①)	△ 168,513	△ 118,518		対前年(④-①)	△ 10,492	△ 20,411																																																																																																					
	対予算(④-③)	△ 18,847	△ 8,476		対予算(④-③)	△ 614	△ 6,393																																																																																																					
区分	R3実績																																																																																																											
入院																																																																																																												
病床利用率	64.5																																																																																																											
延患者数	204,871																																																																																																											
1日あたり	2,251																																																																																																											
新規患者数	16,267																																																																																																											
外来																																																																																																												
延患者数	355,013																																																																																																											
1日あたり	5,820																																																																																																											
新規患者数	25,767																																																																																																											

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (2) 診療機能に見合う収益の確保等

○ 基本方向
高度医療機器や手術室等の有効活用、医療の特質に応じた各種加算の取得、適正な診療報酬請求の推進、入院前検査センターの機能拡充やクリニカルパスの見直しにより平均在院日数の適正化を図り、診療機能に見合う収益を確保する。

○ 取組内容

1 診療機能に見合う収益の確保
(1) 建替整備による診療機能の充実、高度医療機器の計画的な整備等により診療内容の高度化を図る。
(2) 地域連携クリニカルパスを促進し、後送病院との連携・充実を図るとともに、院内においてもクリニカルパスの適用率を高めることにより、平均在院日数の適正化を図る。
(3) 入院、転退院に向けた外来段階での患者アセスメントの推進により、平均在院日数の適正化を図る。
(4) DPCにおける機能評価係数の向上及びコーディング精度の適正化を図る。
(5) DPC分析ソフトを活用し、継続的にクリニカルパスを見直すことにより、平均在院日数の適正化を図る。
(6) 診療情報管理士の資格取得を促進するとともに、全職種を対象に、診療報酬に関する研修会を開催することにより、診療機能にふさわしい各種加算の取得や指導管理の充実を図る。
(7) 病院横断的に組織した診療報酬対策本部において、診療報酬制度への適時的確な対応等の課題について取り組む。
(8) 医事委託業務の精緻化により、精度の高い医事事務を実施する。
(9) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に行う。

2 一般会計の適切な負担
総務省から毎年示される地方財政計画及び地方公営企業繰入金通知（繰入基準）により、救急医療対策費、看護師確保対策費などが不相当経費、また、特殊医療経費、高度医療経費などが困難経費とされており、これらに基づき、安定的かつ継続的に一般会計繰入金を確保する。
また、地方財政計画や繰入基準を踏まえた見直しを適時適切に行う。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																											
<p>〔目標〕 診療報酬対策本部による診療報酬制度への的確な対応及び施設基準の取得、診療機能の充実、高度医療機器の高稼働、手術件数の増加等により、診療機能に見合う収益の確保を図る。</p> <p>診療単価・平均在院日数等(10病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元決算①</th> <th>R2計画②</th> <th>R2最終予算③</th> <th>R2実績④</th> <th>対前年(④-①)</th> <th>対予算(④-③)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">診療単価(円)</td> <td>入院</td> <td>72,894</td> <td>74,031</td> <td>78,860</td> <td>79,914</td> <td>7,020</td> <td>1,054</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>21,701</td> <td>21,587</td> <td>22,655</td> <td>23,182</td> <td>1,481</td> <td>527</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>11.1</td> <td>11.5</td> <td>11.0</td> <td>10.9</td> <td>△ 0.2</td> <td>△ 0.1</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>48,797</td> <td>48,816</td> <td>42,823</td> <td>42,456</td> <td>△ 6,341</td> <td>△ 367</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平均在院日数は、こころ、粒子線を除く8病院</p>	区分	R元決算①	R2計画②	R2最終予算③	R2実績④	対前年(④-①)	対予算(④-③)	診療単価(円)	入院	72,894	74,031	78,860	79,914	7,020	1,054	外来	21,701	21,587	22,655	23,182	1,481	527	平均在院日数	11.1	11.5	11.0	10.9	△ 0.2	△ 0.1	手術件数	48,797	48,816	42,823	42,456	△ 6,341	△ 367	<p>診療報酬制度への的確な対応、平均在院日数の適正化、手術件数の増加等により診療機能に見合う収入の確保を図った。</p>	○	<p>認定試験受験予定者への働きかけ不足により、計画人数を下回った診療情報管理士資格の新規取得者数を除き、概ね計画どおりに実施した。</p>	<p>診療単価等(10病院)6月末現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">診療単価(円)</td> <td>入院</td> <td>84,516</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>23,726</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>11.0</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>10,235</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平均在院日数は、こころ、粒子線を除く8病院</p> <p>○平均在院日数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日数</td> <td>11.7</td> <td>11.5</td> <td>11.3</td> <td>11.1</td> <td>11.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ こころ、粒子線を除く</p>	区分	R3実績	診療単価(円)	入院	84,516	外来	23,726	平均在院日数	11.0	手術件数	10,235	年度	H27	H28	H29	H30	R元	日数	11.7	11.5	11.3	11.1	11.1
区分	R元決算①	R2計画②	R2最終予算③	R2実績④	対前年(④-①)	対予算(④-③)																																																									
診療単価(円)	入院	72,894	74,031	78,860	79,914	7,020	1,054																																																								
	外来	21,701	21,587	22,655	23,182	1,481	527																																																								
平均在院日数	11.1	11.5	11.0	10.9	△ 0.2	△ 0.1																																																									
手術件数	48,797	48,816	42,823	42,456	△ 6,341	△ 367																																																									
区分	R3実績																																																														
診療単価(円)	入院	84,516																																																													
	外来	23,726																																																													
平均在院日数	11.0																																																														
手術件数	10,235																																																														
年度	H27	H28	H29	H30	R元																																																										
日数	11.7	11.5	11.3	11.1	11.1																																																										
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 診療機能に見合う収益の確保</p> <p>(1) 建替整備、医療機器整備・更新による診療機能の充実 ・MRI(尼崎、こども、がん、リハ中)、CT(尼崎)、ガンマカメラ(姫路)等</p> <p>(2) クリニカルパスの適用推進による在院日数の適正化</p> <p>(3) 入院前検査センター機能拡充による在院日数の適正化</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 診療機能に見合う収益の確保</p> <p>(1) 建替整備、医療機器整備・更新による診療機能の充実 ・MRI(尼崎、こども、がん、リハ中)、CT(尼崎)、ガンマカメラ(姫路)等</p> <p>(2) クリニカルパスの適用推進による在院日数の適正化</p> <p>(3) 入院前検査センター機能拡充による在院日数の適正化</p>	○ ○ ○		<p>1 診療機能に見合う収益の確保</p> <p>(1) 医療機器整備・更新による診療機能の充実 令和3年度(予定) MRI(尼崎)、CT(加古川)、モニタリングシステム(淡路)、アンギオ(淡路)等</p> <p>(2) 平均在院日数(こころ、粒子線を除く8病院) 令和3年度見込 11.1日</p>																																																											

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）
(4) 院内診療報酬関連委員会等における機能評価係数向上・コーディング適正化等に向けた現状の把握及び取り組みの実施 (5) DPC分析ソフトを活用したクリニカルパスの見直しによる在院日数の適正化 (6) 診療情報管理士の育成 診療情報管理士資格の新規取得者：10名（R2計画） (7) 病院事業副管理者を本部長、各病院管理局長を本部員とした診療報酬対策本部における経営健全化方策の検討 (8) 精度の高い医事事務の実施 ・プロポーザル方式による医事委託業者の選定 ・医事事務にかかる研修会の実施 (9) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に実施 2 一般会計負担金 全て国基準及び県施策に伴うものであり、いわゆる赤字補てんとしての負担金はない。 なお、資本的収支においては、行革期間中に行ってきた一般会計繰入金金の減額調整（総額109億円（H23～H30））について、H30年度から5年間で一般会計と病院事業会計との貸借関係の整理と併せて計画的に精算を実施	(4) 院内診療報酬関連委員会等における機能評価係数向上・コーディング適正化等に向けた現状の把握及び取り組みの実施 (5) DPC分析ソフトを活用したクリニカルパスの見直しによる在院日数の適正化 (6) 診療情報管理士の育成 R2資格取得者：6名 (7) 病院事業副管理者を本部長、各病院管理局長を本部員とした診療報酬対策本部における経営健全化方策の検討 (8) 精度の高い医事事務の実施 (9) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に実施 2 一般会計負担金 地方公営企業法で定める不相当経費、困難経費を一般会計から負担金として繰入 ・収益的収支 16,200百万円 ・資本的収支 8,344百万円	○ ○ ▲ ○ ○ ○ ○	認定試験受験予定者への働きかけ不足	(4) 取組実績 ① 院内診療報酬関連委員会あるいは診療科別研修会等の開催 ② 診療科別研修会・カンファレンスを利用した診療報酬にかかる情報の共有 (6) 診療情報管理士育成状況（H23～） ・診療情報管理士資格取得者：38名（累積） ・養成中：5名 (7) 取組実績 令和2年度診療報酬対策本部会議 ワーキンググループ（WG）提案に基づく経営健全化方策の検討及び実施 第1回 令和2年6月4日（木） 第2回 令和2年11月5日（木） 第3回 令和3年3月11日（木） (8) 取組実績 ・夜間看護補助体制加算取得（西宮・淡路・がん・姫路） ・レセプト精度診断による報酬請求事務改善（西宮・がん・姫路） 2 一般会計負担金 地方公営企業法で定める不相当経費、困難経費を一般会計からの負担金として繰入れ

(単位:千円)

区分		主な内容	R元年度	R2年度	
収益的収支	不相当経費	看護師確保対策費	院内保育事業運営経費	177,809	179,240
		救急医療対策費	救急医療の確保に要する経費等	3,260,304	3,245,869
		保健衛生行政経費	相談調査事業運営経費等	54,728	53,489
		共済組合追加費用	恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費	895,429	844,265
		その他	児童手当に要する経費の一部等	213,193	214,516
	困難経費	高度医療経費	集中治療室運営損費等	5,363,911	5,366,644
		特殊医療経費	精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費等	3,335,324	3,564,490
		建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の利息の一定割合	821,133	785,947
		基礎年金拠出金	事業主負担相当額	1,762,490	1,845,686
	一般会計施策に伴うもの		丹波市立看護専門学校運営費等負担金等	94,362	100,278
		合計	15,978,683	16,200,424	
資本的収支	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の元金の一定割合	7,137,566	8,344,262	

①不相当経費： 地方公営企業法第17条の2第1項第1号に規定する、「その性質上、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない」経費（救急の医療を確保するために要する経費等）
 ②困難経費： 地方公営企業法第17条の2第1項第2号に規定する、「当該地方公営企業の性質上、能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる」経費（医療水準の向上を図るため必要な高度又は特殊な医療で採算をとることが困難な経費等）

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (3) その他の収益の確保

<p>○ 基本方向</p> <p>未収金については「県立病院未収金取扱要領」に基づき、全病院で統一的な発生防止及び徴収強化に取り組むことにより、新規発生率及び未収金総額の抑制を図る。</p> <p>使用料、手数料については、原価や他施設との均衡等を踏まえつつ、適切な受益者負担となるよう見直しを行う。</p> <p>資産の有効活用については、医師公舎・看護師宿舎は病院の建替整備に併せて廃止することとし、今後の必要戸数については、借上での対応を図る。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 未収金の縮減</p> <p>(1) 職員の管理意識の向上を図るため未収金管理研修を実施するとともに、概算支払額の事前通知、退院日請求の促進、医療費に関する各種制度活用（高額療養費制度、出産育児一時金の代理受領等）の周知徹底を図ること等により発生防止に努める。</p> <p>(2) 新たな滞納者を発生させないため、納付期限経過直後に、督促・催告の実施、分割納付の誓約取付、未収金徴収嘱託員等による訪問徴収等、徴収対策を集中的に行い、未収金の早期回収に取り組む。</p> <p>(3) 滞納後一定期間を経過したものについては、連帯保証人に請求するとともに、回収の見込みが立たないものについては、弁護士法人へ徴収委託し、必要に応じて法的措置を講じるなど徴収強化に取り組む。</p> <p>2 使用料、手数料等の見直し</p> <p>(1) 使用料、手数料の自主料金については、適時適切に見直しを行う。</p> <p>(2) 届出によって実施が可能な先進医療については、各病院の診療機能に応じて適時適切に料金化する。</p> <p>(3) 民間事業者による病院施設の運営（売店、食堂、自動販売機等）にあたっては、プロポーザル方式の導入により、適正な使用料を確保するとともに、患者の利便性の向上を図る。</p> <p>3 資産の有効活用</p> <p>(1) 資産の有効活用については、医師公舎・看護師宿舎は病院の建替整備に併せて廃止する。</p> <p>(2) 医師公舎・看護師宿舎については借上を基本とし、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択する。</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																																				
<p>〔目標〕</p> <p>未収金の発生防止と徴収の強化、使用料・手数料の適切な見直しを図り、引き続きその他収入の確保に努める。</p> <p>また、未利用施設については、県有財産等活用推進会議の方針等に従い、売却等を進める。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 「県立病院未収金取扱要領」に基づいた取り組みの推進</p> <p>(1) 未収金の発生防止による新規発生率の抑制</p>	<p>未収金の発生防止と徴収の強化、使用料・手数料の適切な見直しを図り、引き続きその他収入の確保に努めた。</p> <p>また、未利用施設については、県有財産等活用推進会議の方針等に従い、売却等を進めた。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 「県立病院未収金取扱要領」に基づいた取り組みの推進</p> <p>(1) 医業収益の伸びに伴う金額増はあるものの、発生率は昨年度並に抑制</p>	○	未収金の抑制や使用料・手数料の適切な見直し等、その他の収益の確保に資する取組を着実に実施した。	<p>1 未収金の縮減</p> <p>(1) 未収金の発生防止による新規発生率の抑制</p> <p>H20:141,257千円（発生率：0.20%）</p> <p>R1：80,038千円（発生率：0.07%）</p> <p>R2：84,880千円（発生率：0.08%）</p>																																																																																				
<p>過年度未収金（決算時点） (単位：千円、件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>未収金総額</th> <th>件数</th> <th>新規発生未収金 A</th> <th>医業収益 B</th> <th>発生率 A/B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H20 年度決算</td><td>318,689</td><td>4,740</td><td>141,257</td><td>71,285,298</td><td>0.20%</td></tr> <tr><td>H21 年度決算</td><td>297,506</td><td>4,027</td><td>99,118</td><td>70,864,921</td><td>0.14%</td></tr> <tr><td>H22 年度決算</td><td>266,965</td><td>3,382</td><td>83,658</td><td>73,673,335</td><td>0.11%</td></tr> <tr><td>H23 年度決算</td><td>245,519</td><td>3,384</td><td>82,252</td><td>80,362,312</td><td>0.10%</td></tr> <tr><td>H24 年度決算</td><td>225,482</td><td>3,078</td><td>73,814</td><td>83,336,271</td><td>0.09%</td></tr> <tr><td>H25 年度決算</td><td>216,544</td><td>2,998</td><td>81,860</td><td>87,465,286</td><td>0.09%</td></tr> <tr><td>H26 年度決算</td><td>168,179</td><td>3,007</td><td>47,403</td><td>87,862,779</td><td>0.05%</td></tr> <tr><td>H27 年度決算</td><td>163,589</td><td>2,331</td><td>50,575</td><td>90,929,334</td><td>0.06%</td></tr> <tr><td>H28 年度決算</td><td>165,230</td><td>2,639</td><td>60,531</td><td>93,766,921</td><td>0.06%</td></tr> <tr><td>H29 年度決算</td><td>204,063</td><td>2,308</td><td>109,534</td><td>101,453,893</td><td>0.11%</td></tr> <tr><td>H30 年度決算</td><td>151,539</td><td>1,603</td><td>73,386</td><td>106,669,907</td><td>0.07%</td></tr> <tr><td>R 元年度決算</td><td>150,562</td><td>1,598</td><td>80,038</td><td>108,415,472</td><td>0.07%</td></tr> <tr><td>R2 年度決算</td><td>172,125</td><td>1,979</td><td>84,880</td><td>111,480,504</td><td>0.08%</td></tr> </tbody> </table> <p>※H20 年度：新規発生未収金のピーク</p>					区分	未収金総額	件数	新規発生未収金 A	医業収益 B	発生率 A/B	H20 年度決算	318,689	4,740	141,257	71,285,298	0.20%	H21 年度決算	297,506	4,027	99,118	70,864,921	0.14%	H22 年度決算	266,965	3,382	83,658	73,673,335	0.11%	H23 年度決算	245,519	3,384	82,252	80,362,312	0.10%	H24 年度決算	225,482	3,078	73,814	83,336,271	0.09%	H25 年度決算	216,544	2,998	81,860	87,465,286	0.09%	H26 年度決算	168,179	3,007	47,403	87,862,779	0.05%	H27 年度決算	163,589	2,331	50,575	90,929,334	0.06%	H28 年度決算	165,230	2,639	60,531	93,766,921	0.06%	H29 年度決算	204,063	2,308	109,534	101,453,893	0.11%	H30 年度決算	151,539	1,603	73,386	106,669,907	0.07%	R 元年度決算	150,562	1,598	80,038	108,415,472	0.07%	R2 年度決算	172,125	1,979	84,880	111,480,504	0.08%
区分	未収金総額	件数	新規発生未収金 A	医業収益 B	発生率 A/B																																																																																			
H20 年度決算	318,689	4,740	141,257	71,285,298	0.20%																																																																																			
H21 年度決算	297,506	4,027	99,118	70,864,921	0.14%																																																																																			
H22 年度決算	266,965	3,382	83,658	73,673,335	0.11%																																																																																			
H23 年度決算	245,519	3,384	82,252	80,362,312	0.10%																																																																																			
H24 年度決算	225,482	3,078	73,814	83,336,271	0.09%																																																																																			
H25 年度決算	216,544	2,998	81,860	87,465,286	0.09%																																																																																			
H26 年度決算	168,179	3,007	47,403	87,862,779	0.05%																																																																																			
H27 年度決算	163,589	2,331	50,575	90,929,334	0.06%																																																																																			
H28 年度決算	165,230	2,639	60,531	93,766,921	0.06%																																																																																			
H29 年度決算	204,063	2,308	109,534	101,453,893	0.11%																																																																																			
H30 年度決算	151,539	1,603	73,386	106,669,907	0.07%																																																																																			
R 元年度決算	150,562	1,598	80,038	108,415,472	0.07%																																																																																			
R2 年度決算	172,125	1,979	84,880	111,480,504	0.08%																																																																																			

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																																													
<p>(2) 新たな未収金滞納者を発生させないよう未収金の早期回収を推進 ① 発生後の早期督促、分割納付の制約取付等による新たな滞納の防止の実施 ② 納付交渉に応じない者に対する弁護士法人への徴収委託の推進</p> <p>(3) 弁護士法人による回収の促進（回収率の向上）を図るとともに悪質な滞納者については法的措置を実施</p> <p>2 使用料、手数料等の見直し (1) 消費税増税に対応した料金の設定（特別室料、文書料） 消費税増税に合わせた診療報酬改定に対応し、検診料等所要の料金について適正化を図る。</p> <p>(2) 必要に応じた各病院の診療機能に応じた先進医療等の料金化</p> <p>(3) プロポーザル方式による民間事業者の提案を元にした病院施設（売店等）の運営により、患者の利便性の向上を図るとともに、使用料及び売上加算を徴収するなど収益の増加に努める。</p>	<p>(2) 新たな未収金滞納者を発生させないよう未収金の早期回収を推進 ① 発生後の早期督促、分割納付の制約取付等による新たな滞納の防止の実施 ② 納付交渉に応じない者に対する弁護士法人への徴収委託の推進</p> <table border="1" data-bbox="854 436 1620 718"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">委託総額</th> <th colspan="2">回収総額</th> <th>回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>894 件</td> <td>111,972 千円</td> <td>298 件</td> <td>32,201 千円</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>1,589 件</td> <td>168,327 千円</td> <td>664 件</td> <td>56,535 千円</td> <td>33.6%</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>1,969 件</td> <td>193,504 千円</td> <td>1,160 件</td> <td>71,098 千円</td> <td>36.7%</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>2,357 件</td> <td>227,482 千円</td> <td>1,365 件</td> <td>87,222 千円</td> <td>38.3%</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>2,801 件</td> <td>267,823 千円</td> <td>1,583 件</td> <td>105,644 千円</td> <td>39.4%</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>3,140 件</td> <td>306,505 千円</td> <td>1,744 件</td> <td>117,975 千円</td> <td>38.5%</td> </tr> <tr> <td>元</td> <td>3,599 件</td> <td>333,652 千円</td> <td>2,162 件</td> <td>132,416 千円</td> <td>39.7%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4,024 件</td> <td>356,944 千円</td> <td>2,485 件</td> <td>142,704 千円</td> <td>40.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 弁護士法人による回収の促進（回収率の向上）を図るとともに悪質な滞納者については法的措置を実施 H24年：5名、H25年：5名、H26年：5名、 H27年：5名、H28年：5名、H29年：6名 H30年：5名、R元年：5名、R2年：5名（計46名）</p> <p>2 使用料、手数料等の見直し (1) 消費税増税に対応した料金の設定（特別室料、文書料） 選定療養費義務化対象医療機関が一般病床200床以上の地域医療支援病院に拡大されたことに伴う対象病院の追加 [従前] 尼崎、西宮、淡路 [追加] 加古川、丹波、こども、姫路(R2.7.1～)</p> <p>(2) 必要に応じた各病院の診療機能に応じた先進医療等の料金化</p> <table border="1" data-bbox="884 1268 1590 1465"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>料金名（料金額）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">先進医療</td> <td>NCCオンコパネルを使用したマルチプレックス遺伝子パネル検査(514,000円) ※R2.4.1設定</td> </tr> <tr> <td>国内完結型マルチプレックスがん遺伝子パネル検査(600,000円) ※R3.1.1設定</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) プロポーザル方式による民間事業者の提案を元にした病院施設（売店等）の運営により、患者の利便性の向上を図るとともに、使用料及び売上加算を徴収。</p>	年度	委託総額		回収総額		回収率	25	894 件	111,972 千円	298 件	32,201 千円	28.8%	26	1,589 件	168,327 千円	664 件	56,535 千円	33.6%	27	1,969 件	193,504 千円	1,160 件	71,098 千円	36.7%	28	2,357 件	227,482 千円	1,365 件	87,222 千円	38.3%	29	2,801 件	267,823 千円	1,583 件	105,644 千円	39.4%	30	3,140 件	306,505 千円	1,744 件	117,975 千円	38.5%	元	3,599 件	333,652 千円	2,162 件	132,416 千円	39.7%	2	4,024 件	356,944 千円	2,485 件	142,704 千円	40.0%	区分	料金名（料金額）	先進医療	NCCオンコパネルを使用したマルチプレックス遺伝子パネル検査(514,000円) ※R2.4.1設定	国内完結型マルチプレックスがん遺伝子パネル検査(600,000円) ※R3.1.1設定	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>		<p>参考：現況（令和3年7月の状況等）</p> <p>2 使用料、手数料等の見直し (1) 使用料、手数料等自主料金の見直し ・実習料金</p> <table border="1" data-bbox="2131 1050 2837 1150"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>改定前</th> <th>改定後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習生に係る受託単価</td> <td>1人1時間 120円(税抜)</td> <td>1人1日 1,500円(税抜)</td> </tr> </tbody> </table> <p>R3年4月1日適用</p> <p>(2) 先進医療等の料金化</p> <table border="1" data-bbox="2131 1251 2837 1352"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>料金名（料金額）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>先進医療</td> <td>周術期デュルバルマブ静脈内投与療法 (111,000円) ※R3.7.1設定</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 民間業者による病院施設運営状況</p> <table border="1" data-bbox="2131 1415 2867 1852"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>プロポーザル実施対象（R3.4） ※業者が提示した率で売上加算使用料を徴収しているもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>リハ中央</td> <td>売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>リハ西播磨</td> <td>床頭台システム</td> </tr> </tbody> </table>	区分	改定前	改定後	実習生に係る受託単価	1人1時間 120円(税抜)	1人1日 1,500円(税抜)	区分	料金名（料金額）	先進医療	周術期デュルバルマブ静脈内投与療法 (111,000円) ※R3.7.1設定	施設名	プロポーザル実施対象（R3.4） ※業者が提示した率で売上加算使用料を徴収しているもの	尼崎	売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ	西宮	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	加古川	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	丹波	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	淡路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	こころ	売店、自動販売機	こども	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	がん	売店、自動販売機	姫路	売店、自動販売機、床頭台システム	リハ中央	売店、自動販売機、床頭台システム	リハ西播磨	床頭台システム
年度	委託総額		回収総額		回収率																																																																																												
25	894 件	111,972 千円	298 件	32,201 千円	28.8%																																																																																												
26	1,589 件	168,327 千円	664 件	56,535 千円	33.6%																																																																																												
27	1,969 件	193,504 千円	1,160 件	71,098 千円	36.7%																																																																																												
28	2,357 件	227,482 千円	1,365 件	87,222 千円	38.3%																																																																																												
29	2,801 件	267,823 千円	1,583 件	105,644 千円	39.4%																																																																																												
30	3,140 件	306,505 千円	1,744 件	117,975 千円	38.5%																																																																																												
元	3,599 件	333,652 千円	2,162 件	132,416 千円	39.7%																																																																																												
2	4,024 件	356,944 千円	2,485 件	142,704 千円	40.0%																																																																																												
区分	料金名（料金額）																																																																																																
先進医療	NCCオンコパネルを使用したマルチプレックス遺伝子パネル検査(514,000円) ※R2.4.1設定																																																																																																
	国内完結型マルチプレックスがん遺伝子パネル検査(600,000円) ※R3.1.1設定																																																																																																
区分	改定前	改定後																																																																																															
実習生に係る受託単価	1人1時間 120円(税抜)	1人1日 1,500円(税抜)																																																																																															
区分	料金名（料金額）																																																																																																
先進医療	周術期デュルバルマブ静脈内投与療法 (111,000円) ※R3.7.1設定																																																																																																
施設名	プロポーザル実施対象（R3.4） ※業者が提示した率で売上加算使用料を徴収しているもの																																																																																																
尼崎	売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ																																																																																																
西宮	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																
加古川	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																
丹波	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																
淡路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																
こころ	売店、自動販売機																																																																																																
こども	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																
がん	売店、自動販売機																																																																																																
姫路	売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																
リハ中央	売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																
リハ西播磨	床頭台システム																																																																																																

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																			
<p>3 資産の有効活用 (1) 旧柏原病院の医師公舎は新病院への移転に併せて廃止 (2) 医師公舎・看護師宿舎について、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択</p>	<p>3 資産の有効活用 (1) 旧柏原病院の医師公舎は新病院への移転に併せて廃止 (2) 医師公舎・看護師宿舎について、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択</p>	<p>○ ○</p>		<p>3 資産の有効活用 (1) 県有公舎、宿舎の利用状況（R3.6）</p> <table border="1" data-bbox="2270 304 2878 441"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>種別</th> <th>戸数</th> <th>入居</th> <th>空室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">姫路</td> <td>医師公舎</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>看護師宿舎</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>21</td> <td>17</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	種別	戸数	入居	空室	姫路	医師公舎	5	2	3	看護師宿舎	16	15	1	計		21	17	4
施設名	種別	戸数	入居	空室																			
姫路	医師公舎	5	2	3																			
	看護師宿舎	16	15	1																			
計		21	17	4																			

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目3 費用の抑制

○ 基本方向	持続可能な経営の確保に向け、診療機能に見合う収益を確保するとともに、費用の抑制に取り組み、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率の改善に努める。
○ 取組内容	
1 給与費比率の改善	(1) 業務の委託化や効率化を検討し、給与費の適正化を進める。 (2) 診療報酬制度や診療機能の高度化に対応した職員の適正配置による収益の確保を図り、給与費比率の抑制を推進する。
2 材料費比率の改善	(1) 診療材料費の抑制 ① 診療材料については、診療材料委員会等において、性能及び価格等を検証のうえ、品目を選定する。 ② 診療材料の購入に当たっては、診療材料コンサルティング業者のノウハウを活用しながら、必要に応じてメーカーを対象とした交渉を行う。 ③ 同性能の診療材料については、安価材料への統一化を図ったうえで、一括購入に取り組む。 ④ 診療材料の使用に当たっては、在庫管理を徹底するとともに、使用数量の適正化を図る。 (2) 薬品費の抑制 ① 医薬品については、購入方式の多様化を図ることにより、より低廉な価格での購入に努める。 ② 薬剤師、事務職員等のチームにより、卸業者はもとより、必要に応じてメーカーを対象とした交渉に取り組む。 ③ 後発医薬品については、供給の安定性等を踏まえたうえで、使用拡大に努める。 ④ バイオ後続品については、有効性、安全性・安定供給等を踏まえたうえで、使用拡大に努める。 ⑤ 同種同効品を整理し、採用品目数の縮減を図ることにより、使用効率の向上を促進する。 ⑥ 有効性、安全性、経済性を踏まえた上で、医薬品の院内使用指針（フォーミュラリー）の導入を検討する。
3 経費比率の改善	(1) 施設管理等の業務委託については、引き続き委託範囲や実施頻度等を見直すことにより、委託費の抑制を図る。 (2) 医療機器保守契約の一括契約化の推進、医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切替等に取り組むことにより、経費を抑制する。 (3) 施設・設備を計画的に改修し、投資の効率化を図ることにより、修繕費を抑制する。 (4) 施設改修時に省エネルギー対策を実施することにより、光熱水費を抑制する。 (5) 効率的な業務遂行や経費節減により、一般事務費を抑制する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）
〔目標〕 診療機能に見合う収益を確保するとともに、費用の抑制に取り組み、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率の改善に努める。 (10 病院) ・給与費比率 R1 年度決見 58.4%→R2 年度計画 57.9% ・材料費比率 R1 年度決見 33.8%→R2 年度計画 33.4% ・経費比率 R1 年度決見 17.2%→R2 年度計画 17.1%	費用の抑制に努めたものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率は悪化した。 (10 病院) ・給与費比率 R1 年度実績 60.1%→R2 年度実績 67.5% ・材料費比率 R1 年度実績 34.4%→R2 年度実績 35.5% ・経費比率 R1 年度実績 17.2%→R2 年度実績 19.3%	△	各種取組みの着実な推進により、費用の抑制に努めたものの、以下の理由により各種比率が悪化した。 ・丹波医療センターの稼働病床の増など診療機能拡充に伴う医師・看護師等の増員、新型コロナウイルス感染症の影響等により、医業収益に対する給与費比率が悪化 ・高額な抗がん剤の増加、新型コロナウイルス感染症の影響等により、医業収益に対する材料費比率が悪化 ・丹波医療センターの通年化等による増、新型コロナウイルス感染症の影響等により、医業収益に対する経費比率が悪化	
〔取組項目〕 1 給与費比率の改善 (1) 業務の委託化や効率化を引き続き検討し、給与費の適性化を推進 (2) 診療報酬基準の改定等に応じた職員の適正配置による収益の確保 2 材料費比率の改善 (1) 診療材料 ① 診療材料委員会等において性能及び価格等を検証のうえ品目を選定 材料選択の際、各病院に設置した診療材料委員会において価格・同効品を含めた審査を実施	〔取組項目〕 1 給与費比率の改善 (1) 業務の委託化や効率化を引き続き検討し、給与費の適性化を推進したが、給与費が増加 (2) 診療報酬基準の改定等に応じた職員の適正配置による収益の確保 ・臨床工学業務の体制整備（淡路：ME+3）など、施設基準の新たな取得に向け体制を拡充 2 材料費比率の改善 (1) 診療材料 ① 診療材料委員会等において性能及び価格等を検証のうえ品目を選定	△ ○ ○	丹波医療センターの稼働病床の増など診療機能拡充に伴う医師・看護師等の増員、新型コロナウイルス感染症対応特殊勤務手当の増等	1 給与費比率の改善 診療機能の高度化等に対応するため、増員配置を行ったものに関して、費用対効果の検証を実施 2 材料費比率の改善 (1) 診療材料 ① 診療材料委員会等において性能及び価格等を検証のうえ品目を選定

IV 安定した医療提供体制の確立

項目1 効果的・効率的な組織・人員体制の整備

○ 基本方向	法令、診療報酬制度等に定められている配置基準を基本に、病院事業を取り巻く環境の変化に迅速かつ機動的に対応するため、医療機能の高度化・専門分化、医療サービスの水準の維持・向上、新病院の機能充実等を図る観点から、課題に応じた組織の見直しや職員の適正配置を行う。
○ 取組内容	1 医療機能の高度化・専門分化、医療ニーズの多様化、診療報酬の改定等に迅速、的確かつ柔軟に対応できる組織の整備や職員の適正配置、業務執行方法等の見直しによる効率的な人員体制の整備を行う。 2 新病院の開設にあたり、病院機能が十分発揮できるよう、複数の診療科、多職種の協働による専門センター制等を推進するなど、効果的・効率的な組織の整備や、病院機能が十分発揮できるよう人員体制の整備を行う。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																								
<p>〔目標〕</p> <p>病院事業を取り巻く環境の変化や診療報酬基準の改定、診療機能の高度化等に迅速かつ的確に対応し、県民に良質で安心な医療を効果的、効率的に提供していくため、組織・職制の見直しと人員の適正配置を行う。</p>	<p>病院事業を取り巻く環境の変化や診療報酬基準の改定、診療機能の高度化等に迅速かつ的確に対応し、県民に良質で安心な医療を効果的、効率的に提供していくため、組織・職制の見直しと人員の適正配置を行った。</p>	○	効果的・効率的な組織・人員体制の整備を着実に実施した。																																																																									
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 医療機能高度化等に対応した組織及び人員体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機能の高度化や診療報酬制度の改定など、病院事業を取り巻く環境の変化に迅速かつ機動的に対応し、直面する課題に応じた適切な組織・職制の見直しと人員体制の整備を実施（HCUの増床に伴う増員等の実施、こども病院稼働病床数増加等に伴う体制整備等） <p>2 新病院開設に対応した組織及び人員体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 新病院の建替整備が続く中、新病院の体制整備にあたっては、病院運営の観点を踏まえつつ、新病院で提供する診療機能が十分発揮できるよう、効果的・効率的な組織・職制の見直しと人員体制の整備を推進（丹波医療センターの段階的オープンや、はりま姫路総合医療センター（仮称）の開設準備に向けた対応） 	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 医療機能高度化等に対応した組織及び人員体制の整備</p> <p>[R2.4 組織改正]</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染対策部の設置（各病院） 医療安全・医療事故防止等を所掌する副課長の設置（病院局企画課） <p>[R2.4 人員体制の整備]</p> <ul style="list-style-type: none"> 集中系、救命救急系病床の見直し（尼崎：看護▲28） 稼働病床の増床（こども：看護+12） HCUの増床（姫路：看護+8） <p>2 新病院開設に対応した組織及び人員体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 丹波医療センター急性期病棟オープンに伴う増員（R2.4）（看護+25、放射+1、理学+2） 	○		<p>【参考：人員体制の整備状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度専門医療や地域医療連携の充実等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置数</td> <td>+144</td> <td>+32</td> <td>+61</td> <td>+81</td> <td>+29</td> <td>+47</td> <td>+40</td> <td>+48</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>+144</td> <td>+176</td> <td>+237</td> <td>+318</td> <td>+347</td> <td>+394</td> <td>+434</td> <td>+482</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	配置数	+144	+32	+61	+81	+29	+47	+40	+48	累計	+144	+176	+237	+318	+347	+394	+434	+482																																													
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																																				
配置数	+144	+32	+61	+81	+29	+47	+40	+48																																																																				
累計	+144	+176	+237	+318	+347	+394	+434	+482																																																																				
		○		<p>・新病院整備に伴う体制整備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淡路</td> <td colspan="8">(H25.5開設)</td> </tr> <tr> <td>尼崎</td> <td>+32</td> <td>+322</td> <td colspan="6">(H27.7開設)</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>-</td> <td>+1</td> <td>+74</td> <td colspan="5">(H28.5開設)</td> </tr> <tr> <td>陽子線</td> <td>+1</td> <td>+8</td> <td>+4</td> <td>+20</td> <td colspan="4">(H29.12開設)</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>+1</td> <td>-</td> <td>+109 (R1.7開設)</td> <td>+29</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>+3</td> <td>+6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>+33</td> <td>+331</td> <td>+78</td> <td>+21</td> <td>-</td> <td>+112</td> <td>+35</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	淡路	(H25.5開設)								尼崎	+32	+322	(H27.7開設)						こども	-	+1	+74	(H28.5開設)					陽子線	+1	+8	+4	+20	(H29.12開設)				丹波	-	-	-	+1	-	+109 (R1.7開設)	+29	-	姫路	-	-	-	-	-	+3	+6	-	合計	+33	+331	+78	+21	-	+112	+35	-
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																																				
淡路	(H25.5開設)																																																																											
尼崎	+32	+322	(H27.7開設)																																																																									
こども	-	+1	+74	(H28.5開設)																																																																								
陽子線	+1	+8	+4	+20	(H29.12開設)																																																																							
丹波	-	-	-	+1	-	+109 (R1.7開設)	+29	-																																																																				
姫路	-	-	-	-	-	+3	+6	-																																																																				
合計	+33	+331	+78	+21	-	+112	+35	-																																																																				

IV 安定した医療提供体制の確立

項目2 医師確保対策の推進

○ 基本方向	地域や診療科における医師の不足・偏在を解消するため、独自の医師確保対策を推進するとともに、県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援を実施するなど、地域医療の充実にも取り組んでいく。
○ 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学医局からの医師確保に向けて、関係大学との連携強化を図る。 2 県立病院のスケールメリットを活かした臨床研修制度や専攻医制度の実施、新専門医制度に対応した研修プログラムの提供等の研修基盤の充実により、若手医師の確保・育成を図る。 3 指導医資格の取得支援等により、指導医の確保・育成を図る。 4 丹波医療センターの教育・研修機能の充実や医師修学資金制度の実施、麻酔科・救急科プログラム等の効果的な運用等により、地域医療を担う医師や特定診療科の医師確保を図る。 5 県養成医師に対して、義務年限終了後も含め、県立病院を活用したキャリア支援を実施する。 6 高度先進医療設備・機器の新規導入や院内施設の整備、医療秘書の設置による業務の負担軽減等、医師にとって魅力ある執務環境の整備を進める。 7 県立病院に勤務する医師の資質向上や士気高揚を図るため、海外学会研究発表派遣事業の活用を促進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）
<p>〔目標〕</p> <p>必要な医師総数の確保や、地域偏在・診療科偏在の解消に向け総合的な医師確保対策を推進する。</p>	<p>必要な医師総数の確保や、地域偏在・診療科偏在の解消に向け総合的な医師確保対策を推進した。</p>	○	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった医師の海外学会研究発表支援を除き、概ね計画どおりに実施した。</p>	
<p>〔取組項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 臨床研修制度の実施 60名の定員（予定）を公募により充足 2 専攻医制度の実施及び新専門医制度への対応 基幹施設として魅力ある研修プログラムを策定するとともに、連携施設として基幹施設と十分に連携し、専攻医を確保 3 指導医資格の取得支援 指導医資格取得に要する経費（受験料・手数料・認定料等）を補助 4 医師修学資金制度の実施 5 地域医療循環型人材育成プログラムの実施 丹波医療センターの医師確保のため、神戸大学から中堅医師10名と非常勤指導医3名以上の派遣を受け、専攻医等を含めた若手医師の育成を図るプログラムを実施 6 麻酔科専門研修プログラムの実施 研修参加医師数：R2.4 14名→R3.4 17名 7 救急科研修プログラムの実施 研修参加医師数：R2.4 24名→R3.4 30名 8 県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援の実施 県養成医師数：R2.4 107名（うち義務年終了予定の後期派遣2年目医師6名） 9 高度先進医療設備・機器の導入【P47, 48再掲】 10 医療秘書の効果的な配置 11 医師の海外学会での研究発表に対する支援 海外発表に要する旅費・学会参加費等を補助 	<p>〔取組項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 臨床研修制度の実施 臨床研修医の採用（R2.4採用61名 総数119名） 2 専攻医制度の実施及び新専門医制度への対応 専攻医採用（R2.4採用62名 総数328名） 3 指導医資格の取得支援 取得経費を補助（R2:124名） 4 医師修学資金制度の実施(R2.4) (1) 指定診療科枠 現貸与者数（返還猶予含む）：26名 (2) 指定病院枠 現貸与者数（返還猶予含む）：16名 (3) 中・西播磨枠 現貸与者数：38名 5 地域医療循環型人材育成プログラムの実施 H30～R2年度の3年間継続実施 6 麻酔科専門研修プログラムの実施 研修参加医師数（R2.4：14名） 7 救急科研修プログラムの実施 研修参加医師数（R2.4：24名） 8 県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援の実施 キャリア支援医師数（R2：1名） 9 高度先進医療設備・機器の導入【P47, 48再掲】 10 医療秘書の効果的な配置 11 医師の海外学会での研究発表に対する支援 	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>▲</p>	<p>【コ】感染状況を考慮し事業を中止</p>	<p>○ 医師数の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正規医師 516人(H19.4) →831人(R3.4) ・専攻医 138人(H19.4) →343人(R3.4) <p>1 臨床研修医の採用状況（R3.4） 採用59名 総数名120名</p> <p>2 新専門医制度研修プログラムにおける研修開始 専攻医の採用状況（R3.4） 採用74名 総数343名</p> <p>4 医師修学資金貸与実績(R3.4) (1) 指定診療科枠 現貸与者数（返還猶予含む）：24名 (2) 指定病院枠 現貸与者数（返還猶予含む）：16名 (3) 中・西播磨枠 現貸与者数：43名 R3新規貸与決定5名（中・西播磨枠）を含む</p> <p>5 地域医療循環型人材育成プログラムの実施 R3～R5年度の3年間継続実施</p> <p>6 麻酔科専門研修プログラム現参加者数(R3.4:17名)</p> <p>7 救急科研修プログラム現参加者数(R3.4:30名)</p> <p>8 県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援の実施 県養成医師数：R3.4 117名（うち義務年終了予定の後期派遣2年目医師5名）</p> <p>10 医療秘書の配置（R3.7：313名）</p> <p>11 医師の海外学会での研究発表支援（R2） ※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ事業を中止</p>

IV 安定した医療提供体制の確立

項目3 看護師確保対策の推進

○ 基本方向	県立病院の建替整備や診療報酬の施設基準等に応じた看護体制を整備するため、多様な看護師確保対策を推進する。
○ 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 受験生にとって受験しやすい環境整備のため、採用試験の実施方法の見直しを図る。 2 看護師・看護学生に対して、県立病院単独の合同説明会等を実施し、県立病院で勤務する魅力のPRを一層推進する。 3 看護師修学資金制度を活用するとともに、地元学生等への説明会を実施するなど、県立病院の看護師の地域偏在に対応する。 4 認定看護師等の養成に向けた派遣研修制度の活用により、キャリア支援の充実を図る。 5 看護補助者の効果的な配置等により、看護師の業務負担の軽減を図る。 6 多様な勤務形態の整備や育児支援制度の充実・利用促進など、魅力ある職場環境づくりを更に推進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																																																
<p>〔目標〕 人材の確保・育成を図るための取組みを積極的に推進する。</p>	<p>人材の確保・育成を図るための取組みを積極的に推進した。</p>	○	<p>看護師確保対策を着実に実施した。</p>																																																																																																	
<p>〔取組項目〕 1 看護師の需給状況を考慮した採用試験の実施 （試験会場：神戸、姫路、岡山、徳島、福岡）</p>	<p>〔取組項目〕 1 看護師の需給状況を考慮した採用試験の実施 （試験会場：神戸、姫路、岡山、徳島、福岡） ○県立病院における看護師の採用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 \ 年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受験者数 (A)</td> <td>766</td> <td>839</td> <td>863</td> <td>874</td> <td>988</td> <td>909</td> <td>1016</td> </tr> <tr> <td>合格者数 (B)</td> <td>598</td> <td>535</td> <td>293</td> <td>348</td> <td>340</td> <td>353</td> <td>419</td> </tr> <tr> <td>受験倍率 (A/B)</td> <td>1.28</td> <td>1.57</td> <td>2.95</td> <td>2.51</td> <td>2.91</td> <td>2.58</td> <td>2.42</td> </tr> <tr> <td>採用者数</td> <td>547</td> <td>475</td> <td>265</td> <td>329</td> <td>320</td> <td>321</td> <td>377</td> </tr> </tbody> </table>	区分 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	受験者数 (A)	766	839	863	874	988	909	1016	合格者数 (B)	598	535	293	348	340	353	419	受験倍率 (A/B)	1.28	1.57	2.95	2.51	2.91	2.58	2.42	採用者数	547	475	265	329	320	321	377	○		<p>1 採用試験の実施状況 ○実施方法の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方試験会場（神戸除く）の設置状況 H24～：岡山、徳島、福岡 H25～：姫路、岡山、徳島、福岡、福井、沖縄 H27～：姫路、広島、徳島、福岡、福井、沖縄 H29～：姫路、広島、徳島、福岡 R02～：姫路、岡山、徳島、福岡 ・受験可能年齢の引き上げ H23～：40歳→45歳 ・実施回数の増 H23～：1回→3回 H25～：3回→4回 R02：5回（コロナの感染状況に伴う受験機会の確保） ・実施日の増 R1～：1回目採用試験の受験者増加に伴い、2日に分けて実施 																																																								
区分 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																													
受験者数 (A)	766	839	863	874	988	909	1016																																																																																													
合格者数 (B)	598	535	293	348	340	353	419																																																																																													
受験倍率 (A/B)	1.28	1.57	2.95	2.51	2.91	2.58	2.42																																																																																													
採用者数	547	475	265	329	320	321	377																																																																																													
<p>2 県立病院単独の合同説明会の実施</p>	<p>2 県立病院単独の合同説明会の実施</p>	○																																																																																																		
<p>3 看護師修学資金制度の実施</p>	<p>3 看護師修学資金制度の実施 ○看護師修学資金の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>募集人数</td> <td>60</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>100</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>応募者</td> <td>169</td> <td>143</td> <td>88</td> <td>110</td> <td>112</td> <td>151</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>合格者</td> <td>84</td> <td>25</td> <td>18</td> <td>50</td> <td>58</td> <td>83</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>27</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>17</td> <td>28</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>2年(1年)</td> <td>20</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>3年(2年)</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>4年(3年)</td> <td>24</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>21</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>採用者</td> <td>65</td> <td>62</td> <td>48</td> <td>44</td> <td>46</td> <td>28</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>丹波配属</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>淡路配属</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>28</td> <td>3</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>その他配属</td> <td>39</td> <td>50</td> <td>9</td> <td>38</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	募集人数	60	30	20	50	75	100	50	応募者	169	143	88	110	112	151	122	合格者	84	25	18	50	58	83	30	1年	27	10	8	9	17	28	10	2年(1年)	20	9	5	18	23	19	6	3年(2年)	13	3	4	10	9	15	6	4年(3年)	24	3	1	13	9	21	8	採用者	65	62	48	44	46	28	54	丹波配属	20	5	11	3	15	5	4	淡路配属	6	7	28	3	19	18	39	その他配属	39	50	9	38	12	5	11	○		<p>2 県立病院単独の合同説明会の実施(H30.4.28、H31.4.27、R2.2.22、R3.2.28)</p> <p>3 看護師修学資金制度の創設(H23)と募集枠の拡大 H23～：50名 H24～：120名 H25～：150名 H26～：200名 H27～：200名以内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師修学資金の最終学年の新規貸付決定者への貸与額を倍増(H26) (月額5万円→月額10万円)
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																													
募集人数	60	30	20	50	75	100	50																																																																																													
応募者	169	143	88	110	112	151	122																																																																																													
合格者	84	25	18	50	58	83	30																																																																																													
1年	27	10	8	9	17	28	10																																																																																													
2年(1年)	20	9	5	18	23	19	6																																																																																													
3年(2年)	13	3	4	10	9	15	6																																																																																													
4年(3年)	24	3	1	13	9	21	8																																																																																													
採用者	65	62	48	44	46	28	54																																																																																													
丹波配属	20	5	11	3	15	5	4																																																																																													
淡路配属	6	7	28	3	19	18	39																																																																																													
その他配属	39	50	9	38	12	5	11																																																																																													

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）
<p>4 認定看護師の養成に向けた派遣研修制度の実施 日本看護協会等が認定する認定看護師教育課程に看護師を派遣 年間養成数：15名程度（派遣期間6ヶ月程度）</p>	<p>4 認定看護師の養成に向けた派遣研修制度の実施 日本看護協会等が認定する認定看護師教育課程に看護師を派遣 年間養成数：15名程度（派遣期間6ヶ月程度）</p>	○		<p>4 認定看護師養成派遣制度の実施（R1：6名、R2：10名）</p>
<p>5 看護補助者の活用 看護師の業務負担軽減を図るため、看護補助者を配置</p>	<p>5 看護補助者の活用 看護師の業務負担軽減を図るため、看護補助者を配置</p>	○		<p>5 看護補助者の配置（R2.12：454名）</p>
<p>6 2交替勤務の導入</p>	<p>6 2交替勤務の導入</p>	○		<p>6 全県立病院に2交替勤務制度の導入（H27～）、夜勤専従勤務制度の導入（R3～）</p>

IV 安定した医療提供体制の確立

項目6 経営形態の検討

○ 基本方向	持続可能な経営のもとで県民に対して高度専門・特殊医療等を継続して提供していくうえで、本県病院事業に最も相応しい経営形態のあり方を検討する。
○ 取組内容	<p>以下を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」の終期である2023年度までは、地方公営企業法の全部適用を維持する。</p> <p>なお、国の制度の見直し等病院事業を取り巻く環境に大きな変化があった場合には、必要に応じて経営形態のあり方についての検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立病院が関係する複数の統合再編事業を協議・調整中であること ・ 初期投資に必要な財源確保や統合再編・建替整備等の資金調達に懸念があること ・ 地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会の分析では、必ずしも地方独立行政法人制度適用が経営改善に繋がるわけではないとされていること

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																																				
<p>〔目標〕</p> <p>令和5年度までは現在の地方公営企業法の全部適用を維持するが、国の制度の見直し等病院事業を取り巻く環境に大きな変化があった場合には、必要に応じて経営形態のあり方についての検討を行う。</p>	<p>令和5年度までは現在の地方公営企業法の全部適用を維持するが、国の制度の見直し等病院事業を取り巻く環境に大きな変化があった場合には、必要に応じて経営形態のあり方についての検討を行う。</p>	○	<p>病院事業を取り巻く環境変化や国及び他団体の動向を適切に把握した。</p>																																																																					
<p>〔取組項目〕</p> <p>経営形態のあり方検討に資するため、病院事業を取り巻く環境変化や国及び他団体の動向を適切に把握する。</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>経営形態のあり方検討に資するため、病院事業を取り巻く環境変化や国及び他団体の動向を適切に把握した。</p>	○																																																																						
<p>○都道府県立病院の運営形態(R3.4.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">R2.4.1</th> <th colspan="2">R3.4.1</th> <th rowspan="2">増減</th> <th rowspan="2">内 訳 (病院数)</th> </tr> <tr> <th>病院数</th> <th>(割合)</th> <th>病院数</th> <th>(割合)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全部適用</td> <td>126</td> <td>68%</td> <td>122</td> <td>66%</td> <td>△4</td> <td>兵庫(13)、北海道(6)、青森(2)、岩手(20)、山形(4)、福島(5)、茨城(3)、群馬(4)、千葉(6)、新潟(13)、静岡(1)、愛知(3)、三重(3)、滋賀(3)、鳥取(2)、島根(2)、広島(2)、徳島(3)、香川(3)、愛媛(4)、高知(2)、長崎(2(一部事務組合で運営))、熊本(1)、大分(1)、宮崎(3)、鹿児島(5)、沖縄(6)</td> </tr> <tr> <td>一部適用</td> <td>17</td> <td>9%</td> <td>17</td> <td>9%</td> <td>0</td> <td>栃木(1)、東京(8)、富山(2)、石川(2)、福井(2)、和歌山(1)、福岡(1)</td> </tr> <tr> <td>独立行政法人</td> <td>43</td> <td>23%</td> <td>46</td> <td>25%</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">独立行政法人 経営化前の 形態</td> <td>全部適用</td> <td>(11)</td> <td>26%</td> <td>(14)</td> <td>30%</td> <td>3</td> <td>宮城(3)、山形(2)、埼玉(4)、神奈川(4)、三重(1)</td> </tr> <tr> <td>一部適用</td> <td>(31)</td> <td>72%</td> <td>(31)</td> <td>67%</td> <td>0</td> <td>秋田(2)、栃木(2)、東京(1)、神奈川(1)、山梨(2)、長野(5)、岐阜(3)、静岡(3)、大阪(5)、奈良(3)、岡山(1)、山口(2)、佐賀(1)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>(1)</td> <td>2%</td> <td>(1)</td> <td>2%</td> <td>0</td> <td>徳島(1 法適用外(健康保険病院)→県移管・独法)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>(43)</td> <td>100%</td> <td>(46)</td> <td>100%</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>186</td> <td>100%</td> <td>185</td> <td>100%</td> <td>△1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1つの自治体で複数形態で運営する団体有り</p>					区分	R2.4.1		R3.4.1		増減	内 訳 (病院数)	病院数	(割合)	病院数	(割合)	全部適用	126	68%	122	66%	△4	兵庫(13)、北海道(6)、青森(2)、岩手(20)、山形(4)、福島(5)、茨城(3)、群馬(4)、千葉(6)、新潟(13)、静岡(1)、愛知(3)、三重(3)、滋賀(3)、鳥取(2)、島根(2)、広島(2)、徳島(3)、香川(3)、愛媛(4)、高知(2)、長崎(2(一部事務組合で運営))、熊本(1)、大分(1)、宮崎(3)、鹿児島(5)、沖縄(6)	一部適用	17	9%	17	9%	0	栃木(1)、東京(8)、富山(2)、石川(2)、福井(2)、和歌山(1)、福岡(1)	独立行政法人	43	23%	46	25%	3		独立行政法人 経営化前の 形態	全部適用	(11)	26%	(14)	30%	3	宮城(3)、山形(2)、埼玉(4)、神奈川(4)、三重(1)	一部適用	(31)	72%	(31)	67%	0	秋田(2)、栃木(2)、東京(1)、神奈川(1)、山梨(2)、長野(5)、岐阜(3)、静岡(3)、大阪(5)、奈良(3)、岡山(1)、山口(2)、佐賀(1)	その他	(1)	2%	(1)	2%	0	徳島(1 法適用外(健康保険病院)→県移管・独法)	小計	(43)	100%	(46)	100%	3		計	186	100%	185	100%	△1	
区分	R2.4.1		R3.4.1			増減	内 訳 (病院数)																																																																	
	病院数	(割合)	病院数	(割合)																																																																				
全部適用	126	68%	122	66%	△4	兵庫(13)、北海道(6)、青森(2)、岩手(20)、山形(4)、福島(5)、茨城(3)、群馬(4)、千葉(6)、新潟(13)、静岡(1)、愛知(3)、三重(3)、滋賀(3)、鳥取(2)、島根(2)、広島(2)、徳島(3)、香川(3)、愛媛(4)、高知(2)、長崎(2(一部事務組合で運営))、熊本(1)、大分(1)、宮崎(3)、鹿児島(5)、沖縄(6)																																																																		
一部適用	17	9%	17	9%	0	栃木(1)、東京(8)、富山(2)、石川(2)、福井(2)、和歌山(1)、福岡(1)																																																																		
独立行政法人	43	23%	46	25%	3																																																																			
独立行政法人 経営化前の 形態	全部適用	(11)	26%	(14)	30%	3	宮城(3)、山形(2)、埼玉(4)、神奈川(4)、三重(1)																																																																	
	一部適用	(31)	72%	(31)	67%	0	秋田(2)、栃木(2)、東京(1)、神奈川(1)、山梨(2)、長野(5)、岐阜(3)、静岡(3)、大阪(5)、奈良(3)、岡山(1)、山口(2)、佐賀(1)																																																																	
	その他	(1)	2%	(1)	2%	0	徳島(1 法適用外(健康保険病院)→県移管・独法)																																																																	
	小計	(43)	100%	(46)	100%	3																																																																		
計	186	100%	185	100%	△1																																																																			

IV 安定した医療提供体制の確立

項目7 安定的な地域医療の提供

○ 基本方向	地域の医療需要や他の医療機関の状況等を適時把握し、県民から必要とされる医療を的確に提供することで、将来に亘る安定的な地域医療の提供に貢献する。
○ 取組内容	今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を適時把握し、県民から必要とされる医療を的確に提供する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和3年7月の状況等）																																																					
<p>〔目標〕</p> <p>今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を踏まえ、各県立病院に求められる医療を提供する。</p>	<p>今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を踏まえ、各県立病院に求められる医療を提供。</p>	○	<p>県民から必要とされる医療を的確に提供し、安定的な地域医療の提供に貢献した。</p>																																																						
<p>〔取組項目〕</p> <p>兵庫県地域医療構想に適切に対応していくため、兵庫県保健医療計画（圏域版）を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」及び「公的医療機関等2025プラン」に定められた県立病院が求められる役割を果たしながら、将来に亘る安定的な地域医療の提供に貢献する。</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>兵庫県地域医療構想に適切に対応していくため、兵庫県保健医療計画（圏域版）を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」及び「公的医療機関等2025プラン」に定められた県立病院が求められる役割を果たしながら、将来に亘る安定的な地域医療の提供に貢献した。</p>	○		<p>○地域医療構想の推進体制</p> <p>地域医療構想の実現のため、医療機関等の自主的な取組みや行政と医療機関等が連携した取組み等を行っていくため、各圏域において、医療関係者、医療保険者その他関係者からなる「地域医療構想調整会議」を設置し、地域医療構想の達成に必要な事項について、協議が行われている。</p> <p>（検討内容）</p> <p>①病床機能報告や医療資源を踏まえた、2025年を見据えた医療機関としての役割分担</p> <p>②2025年に持つべき、医療機関ごとの病床数（病床機能等）</p> <p>③施策の進捗状況の確認、医療介護推進基金事業の検討</p>																																																					
	<p>○地域医療構想調整会議の議題</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 兵庫県地域医療構想の策定 地域医療構想調整会議の設置 </td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> H28 病床機能報告 公立・公的2025プランの内容確認 H29 病床機能転換推進事業の審議 H30 医療介護推進基金事業の地域事業の審議 </td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 公立・公的2025プランの策定 H29 病床機能報告・分析 H30 病床機能転換推進事業の審議 H31 医療介護推進基金事業の地域事業の議論 </td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 公立・公的2025プランの再検討・再検証 県立・公立病院の再編統合等の議論 R1 病床機能転換推進事業の審議 R2 医療介護推進基金事業の地域事業の議論 </td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 公立・公的2025プランの再検討・再検証 R2 病床機能転換推進事業の審議 R3 医療介護推進基金事業の地域事業の議論 </td> </tr> </tbody> </table>	年度	内容	H28年度	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県地域医療構想の策定 地域医療構想調整会議の設置 	H29年度	<ul style="list-style-type: none"> H28 病床機能報告 公立・公的2025プランの内容確認 H29 病床機能転換推進事業の審議 H30 医療介護推進基金事業の地域事業の審議 	H30年度	<ul style="list-style-type: none"> 公立・公的2025プランの策定 H29 病床機能報告・分析 H30 病床機能転換推進事業の審議 H31 医療介護推進基金事業の地域事業の議論 	R1年度	<ul style="list-style-type: none"> 公立・公的2025プランの再検討・再検証 県立・公立病院の再編統合等の議論 R1 病床機能転換推進事業の審議 R2 医療介護推進基金事業の地域事業の議論 	R2年度	<ul style="list-style-type: none"> 公立・公的2025プランの再検討・再検証 R2 病床機能転換推進事業の審議 R3 医療介護推進基金事業の地域事業の議論 		<p>○県立病院のある圏域の地域医療構想調整会議の開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">神戸</th> <th rowspan="2">阪神 (阪神南)</th> <th rowspan="2">東播磨</th> <th colspan="2">播磨姫路</th> <th rowspan="2">丹波</th> <th rowspan="2">淡路</th> </tr> <tr> <th>(中播磨)</th> <th>(西播磨)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	年度	神戸	阪神 (阪神南)	東播磨	播磨姫路		丹波	淡路	(中播磨)	(西播磨)	H29	8	2	3	2	2	2	2	H30	6	5	4	4	5	3	2	R1	3	7	3	6	4	3	3	R2	2	2	2	3	3	2	1
年度	内容																																																								
H28年度	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県地域医療構想の策定 地域医療構想調整会議の設置 																																																								
H29年度	<ul style="list-style-type: none"> H28 病床機能報告 公立・公的2025プランの内容確認 H29 病床機能転換推進事業の審議 H30 医療介護推進基金事業の地域事業の審議 																																																								
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> 公立・公的2025プランの策定 H29 病床機能報告・分析 H30 病床機能転換推進事業の審議 H31 医療介護推進基金事業の地域事業の議論 																																																								
R1年度	<ul style="list-style-type: none"> 公立・公的2025プランの再検討・再検証 県立・公立病院の再編統合等の議論 R1 病床機能転換推進事業の審議 R2 医療介護推進基金事業の地域事業の議論 																																																								
R2年度	<ul style="list-style-type: none"> 公立・公的2025プランの再検討・再検証 R2 病床機能転換推進事業の審議 R3 医療介護推進基金事業の地域事業の議論 																																																								
年度	神戸	阪神 (阪神南)	東播磨	播磨姫路		丹波	淡路																																																		
				(中播磨)	(西播磨)																																																				
H29	8	2	3	2	2	2	2																																																		
H30	6	5	4	4	5	3	2																																																		
R1	3	7	3	6	4	3	3																																																		
R2	2	2	2	3	3	2	1																																																		

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(1) 尼崎総合医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R2年度 計画①	R2年度 実績②	R1年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	730	730	730	100.0%		
	病床利用率(%)	94.6	79.2	92.9	83.7%		
	1日当たり入院患者数(人)	691	578	678	83.6%		
	1日当たり外来患者数(人)	1,970	1,755	1,964	89.1%		
財務	経常収支比率(%)	100.7	105.5	99.2	104.8%		
	医業収支比率(%)	89.8	81.0	88.1	90.2%		
	入院単価(円)	91,090	94,839	88,521	104.1%		
	外来単価(円)	18,965	20,389	19,454	107.5%		
	給与費比率(%)	53.3	62.7	54.8	117.6%		
	材料費比率(%)	35.7	36.1	36.0	101.1%		
	経費比率(%)	14.6	16.1	14.7	110.3%		
医療機能	平均在院日数	9.5	9.5	9.4	100.0%	○	
	紹介率(%)	74.0	73.3	75.9	99.1%	○	
	逆紹介率(%)	86.0	98.5	86.7	114.5%	○	
	救急患者数	25,737	20,373	25,071	79.2%	△	
	(うち救急車搬送件数)	12,906	8,777	11,477	68.0%	△	
	糖尿病新規入院患者数	275	209	259	76.0%	△	
	手術件数	24,216	21,086	24,087	87.1%	○	
	(うち高額手術件数)	3,528	2,977	3,491	84.4%	○	
	(うちがん手術件数)	1,437	1,406	1,474	97.8%	○	
	(うち冠動脈形成術件数)	540	482	552	89.3%	○	
	(うち開心術件数)	193	159	194	82.4%	○	
	頭頸部血管内治療件数	44	46	41	104.5%	○	
	TAVI実施件数	71	57	70	80.3%	○	
	外来化学療法件数	10,660	10,730	10,910	100.7%	○	
	分娩件数	1,111	1,088	1,099	97.9%	○	
	ハイリスク妊娠数(人)	170	161	172	94.7%	○	
	母体搬送受入数(人)	106	97	93	91.5%	○	
	2500g未満新生児実入院患者数(人)	240	213	196	88.8%	○	
	新生児搬送受入総数(人)	70	72	65	102.9%	○	
	ドクターカー出動回数	351	174	353	49.6%	▲	
	物忘れ外来患者数	186	617	398	331.7%	◎	
	薬剤管理指導件数	33,185	27,676	32,459	83.4%	○	
	リハビリ件数	130,388	123,102	121,579	94.4%	○	
	(うちOTリハビリ件数)	23,498	22,791	23,700	97.0%	○	
	(うちPTリハビリ件数)	91,176	78,746	77,548	86.4%	○	
	(うちSTリハビリ件数)	23,414	21,565	20,331	92.1%	○	
	クリニカルパス件数	408	455	319	111.5%	○	
	在宅復帰率(%)	90.3	89.0	89.7	98.6%	○	
	臨床研修医の受入件数	45	49	48	108.9%	○	
	医師派遣等件数	340	299	275	87.9%	○	
	その他	患者満足度(入院)(%)	97.5	未実施	94.3	—	—
		患者満足度(外来)(%)	96.7	未実施	90.0	—	—
		医療相談件数	7,191	5,753	7,281	80.0%	○
セカンド・オピニオン実施件数		18	21	27	116.7%	○	

区分		R2年度 計画①	R2年度 実績②	R1年度 実績	②/①	評価
業務量	TVカンファレンス実施回数	12	12	12	100.0%	○
	PFMの更なる拡大(アセスメント率)(%)	40.0	51.4	39.2	128.5%	◎
	重点診療科長及び事務職員による地域クリニック等訪問回数	80	0	13	0.0%	▲
	社協コラボ出前型セミナー開催回数	8	0	7	0.0%	▲

収支計画

(単位：百万円)

区分		R2年度計画	R2年度実績	R1年度実績
収益	入院収益	22,960	20,007	21,969
	外来収益	9,079	8,694	9,168
	その他医業収益	663	580	726
	医業収益計	32,702	29,282	31,863
	その他の収益	1,490	6,905	1,558
	収益合計	34,191	36,187	33,422
費用	給与費	17,436	18,362	17,446
	(うち退職給与金)	526	478	383
	材料費	11,668	10,570	11,470
	経費	4,778	4,705	4,684
	減価償却費	2,290	2,294	2,341
	その他の医業費用	247	226	240
	医業費用計	36,419	36,157	36,182
	その他費用	376	1,561	395
	費用合計	36,795	37,718	36,577
	差引損益	△2,604	△1,531	△3,156
一般会計繰入金	2,858	2,897	2,850	
当期純損益	255	1,366	△305	
経常損益	291	2,009	△281	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(2) 西宮病院

経営指標に係る数値目標

区分		R2年度計画①	R2年度実績②	R1年度実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	400	400	400	100.0%		
	病床利用率(%)	87.5	71.8	86.2	82.1%		
	1日当たり入院患者数(人)	350	287	345	82.0%		
	1日当たり外来患者数(人)	685	603	672	88.0%		
	経常収支比率(%)	101.7	97.5	99.3	95.9%		
財務	医業収支比率(%)	89.6	77.7	86.7	86.7%		
	入院単価(円)	62,124	66,287	60,900	106.7%		
	外来単価(円)	17,765	18,415	17,290	103.7%		
	給与費比率(%)	63.4	75.2	65.9	118.6%		
	材料費比率(%)	26.6	28.9	27.7	108.6%		
	経費比率(%)	15.5	17.8	15.4	114.8%		
医療機能	平均在院日数	9.6	9.9	10.2	103.1%		○
	紹介率(%)	85.0	79.4	78.2	93.4%		○
	逆紹介率(%)	113.8	124.7	122.7	109.6%		○
	手術件数(件)	5,303	4,792	5,283	90.4%		○
	がん手術総件数	1,334	1,262	1,103	94.6%		○
	入退院支援センター入院・検査説明件数	2,600	2,165	2,350	83.3%		○
	クリニカルパス件数	267	226	244	84.6%		○
	化学療法件数	6,619	6,488	6,142	98.0%		○
	うち外来化学療法件数	4,300	3,723	3,932	86.6%		○
	救急患者数(人)	6,253	5,743	6,316	91.8%		○
	(うち救急車搬送件数)	4,106	3,509	3,946	85.5%		○
	小児救急車搬送件数	380	328	397	86.3%		○
	ドクターカー出動実績	650	585	667	90.0%		○
	分娩件数	560	426	572	76.1%		△
	ハイリスク妊娠数	155	151	151	97.4%		○
	母体搬送受入数	120	82	97	68.3%		△
	2500g未満新生児実入院患者数	110	94	117	85.5%		○
	新生児搬送受入総数	50	39	50	78.0%		△
	さい帯血採取数	110	94	136	85.5%		○
	糖尿病新規入院患者数	240	208	216	86.7%	○	
	腎移植実施数	18	12	13	66.7%	△	
	透析件数	4,300	3,621	4,215	84.2%	○	
	リハビリ件数	44,171	44,064	44,555	99.8%	○	
	臨床研修医の受入件数	20	20	20	100.0%	○	
	産婦人科セミアオープンシステムの運用件数	4	0	3	0.0%	▲	
	四肢外傷センターの充実(骨折等疾患の救急、整形外科の連携治療実施件数)	200	300	256	150.0%	◎	
	その他	腎臓病教室の開催回数	7	0	7	0.0%	▲
		西宮薬剤師会と薬学部との合同研修会の開催回数	5	1	5	20.0%	▲

収支計画

(単位:百万円)

区分		R2年度計画	R2年度実績	R1年度実績
収益	入院収益	7,937	6,947	7,683
	外来収益	2,957	2,698	2,790
	その他医業収益	286	231	274
	医業収益計	11,180	9,876	10,748
	その他の収益	461	1,704	497
	収益合計	11,641	11,580	11,245
費用	給与費	7,091	7,429	7,078
	(うち退職給与金)	223	277	250
	材料費	2,978	2,858	2,972
	経費	1,734	1,756	1,658
	減価償却費	601	618	623
	その他の医業費用	67	47	64
	医業費用計	12,471	12,709	12,394
	その他費用	130	837	155
	費用合計	12,601	13,546	12,549
	差引損益	△960	△1,966	△1,304
一般会計繰入金	1,178	1,167	1,182	
当期純損益	219	△798	△121	
経常損益	223	△315	△88	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(3) 加古川医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R2年度 計画①	R2年度 実績②	R1年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	353	353	353	100.0%		
	病床利用率(%)	82.8	44.6	81.4	53.9%		
	1日当たり入院患者数(人)	292	158	287	54.1%		
	1日当たり外来患者数(人)	764	619	754	81.0%		
	経常収支比率(%)	100.7	112.1	99.2	111.3%		
財務	医業収支比率(%)	84.9	60.4	83.0	71.1%		
	入院単価(円)	65,935	76,366	64,274	115.8%		
	外来単価(円)	19,150	20,912	19,261	109.2%		
	給与費比率(%)	58.9	90.0	61.1	152.8%		
	材料費比率(%)	30.6	35.4	31.0	115.7%		
	経費比率(%)	18.0	25.6	17.9	142.2%		
	平均在院日数	11.4	10.5	11.4	92.1%		○
紹介率(%)	82.9	62.3	83.3	75.2%	△		
逆紹介率(%)	92.2	63.2	96.8	68.5%	△		
医療機能	ドクターヘリ運航件数	642	355	449	55.3%		▲
	救急患者数(人)	7,602	4,337	7,495	57.1%		▲
	(うち救急車搬送患者数)	2,518	946	2,595	37.6%		▲
	手術件数(件)	4,933	3,358	5,009	68.1%		△
	化学療法件数	3,054	3,038	3,066	99.5%		○
	[うち外来化学療法件数]	2,607	2,652	2,570	101.7%		○
	緩和ケア病床入院患者数(人)	5,597	1,322	5,584	23.6%		▲
	糖尿病教育入院患者数(人)	118	56	152	23.6%		▲
	リハビリ件数(人)	31,549	20,472	32,725	64.9%		△
	新規紹介患者数(人)	8,140	4,882	8,031	60.0%		△

収支計画

(単位：百万円)

区分		R2年度計画	R2年度実績	R1年度実績
収益	入院収益	7,035	4,390	6,758
	外来収益	3,556	3,146	3,487
	その他医業収益	338	154	337
	医業収益計	10,929	7,691	10,581
	その他の収益	1,025	5,968	1,060
	収益合計	11,954	13,659	11,641
費用	給与費	6,442	6,920	6,465
	(うち退職給与金)	232	186	175
	材料費	3,346	2,721	3,283
	経費	1,972	1,965	1,899
	減価償却費	1,021	1,039	1,021
	その他の医業費用	86	89	86
	医業費用計	12,867	12,734	12,753
	その他費用	402	915	420
	費用合計	13,269	13,649	13,173
	差引損益	△1,315	9	△1,532
一般会計繰入金	1,343	1,367	1,344	
当期純損益	28	1,376	△188	
経常損益	94	1,594	△104	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

（４）丹波医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R2年度 計画①	R2年度 実績②	R1年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数（床）	275	275	238	100.0%	/	
	病床利用率（%）	89.8	73.4	85.2	81.7%		
	1日当たり入院患者数（人）	247	202	191	81.8%		
	1日当たり外来患者数（人）	499	498	488	99.8%		
財務	経常収支比率（%）	94.2	95.5	87.6	101.4%		
	医業収支比率（%）	73.9	67.5	71.7	91.3%		
	入院単価（円）	54,306	56,340	51,959	103.7%		
	外来単価（円）	13,708	14,804	13,318	108.0%		
	給与費比率（%）	72.2	78.2	81.2	108.3%		
	材料費比率（%）	19.9	21.9	22.6	110.1%		
経費比率（%）	26.8	30.5	32.3	113.8%			
医療機能	平均在院日数	11.6	12.5	11.9	107.8%		○
	紹介率（%）	70.0	72.6	70.1	103.7%		○
	逆紹介率（%）	65.0	74.0	62.2	113.8%		○
	がんの手術件数（件）	230	230	195	100.0%		○
	緩和ケア病棟の入院患者数	7,600	7,641	7,415	100.5%		○
	冠動脈形成術の件数	100	107	107	107.0%		○
	救急患者数	7,700	6,312	7,374	82.0%		○
	（うち救急車搬送件数）	2,300	2,017	2,149	87.7%		○
	分娩件数	300	303	273	101.0%		○
	小児の救急車搬送件数	300	140	268	46.7%		▲
	リハビリ件数	26,500	25,772	22,753	97.3%		○
	へき地診療所への派遣回数	96	98	100	102.1%		○
	術中迅速病理組織検査実施件数	90	96	78	106.7%		○
	休日乳がん検診の継続実施（受診患者数）	60	66	56	110.0%		○
	消化器がんの内視鏡的治療実施件数	35	25	37	71.4%		△
	ポータブルX線撮影装置による出張撮影等件数	100	107	107	107.0%		○
	消化器、循環器救急の 24時間受入れ件数	内視鏡 心カテ	110 90	62 66	106 78		56.4% 73.3%
	その他	研修医受入人数	50	49	48	98.0%	○
医療相談の件数		12,000	15,252	11,066	127.1%	◎	
県養成医の受入れ人数		15	12	14	80.0%	○	
TVカンファレンスの実施		120	124	126	103.3%	○	
IVナースの年間養成数		10	14	10	140.0%	◎	
オープンセミナー等の開催回数		12	0	12	0.0%	▲	
診療機器の共同利用件数		CT MRI	900 550	717 389	764 319	79.7% 70.7%	△ △

収支計画

（単位：百万円）

区分		R2年度計画	R2年度実績	R1年度実績
収益	入院収益	4,897	4,149	3,640
	外来収益	1,661	1,791	1,560
	その他医業収益	344	373	290
	医業収益計	6,902	6,313	5,490
	その他の収益	1,013	1,956	1,340
	収益合計	7,915	8,269	6,830
費用	給与費	4,985	4,939	4,456
	（うち退職給与金）	146	183	130
	材料費	1,373	1,380	1,243
	経費	1,851	1,927	1,771
	減価償却費	1,094	1,076	130
	その他の医業費用	37	26	62
	医業費用計	9,340	9,348	7,662
	その他費用	1,761	1,664	1,725
	費用合計	11,101	11,012	9,387
	差引損益	△3,186	△2,743	△2,557
一般会計繰入金	1,057	1,135	1,017	
当期純損益	△2,129	△1,607	△1,540	
経常損益	△556	△432	△981	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(5) 淡路医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R2年度 計画①	R2年度 実績②	R1年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	441	441	441	100.0%		
	病床利用率(%)	85.9	70.6	82.6	82.2%		
	1日当たり入院患者数(人)	379	311	364	82.1%		
	1日当たり外来患者数(人)	834	734	824	88.0%		
	経常収支比率(%)	101.5	102.2	100.4	100.7%		
財務	医業収支比率(%)	87.1	78.3	84.9	89.9%		
	入院単価(円)	68,495	73,409	68,401	107.2%		
	外来単価(円)	14,468	15,622	15,140	108.0%		
	給与費比率(%)	59.2	67.6	59.8	114.2%		
	材料費比率(%)	31.2	32.1	32.5	102.9%		
	経費比率(%)	16.0	19.5	15.9	121.9%		
医療機能	平均在院日数	13.2	11.9	12.7	90.2%		○
	紹介率(%)	85.9	73.0	82.9	85.0%		○
	逆紹介率(%)	80.1	70.9	81.2	88.5%		○
	救急患者数(人)	9,000	7,100	8,897	78.9%		△
	(うち救急車搬送患者数)	3,200	2,711	3,225	84.7%	○	
	手術件数(件)	3,834	3,250	3,814	84.8%	○	
	リハビリ延単位数(単位)	62,900	60,288	63,145	95.8%	○	
	認知症鑑別診断件数(人)	280	262	271	93.6%	○	
	子宮動脈塞栓術(UAE)の実施件数	5	5	4	100.0%	○	
その他	淡路圏域がんネットワーク会議の開催(開催回数)	1	0	0	0.0%	▲	
	「淡路島を医療で元気にする会－元気な医療・介護連携をともに考える－」の開催回数	2	0	1	0.0%	▲	

収支計画

(単位：百万円)

区分		R2年度計画	R2年度実績	R1年度実績
収益	入院収益	9,475	8,340	9,121
	外来収益	2,932	2,787	2,995
	その他医業収益	224	193	218
	医業収益計	12,631	11,320	12,335
	その他の収益	742	2,422	896
	収益合計	13,373	13,742	13,230
費用	給与費	7,477	7,649	7,382
	(うち退職給与金)	432	380	293
	材料費	3,946	3,636	4,004
	経費	2,024	2,203	1,958
	減価償却費	894	812	1,098
	その他の医業費用	161	153	79
	医業費用計	14,502	14,454	14,522
	その他費用	292	1,546	281
	費用合計	14,794	16,000	14,803
	差引損益	△1,421	△2,258	△1,573
一般会計繰入金	1,636	1,695	1,635	
当期純損益	215	△563	62	
経常損益	218	319	54	

各県立病院の目標・計画（経営計画）
 (6) ひょうごこころの医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R2年度 計画①	R2年度 実績②	R1年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	286	254	286	88.8%		
	病床利用率(%)	68.5	43.3	65.4	63.2%		
	1日当たり入院患者数(人)	196.0	114	187	58.2%		
	1日当たり外来患者数(人)	215.0	206	213	95.8%		
	経常収支比率(%)	93.6	93.8	90.9	100.2%		
財務	医業収支比率(%)	51.8	33.2	49.0	64.1%		
	入院単価(円)	24,157	23,500	23,620	97.3%		
	外来単価(円)	6,989	6,912	6,900	98.9%		
	給与費比率(%)	141.6	227.9	152.1	160.9%		
	材料費比率(%)	7.7	11.4	8.7	148.1%		
医療機能	経費比率(%)	28.4	41.7	28.2	146.8%		
	平均在院日数(日)	74.4	67.2	82.9	90.3%		○
	紹介率(%)	45.8	31.7	36.6	69.2%		△
	逆紹介率(%)	52.1	46.5	44.4	89.3%		○
	クリニカルパス数	8	8	8	100.0%		○
	救急患者数(人)	504	304	451	60.3%	△	
	訪問看護件数(件)	3,200	3,275	3,113	102.3%	○	
相談件数	41,202	49,139	39,076	119.3%	○		

収支計画

(単位：百万円)

区分		R2年度計画	R2年度実績	R1年度実績
収益	入院収益	1,728	982	1,616
	外来収益	365	346	353
	その他医業収益	15	12	17
	医業収益計	2,108	1,340	1,985
	その他の収益	233	1,000	232
	収益合計	2,341	2,340	2,217
費用	給与費	2,985	3,053	3,019
	(うち退職給与金)	156	159	182
	材料費	162	152	172
	経費	598	559	560
	減価償却費	262	242	281
	その他の医業費用	60	31	17
	医業費用計	4,067	4,038	4,049
	その他費用	124	690	122
	費用合計	4,191	4,727	4,171
	差引損益	△1,850	△2,388	△1,953
一般会計繰入金	1,577	1,597	1,576	
当期純損益	△273	△791	△377	
経常損益	△267	△256	△377	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(7) こども病院

経営指標に係る数値目標

区分		R2年度 計画①	R2年度 実績②	R1年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	282	282	275	100.0%	○	
	病床利用率(%)	88.7	78.3	86.7	88.3%		
	1日当たり入院患者数(人)	250	221	239	88.4%		
	1日当たり外来患者数(人)	421	400	431	95.0%		
	経常収支比率(%)	100.7	97.4	99.5	96.7%		
財務	医業収支比率(%)	78.5	73.4	76.2	93.5%		
	入院単価(円)	96,198	100,943	93,241	104.9%		
	外来単価(円)	17,391	18,150	17,569	104.4%		
	給与費比率(%)	72.7	80.0	77.1	110.0%		
	材料費比率(%)	22.7	22.7	21.3	100.0%		
	経費比率(%)	20.0	21.1	20.0	105.5%		
医療機能	平均在院日数(日)	12.6	12.1	11.8	96.0%		○
	紹介率(%)	84.4	87.6	91.7	103.8%		○
	逆紹介率(%)	77.4	54.6	62.6	70.5%		△
	救急患者数(人)	14,200	9,589	12,314	67.5%		△
	小児の救急車搬送患者数(人)	1,800	1,169	1,727	64.9%		△
	手術件数(件)	3,660	2,985	3,631	81.6%		○
	開心術(件)	150	152	147	101.3%		○
	ハイリスク妊娠数(人)	130	154	124	118.5%		○
	母体搬送受入数(人)	90	106	84	117.8%		○
	2500g未満新生児実入院患者数(人)	180	353	191	196.1%		◎
	新生児搬送受入総数(人)	190	173	201	91.1%		○
	造血幹細胞移植	30	30	29	100.0%		○
	リハビリテーション実施単位	17,000	17,622	16,617	103.7%		○
	看護相談外来	2,100	1,846	2,024	87.9%		○

収支計画

(単位:百万円)

区分		R2年度計画	R2年度実績	R1年度実績
収益	入院収益	8,783	8,136	8,140
	外来収益	1,777	1,766	1,816
	その他医業収益	157	149	145
	医業収益計	10,717	10,051	10,101
	その他の収益	875	1,225	905
	収益合計	11,592	11,276	11,006
費用	給与費	7,789	8,046	7,784
	(うち退職給与金)	188	164	266
	材料費	2,437	2,277	2,153
	経費	2,143	2,117	2,022
	減価償却費	1,183	1,195	1,232
	その他の医業費用	95	54	59
	医業費用計	13,647	13,689	13,250
	その他費用	348	614	306
	費用合計	13,995	14,303	13,556
	差引損益	△2,403	△3,027	△2,550
一般会計繰入金	2,360	2,360	2,386	
当期純損益	△43	△666	△164	
経常損益	94	△367	△63	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(8) がんセンター

経営指標に係る数値目標

区分		R2年度 計画①	R2年度 実績②	R1年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	377	377	377	100.0%		
	病床利用率(%)	77.2	70.1	72.7	90.8%		
	1日当たり入院患者数(人)	291	264	274	90.7%		
	1日当たり外来患者数(人)	673	662	669	98.4%		
	経常収支比率(%)	100.3	97.3	99.1	97.0%		
財務	医業収支比率(%)	92.2	89.1	91.3	96.6%		
	入院単価(円)	69,420	72,381	69,313	104.3%		
	外来単価(円)	50,622	54,355	51,168	107.4%		
	給与費比率(%)	41.9	43.2	42.7	103.1%		
	材料費比率(%)	48.9	51.1	50.1	104.5%		
	経費比率(%)	11.8	11.9	11.6	100.8%		
医療機能	平均在院日数	13.0	11.7	11.6	90.0%		○
	紹介率(%)	73.0	71.6	73.0	98.1%		○
	逆紹介率(%)	51.5	46.8	50.6	90.9%		○
	リハビリ件数	21,400	21,753	20,568	101.6%		○
	クリニカルパス件数	255	159	200	62.4%		△
	手術件数	3,420	3,387	3,415	99.0%		○
	放射線治療件数	14,000	15,084	11,391	107.7%		○
	放射線診断件数	72,700	75,524	72,571	103.9%		○
	化学療法件数	21,100	20,092	19,538	95.2%		○
	[うち外来化学療法件数]	14,500	14,198	13,819	97.9%	○	
	がん登録届出件数	3,500	3,602	3,623	102.9%	○	
	相談支援件数	2,650	1,913	2,239	72.2%	△	
	薬剤管理指導件数	10,000	13,927	10,016	139.3%	◎	

収支計画

(単位：百万円)

区分		R2年度計画	R2年度実績	R1年度実績
収益	入院収益	7,373	6,985	6,954
	外来収益	8,279	8,742	8,220
	その他医業収益	526	450	509
	医業収益計	16,178	16,177	15,683
	その他の収益	599	763	548
	収益合計	16,777	16,940	16,231
費用	給与費	6,772	6,994	6,694
	(うち退職給与金)	283	302	274
	材料費	7,908	8,267	7,853
	経費	1,905	1,929	1,812
	減価償却費	829	819	558
	その他の医業費用	135	140	262
	医業費用計	17,549	18,148	17,179
	その他費用	112	1,401	159
	費用合計	17,661	19,549	17,338
	差引損益	△884	△2,609	△1,107
一般会計繰入金	932	919	925	
当期純損益	48	△1,690	△182	
経常損益	56	△494	△159	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(9) 姫路循環器病センター

経営指標に係る数値目標

区分		R2年度 計画①	R2年度 実績②	R1年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	330	330	330	100.0%		
	病床利用率(%)	74.0	63.3	69.5	85.5%		
	1日当たり入院患者数(人)	244	209	229	85.7%		
	1日当たり外来患者数(人)	367	323	350	88.0%		
	経常収支比率(%)	100.7	98.6	98.2	97.9%		
財務	医業収支比率(%)	88.7	81.9	85.9	92.3%		
	入院単価(円)	103,397	111,913	103,387	108.2%		
	外来単価(円)	28,024	28,528	27,477	101.8%		
	給与費比率(%)	50.2	56.1	51.5	111.8%		
	材料費比率(%)	44.7	46.8	45.9	104.7%		
	経費比率(%)	12.6	13.6	13.1	107.9%		
医療機能	平均在院日数(日)	13.7	13.2	14.0	96.4%		○
	紹介率(%)	75.4	71.5	70.0	94.8%		○
	逆紹介率(%)	120.0	156.8	170.0	130.7%		◎
	救急患者数(人)	4,800	4,272	4,643	89.0%		○
	(うち救急車搬送患者数)	2,530	2,385	2,499	94.3%		○
	手術件数(件)	1,650	1,522	1,616	92.2%		○
	地域連携パス件数	265	177	162	66.8%		△
	頭頸部血管内治療件数	106	97	93	91.5%		○
	TAVI実施件数	53	85	56	160.4%		◎
	リハビリ件数(件)	37,481	39,122	27,443	104.4%	○	
	糖尿病新規入院患者数	170	96	124	56.5%	▲	
	糖尿病新規外来患者数	353	278	351	78.8%	△	
	慢性閉塞再開通デバイスを用いた下肢閉塞動脈治療件数	26	19	25	73.1%	△	
	超急性期脳梗塞に対する血管内治療件数	30	31	26	103.3%	○	
	胸腔鏡下弁形成術(MICS)の件数	9	12	5	133.3%	◎	
	経皮的カテーテル心筋焼灼術の件数	378	382	372	101.1%	○	
	クリップを使った僧帽弁閉鎖症治療件数	17	43	28	252.9%	◎	
	超急性期脳梗塞に対する経皮的脳血栓回収術件数	20	15	13	75.0%	△	
	補助人工心臓ポンプカテーテル治療(インペラ)の件数	18	39	18	216.7%	◎	

収支計画

(単位：百万円)

区分		R2年度計画	R2年度実績	R1年度実績
収益	入院収益	9,216	8,531	8,675
	外来収益	2,499	2,239	2,305
	その他医業収益	183	181	187
	医業収益計	11,898	10,951	11,167
	その他の収益	424	1,253	469
	収益合計	12,322	12,204	11,636
費用	給与費	6,030	6,148	5,747
	(うち退職給与金)	362	279	332
	材料費	5,281	5,125	5,125
	経費	1,500	1,492	1,460
	減価償却費	535	543	556
	その他の医業費用	71	65	118
	医業費用計	13,417	13,374	13,006
	その他費用	73	1,009	128
	費用合計	13,490	14,382	13,134
	差引損益	△1,168	△2,178	△1,498
一般会計繰入金	1,264	1,260	1,217	
当期純損益	96	△919	△280	
経常損益	98	△188	△240	

各県立病院の目標・計画（経営計画）
（10-1）粒子線医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R2年度 計画①	R2年度 実績②	R1年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数（床）	50	50	50	100.0%		
	病床利用率（%）	72.7	50.3	57.3	69.2%		
	1日当たり入院患者数（人）	36	25	29	69.4%		
	1日当たり外来患者数（人）	27	16	23	59.3%		
	経常収支比率（%）	97.3	71.3	85.4	73.3%		
財務	医業収支比率（%）	70.2	41.5	52.3	59.1%		
	入院単価（円）	77,447	69,879	73,088	90.2%		
	外来単価（円）	44,481	44,057	44,736	99.0%		
	給与費比率（%）	43.2	70.8	58.4	163.9%		
	材料費比率（%）	6.3	8.5	8.8	134.9%		
	経費比率（%）	69.7	121.1	88.5	173.7%		
医療機能	平均在院日数（日）	33.4	36.6	30.6	109.6%		○
	紹介率（%）	100.0	100.0	100.0	100.0%		○
	逆紹介率（%）	100.0	100.0	100.0	100.0%		○
	医師派遣等件数	130	66	108	50.8%		▲
	クリニカルパス導入状況（種類）	97	97	97	100.0%		○
	セカンドオピニオン実施状況（件数）	100	46	53	46.0%		▲
	インシデント報告件数	300	269	297	89.7%		○
	経過観察（電話相談）件数	2,800	2463	2,912	88.0%		○
	連携病院からの通院患者数	60	0	31	0.0%		▲
	外国人患者の治療実績	10	2	7	20.0%		▲
その他	患者満足度（%）	96.0	未実施	95.9	-		-
	医療相談件数	50	34	44	68.0%		△

収支計画

（単位：百万円）

区分		R2年度計画	R2年度実績	R1年度実績
収益	入院収益	1,027	642	766
	外来収益	297	172	245
	その他医業収益	63	41	41
	医業収益計	1,387	855	1,052
	その他の収益	328	326	381
	収益合計	1,715	1,181	1,433
費用	給与費	599	605	614
	（うち退職給与金）	32	24	42
	材料費	87	72	92
	経費	967	1,035	932
	減価償却費	315	338	348
	その他の医業費用	7	6	25
	医業費用計	1,975	2,057	2,012
	その他費用	312	390	293
	費用合計	2,287	2,447	2,305
	差引損益	△572	△1,266	△872
一般会計繰入金	505	510	534	
当期純損益	△67	△756	△338	
経常損益	△62	△672	△337	

各県立病院の目標・計画（経営計画）
（10-2）神戸陽子線センター

経営指標に係る数値目標

区分		R2年度 計画①	R2年度 実績②	R1年度 実績	②/①	評価
業務量	病床数（床）	—	—	—	—	
	病床利用率（%）	—	—	—	—	
	1日当たり入院患者数（人）	—	—	—	—	
	1日当たり外来患者数（人）	38	33	27	86.8%	
	経常収支比率（%）	65.8	66.3	59.5	100.8%	
財務	医業収支比率（%）	46.6	44.9	37.6	96.4%	
	入院単価（円）	—	—	—	—	
	外来単価（円）	71,849	71,651	72,316	99.7%	
	給与費比率（%）	51.4	54.6	57.5	106.2%	
	材料費比率（%）	1.2	1.4	1.6	116.7%	
医療機能	経費比率（%）	83.0	75.4	96.1	90.8%	
	紹介率	100.0	100.0	100.0	100.0%	○
	逆紹介率	100.0	100.0	100.0	100.0%	○

収支計画

（単位：百万円）

区分		R2年度計画	R2年度実績	R1年度実績
収益	入院収益	—	—	—
	外来収益	656	566	475
	その他医業収益	1	1	1
	医業収益計	657	567	475
	その他の収益	278	284	283
	収益合計	935	851	759
費用	給与費	337	310	273
	（うち退職給与金）	27	20	0
	材料費	7	8	8
	経費	545	428	457
	減価償却費	517	518	515
	その他の医業費用	3	1	12
	医業費用計	1,409	1,263	1,264
	その他費用	93	134	96
	費用合計	1,502	1,397	1,360
	差引損益	△567	△546	△601
	一般会計繰入金	53	53	50
当期純損益	△514	△493	△552	
経常損益	△514	△458	△550	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(11) 災害医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R2年度 計画①	R2年度 実績②	R1年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数（床）	30	30	30	100.0%		
	病床利用率（%）	87.0	80.7	83.2	92.8%		
	1日当たり入院患者数（人）	26	24	25	92.3%		
	1日当たり外来患者数（人）	1	1	1	100.0%		
財務	経常収支比率（%）	100.0	105.1	101.3	105.1%		
	医業収支比率（%）	70.0	75.3	72.0	107.6%		
	入院単価（円）	142,112	171,833	160,566	120.9%		
	外来単価（円）	541,112	219,440	341,475	40.6%		
	給与費比率（%）	87.7	81.9	83.5	93.4%		
	材料費比率（%）	33.3	29.7	34.4	89.2%		
	経費比率（%）	20.4	20.6	19.6	101.0%		
医療機能	平均在院日数（日）	9.1	7.2	8.9	79.1%		◎
	手術件数（件）	1,132	1,230	1,154	108.7%		○
	（うち高額手術件数）	168	202	200	120.2%	◎	

収支計画

(単位：百万円)

区分		R2年度計画	R2年度実績	R1年度実績	
収益	入院収益	0 (1,354)	0 (1,518)	0 (1,466)	
	外来収益	0 (110)	0 (35)	0 (60)	
	その他医業収益	0 (10)	0 (10)	0 (11)	
	医業収益計	0 (1,473)	0 (1,562)	0 (1,537)	
	その他の収益	159 (49)	160 (26)	218 (55)	
	収益合計	159 (1,523)	160 (1,588)	218 (1,592)	
	費用	給与費	36 (1,292)	45 (1,279)	36 (1,284)
		（うち退職給与金）	0 (0)	0 (0)	0 (0)
材料費		0 (490)	0 (464)	0 (528)	
経費		704 (300)	703 (322)	722 (301)	
減価償却費		144 (0)	145 (0)	196 (0)	
その他の医業費用		0 (22)	1 (9)	8 (21)	
医業費用計		884 (2,104)	893 (2,074)	962 (2,134)	
その他費用		41 (100)	40 (85)	41 (106)	
費用合計		925 (2,204)	933 (2,159)	1,003 (2,240)	
差引損益		△766 (△681)	△773 (△571)	△785 (△647)	
一般会計繰入金	766 (681)	773 (681)	785 (676)		
当期純損益	0 (0)	0 (110)	0 (29)		
経常損益	0 (0)	0 (110)	0 (29)		

各県立病院の目標・計画（経営計画）
 (12) リハビリテーション中央病院

経営指標に係る数値目標

区分		R2年度 計画①	R2年度 実績②	R1年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	330	330	330	100.0%		
	病床利用率(%)	82.8	68.6	82.3	82.9%		
	1日当たり入院患者数(人)	273	226	271	82.8%		
	1日当たり外来患者数(人)	227	193	220	85.0%		
財務	経常収支比率(%)	100.1	101.5	100.3	101.4%		
	医業収支比率(%)	92.8	82.6	92.0	89.0%		
	入院単価(円)	32,765	35,013	33,120	106.9%		
	外来単価(円)	18,993	19,926	19,094	104.9%		
	給与費比率(%)	62.0	67.9	60.6	109.5%		
	材料費比率(%)	24.7	24.5	24.8	99.2%		
医療機能	経費比率(%)	21.1	28.6	23.2	135.5%		
	紹介率(%)	67.0	65.3	67.5	97.5%		○
	逆紹介率(%)	60.0	84.9	56.3	141.5%		◎
	糖尿病教育入院患者数	15	1	9	6.7%	▲	

収支計画

(単位：百万円)

区分		R2年度計画	R2年度実績	R1年度実績	
収益	入院収益	0 (3,266)	0 (2,895)	0 (3,291)	
	外来収益	0 (1,050)	0 (934)	0 (1,010)	
	その他医業収益	0 (62)	0 (60)	0 (63)	
	医業収益計	0 (4,378)	0 (3,888)	0 (4,364)	
	その他の収益	425 (76)	461 (677)	409 (116)	
	収益合計	425 (4,454)	461 (4,565)	409 (4,480)	
	費用	給与費	32 (2,715)	22 (2,640)	22 (2,646)
		(うち退職給与金)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		材料費	0 (1,081)	0 (953)	0 (1,082)
経費		270 (924)	270 (1,114)	275 (1,014)	
減価償却費		402 (0)	397 (0)	386 (0)	
その他の医業費用		1 (0)	4 (0)	1 (0)	
医業費用計		705 (4,720)	693 (4,707)	684 (4,742)	
その他費用		47 (0)	81 (58)	46 (0)	
費用合計		752 (4,720)	774 (4,765)	730 (4,742)	
差引損益	△327 (△267)	△313 (△200)	△321 (△262)		
一般会計繰入金	327 (270)	313 (270)	321 (274)		
当期純損益	0 (3)	0 (70)	0 (12)		
経常損益	0 (3)	0 (70)	0 (12)		

各県立病院の目標・計画（経営計画）
 (13) リハビリテーション西播磨病院

経営指標に係る数値目標

区分		R2 年度 計画①	R2 年度 実績②	R1 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	100	100	100	100.0%		
	病床利用率 (%)	95.5	86.7	95.2	90.8%		
	1日当たり入院患者数 (人)	95	87	95	91.6%		
	1日当たり外来患者数 (人)	46	40	44	87.0%		
財務	経常収支比率 (%)	100	99.0	101.6	99.0%		
	医業収支比率 (%)	92.0	89.8	93.3	97.6%		
	入院単価 (円)	38,214	40,357	38,557	105.6%		
	外来単価 (円)	31,143	34,132	31,494	109.6%		
	給与費比率 (%)	61.3	63.3	60.7	103.3%		
	材料費比率 (%)	18.3	19.4	18.5	106.0%		
医療機能	経費比率 (%)	29.0	28.7	28.0	99.0%		
	紹介率 (%)	79.5	90.0	79	113.2%		○
	逆紹介率 (%)	122.1	151.5	119.7	124.1%		◎
	回復期病棟在宅復帰率 (%)	79.7	87.6	87	109.9%		○
	P T リハビリ件数 (単位)	75,386	71,969	74,600	95.5%	○	
	O T リハビリ件数 (単位)	74,418	69,140	73,614	92.9%	○	
	S T リハビリ件数 (単位)	42,167	39,835	41,811	94.5%	○	
その他	認知症鑑別診断件数 (人)	1,157	1,141	1,122	98.6%	○	
	脳卒中地域連携パス件数 (人)	159	112	105	70.4%	△	
	認知リハビリ件数 (人)	4,319	3,642	4,116	84.3%	○	
	音楽療法件数 (人)	3,911	3,102	3,739	79.3%	△	
	園芸療法件数 (人)	2,139	1,250	1,934	58.4%	▲	
	認知症専門医療相談件数 (人)	2,632	2,553	2,610	97.0%	○	
短時間通所リハ件数 (人)	1,147	683	1,073	59.5%	▲		

収支計画

(単位：百万円)

区分		R2 年度計画	R2 年度実績	R1 年度実績	
収益	入院収益	0 (1,332)	0 (1,277)	0 (1,343)	
	外来収益	0 (348)	0 (334)	0 (330)	
	その他医業収益	0 (32)	0 (25)	0 (32)	
	医業収益計	0 (1,712)	0 (1,636)	0 (1,705)	
	その他の収益	233 (27)	245 (54)	221 (27)	
	収益合計	233 (1,739)	245 (1,690)	221 (1,731)	
	費用	給与費	23 (1,050)	11 (1,035)	11 (1,035)
		(うち退職給与金)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
材料費		0 (314)	0 (317)	0 (315)	
経費		123 (497)	125 (470)	125 (477)	
減価償却費		223 (0)	223 (0)	211 (0)	
その他の医業費用		0 (0)	1 (0)	0 (0)	
医業費用計		369 (1,861)	360 (1,822)	347 (1,827)	
その他費用		29 (0)	39 (12)	31 (0)	
費用合計		398 (1,861)	400 (1,834)	378 (1,827)	
差引損益		△165 (△122)	△154 (△143)	△157 (△96)	
一般会計繰入金		165 (122)	154 (125)	157 (125)	
当期純損益	0 (0)	0 (△19)	0 (29)		
経常損益	0 (0)	0 (△19)	0 (29)		